

山口県立美術館年報

令和5～6年度

ANNUAL REPORT
2023～2024
YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM

山口県立美術館年報

令和5～6年度

ANNUAL REPORT
2023～2024
YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM

目 次

山口県立美術館概要	3
1) 事業	
I. 展覧会事業	
(1) 特別展	6
(2) 山口県美術展覧会	36
(3) コレクション展	40
II. 教育普及事業	
(1) ミュージアム・タウン・ヤマグチ	54
(1) - 1 坂井眞理子展	55
(1) - 2 HEART	58
(2) デジタル技術を活用した事業	63
(3) 学校連携	64
(4) 美術館ボランティア	66
(5) 県立美術館メンバーズクラブ	68
(6) キャンパスメンバーズ	68
(7) 博物館実習	69
(8) その他の事業	71
(9) 原稿執筆・講演等	74
III. 調査研究事業	
(1) 調査研究等実績	78
IV. 収集管理保存事業	
(1) 館蔵品寄託品貸出利用状況	84
(2) コレクション	85
(3) 作品修復	92
(4) 美術図書	93
2) 入館者数一覧	96
3) 組織等	102

山口県立美術館概要

所在地 山口市亀山町3番1号
敷地面積 11,618.330平方メートル

1. 当初建物

建物面積	4,077.168平方メートル
建物延面積	5,477.880平方メートル
構造	鉄筋コンクリート造／地下1階・地上2階／一部鉄骨造
工期	昭和52年(1977)8月～昭和54年(1979)3月
設計	鬼頭梓建築設計事務所
施工	鹿島建設株式会社／日本電設工業株式会社／株式会社大気社／塩田工業株式会社
総工費	1,700,000,000円

2. 喫茶室新築

建築延面積	66.16平方メートル
構造	壁式鉄筋コンクリート造／平屋建
工期	昭和62年(1987)1月～3月
総工費	25,552,000円

3. 収蔵庫等増築

建築延面積	1,188平方メートル
構造	鉄筋コンクリート造／2階建(地下1階)
施設概要	収蔵庫、備品収納庫、作業室、図書室、資料室等
工期	昭和62年(1987)12月～平成元年(1989)1月
総工費	604,853,000円

4. 空気調和設備等改修工事

工期	平成17年(2005)7月～平成18年(2006)3月
総工費	436,755,000円

5. 美術館改修工事

改修施設概要	展示室、ロビー、収蔵庫、トラックヤード、中庭、喫茶室、講座室
工期	平成23年(2011)11月～平成24年(2012)3月
総工費	699,915,000円

展覧会事業

特別展

館の調査研究にもとづくユニークな自主企画展や新聞社および他館との共催展を開催し、古今東西の多様な美術文化を紹介する。

山口県美術展覧会等

山口県における総合的美術文化の普及と振興をはかるために、幅広く作品を公募。審査の後、その優秀なるものを展示、紹介する。

コレクション展(常設展)

館のコレクション(館藏品、寄託品)を中心に、本県の美術文化の歴史や郷土が生んだ代表的作家の全体像などをわかりやすく展示する。

教育普及事業

ミュージアム・タウン・ヤマグチ

県庁前パークロードから山口市中心商店街にかけての文教・商店街エリアを〈山口〉を発信する観光・文化・教育拠点とするべく、周辺地域および教育文化施設が一体となってさまざまな事業を展開。

HEART

ミュージアム・タウン・ヤマグチのメイン事業のひとつ。県美術展覧会の開催に合わせて、近隣の山口市商店街連合会とも協働し、アートイベント「HEART」を開催。様々な視点から現代の美術に接する場を県民に提供する。

学校連携

児童生徒、教員が美術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及をはかる。

ボランティア

ボランティアの知識や経験を生かした活動を通じて県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

講演会・講座

美術講座、美術講演会、ワークショップなどを実施し、美術への理解を深める場を県民に提供する。

調査研究および収集管理保存事業

本県の美術に関する調査研究を実施し、基礎資料や作品の収集を充実させるとともに、これを保管整理し有効な活用をはかる。

事業

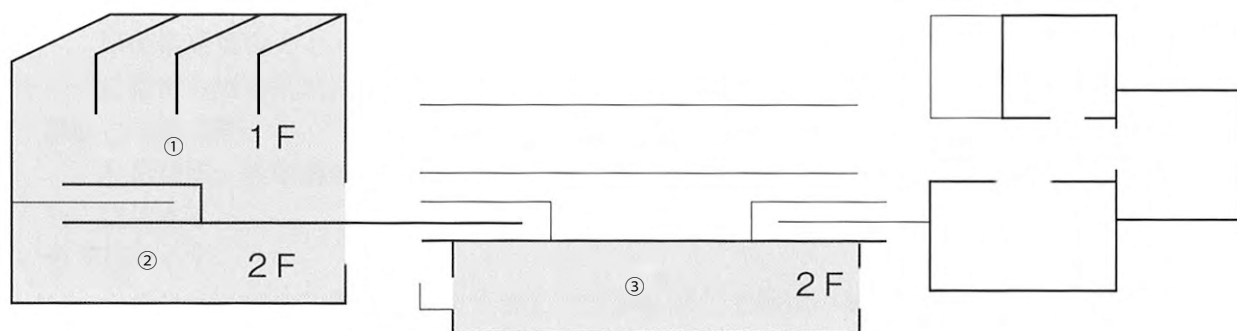
I. 展覧会事業

(1) 特別展

令和5年度(2023年度)は、写真展としては4年ぶりとなる「佐藤健寿展 奇界／世界」展(4月14日～6月11日)で始まった。佐藤健寿(1978-)は、テレビ番組や写真集『奇界遺産』などでも幅広く知られる写真家。本展では、『奇界遺産』シリーズのみならず、そのシリーズを撮影するために巡った120ヶ国以上の旅の記録である『世界』シリーズも同時に展示。写真家・佐藤健寿の全体像を紹介する展覧会となった。続く7月には、2019年以来6年ぶりとなるスタジオジブリ関連の展覧会「ジブリパークとジブリ展」(7月15日～9月24日)を開催。日頃、美術館に触れる機会の少ない方々に多数ご来館いただいた。秋には、地元山口の文化資源に改めて光を当て、その魅力を伝える3つの小規模展「生誕110年 松田正平展」、「毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」一初めて出会う『源氏物語』」展、「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派」を同時開催(10月13日～12月3日)。ジャンル毎の特徴を比較しながら、それぞれの魅力をじっくりと味わうことのできる機会となった。

令和6年度(2024年度)は、7年ぶりとなる仏教美術展「奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」(4月12日～6月9日)でスタート。法隆寺、東大寺、薬師寺、唐招提寺をはじめとする奈良の古刹において、1300年にわたって守り伝えられてきた仏像、絵画、工芸品など、珠玉の仏教美術を紹介した。続いて夏には、収蔵品による特別企画として「没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ」(7月4日～8月25日)を開催。香月泰男の従軍およびシベリア抑留体験を体験順に展示し、作家による解説をそれぞれに付して紹介した。当館を代表する収蔵品であるシベリア・シリーズ全57点を、10年ぶりに一度にご覧いただける機会となった。続いて秋には、シリーズ第3弾となる「超絶技巧、未来へ 明治工芸とそのDNA」(9月12日～11月10日)を開催。明治工芸とそのDNAを引き継ぎながらも、新たな領域に挑む17名の現代作家たちの「超絶技巧」を紹介した。

*2年間の特別展総入場者数は276,612人(R5：214,499人、R6：62,113人)



展示室 D (①) 583.298 m²
展示室 E (②) 304.695 m²
展示室 F (③) 471.825 m²

* 凡例

以下の展覧会は名称(会期・主催等)、
(1)趣旨・概要、(2)会場構成、(3)カタログ、(4)出品目録、
(5)講演会等の順で編集した。

yab山口朝日放送開局30周年記念

佐藤健寿展 奇界／世界

Kenji Sato WONDER / MICROCOSM

会 期 令和5年(2023年)4月14日(金)～6月11日(日)

※月曜休館、ただし5月1日、6月5日は開館

主 催 山口県立美術館、yab山口朝日放送、朝日新聞社

協 力 国立民族学博物館、ダイヤミック／ピクトリコプリント工房、フレームマン

協 賛 株式会社トクヤマ

特別協力 エフエム山口



ポスター(B2)



チラシ(A3二つ折り)外面



チラシ中面

(1) 趣旨・概要

写真家・佐藤健寿(1978-)は、世界120ヵ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に撮影を続けてきた。人類が創り出した摩訶不思議な文化や文明、自然が生んだ奇景など、佐藤が現地に赴き、率直な視点で捉えた世界中の“奇妙なもの”たちは、見る人に多くの驚きと発見、そして感動を与えてきた。佐藤の造語をタイトルとして2010年に出版された写真集『奇界遺産』はシリーズ化され、空前の人気を博している。

本展は、写真集『奇界遺産』シリーズと、膨大な旅の記録を振り返った『世界』を中心に、写真集に未掲載の最新作、そして作品と関連のある国立民族学博物館の民族資料を合わせて展示し、写真家・佐藤健寿の活動を多角的、重層的に紹介する初めての展覧会である。会場は、奇妙な光景を集めた「奇界」セクションを比較的明るめの照明で統一し、来場者が楽しみながら作品を辿れるような空間を創出。一方の「世界」セクションでは、展示室全体を暗くして、作品の形に四角く切ったスポットライトのみを当て、空間から作品が浮かび上がるようなドラマティックな演出を施した。本展は巡回展ではあるが、山口会場独自の要素として、国立民族学博物館で調査を行い、関連資料を追加出品。また全体的に作品(写真パネル)が小ぶりであったため、代表作から数点選んで拡大再製作し、迫力のある展示空間を演出した。作品自体の面白さと、印象的な展示空間とが相まって、年齢層を問わず写真家・佐藤健寿の魅力を楽しめる展覧会となった。



会場風景1



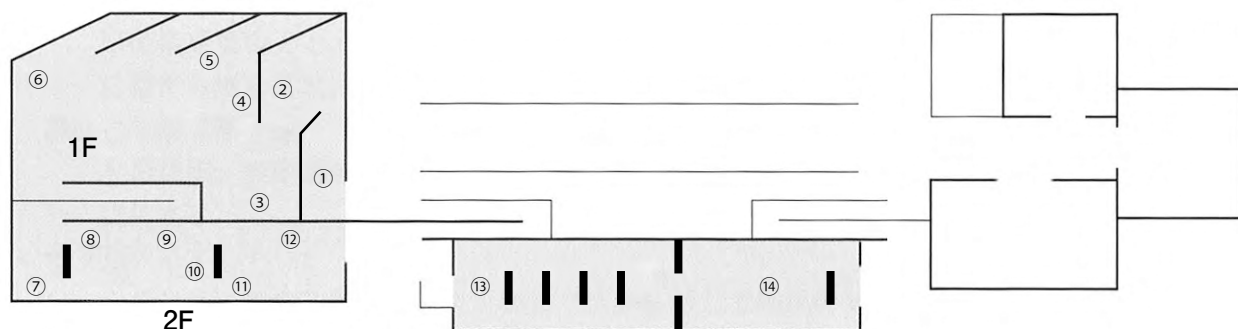
会場風景2



会場風景3

(2) 会場構成

- ① 奇界 居住 生きた歴史
- ② 奇界 廃墟 朽ちた未来
- ③ 奇界 奇景 自然と人類
- ④ 奇界 構造物 社会主義とテーマパーク
- ⑤ 奇界 死 自然と祭礼
- ⑥ 奇界 信仰 異形の精霊と来訪者
- ⑦ 奇界 習俗 奇妙と正常
- ⑧ 奇界 宇宙 希望と絶望
- ⑨ 奇界 創造 無駄という人類の天賦
- ⑩ 奇界 博物館 蒐集される驚異
- ⑪ 奇界 現代の神話Ⅰ 20世紀の夢
- ⑫ 奇界 現代の神話Ⅱ 古代からの問い
- ⑬ 世界
- ⑭ 再生



(3) カタログ

編集 Pyramiden Inc.
 印刷・製本 サンエムカラー
 発行 朝日新聞社
 内容 ※図録は展示のコンセプトに基づき、「奇界」と「世界」の両面表紙となっております、またページ番号が付されていないため、以下、各セクションの内容を掲載順に記す。

[奇界]セクション

- ・「奇界」と「世界」、その「境界」を巡って 佐藤健寿
- ・驚異の媒介者、佐藤健寿の『奇界』に魅せられて 山中由里子
- ・図版
- ・作品リスト
- ・佐藤健寿自著解説

[世界]セクション

- ・ごあいさつ
- ・「奇」は「終わり」からはじまるー「ワンダー／驚異」の反転力ー 鶴岡真弓
- ・図版

* A5変形判(198×148 mm) 256ページ



カタログ表紙[奇界]



カタログ表紙[世界]

(4) 出品目録

奇界 WONDER

no.	タイトル	国・地域	撮影年
居住 生きた歴史			
X-001A-B	中洞組	中国	2008
X-002	イエメンの古代摩天楼	イエメン	2012
X-003	セテニル	スペイン	2008
X-004	福建土楼	中国	2012
X-005	ワカチナ	ペルー	2008
X-006	ティエベレ	ブルキナファソ	2012
X-007	果貿社區	台湾	2018
X-008	月牙泉	中国	2018
X-009A-D	ネネツ	ロシア	2017
X-010	ベルベル人	モロッコ	2010
X-011A-E	平壤	北朝鮮	2018

廃墟 朽ちた未来

X-012A-D	ブリビャチ	ウクライナ	2010
X-013	アラル海	ウズベキスタン	2019
X-014	バズルージャ	ブルガリア	2015
X-015	パワープラントIM	ベルギー	2015
X-016	レッド・サンズ要塞	イギリス	2015
X-017	後頭湾村	中国	2018
X-018	カンボアモール劇場	キューバ	2016
X-019A-E	軍艦島（端島）	日本	2017
X-020A-B	摩耶観光ホテル	日本	2019
X-021	プレシディオ・モデーロ刑務所	キューバ	2016

奇景 自然と人類

X-022	氷河洞窟	アイスランド	2015
X-023	エルタ・アレ	エチオピア	2015
X-024	マラカイボ湖	ベネズエラ	2016
X-025	ダルヴァザ	トルクメニスタン	2018

構造物 社会主義とテーマパーク

X-026A-C	マトリョーシカ・ホテル	中国	2018
X-027	天子大酒店	中国	2010
X-028	豊都鬼城	中国	2008
X-029	スイ・ティエン公園	ベトナム	2009
X-030	小矮人王国	中国	2012
X-031	マンモス公園	中国	2018
X-032	先史溪谷	キューバ	2016
X-033	怪物庭園	イタリア	2009
X-034A-K	ハウバーヴィラ	シンガポール	2007

死 自然と祭礼

X-069	トルニャンの風葬	インドネシア	2013
X-070A-B	サガダの懸棺	フィリピン	2007
X-071	トラジャ族の葬儀	インドネシア	2011
X-072	カプチン修道会のカタコンベ	イタリア	2009
X-073	死者の日	メキシコ	2016
X-074A-C	ファマディアナ	マダガスカル	2017
X-075A-B	ボディ・ファーム	アメリカ	2018
X-076	電子花車	台湾	2015
X-077	ドクター・クノッヘ・ミイラ研究所	ベネズエラ	2016
X-078	萬松寺納骨堂	日本	2016
X-079A-L	ガ族の棺桶	ガーナ	2012

信仰 異形の精霊と来訪者

X-080A-B	精霊の家	バブア・ニューギニア	2014
X-081	マッドメン	バブア・ニューギニア	2014
X-082	クケリ	ブルガリア	2018
X-083	バーントゥ	日本	2016
X-084A-B	サンテリアとアバクア	キューバ	2016
X-085	ボゼ	日本	2016
X-086	アマノハギ	日本	2017

習俗 奇妙と正常

X-035	金剛宮	台湾	2009
X-036	幽霊教会	チェコ	2018
X-037	バツ洞窟のタイプーサム	マレーシア	2012

X-038A-K	タイの地獄寺	タイ	2008-2018
X-039	ピンロウ西施	台湾	2009
X-040	イタコ	日本	2016
X-041	新郷村 キリストの墓	日本	2015
X-042	いざなぎ流	日本	2016
X-043	西大寺会陽	日本	2017
X-044	レイチュン・セチャー大仏	ミャンマー	2011
X-045A-D	マスゲーム	北朝鮮	2018
X-046	マレルド	フィリピン	2011
X-047	ファティマ	ポルトガル	2008
X-048	十字架の丘	リトアニア	2010
X-049	呪術師の市場	トーゴ	2012
X-050	白鹿権現	日本	2010

宇宙 希望と絶望

X-051A-B	バイコスール宇宙基地	カザフスタン	2014
X-052	コスモナフトラル駅	ウズベキスタン	2018
X-053	核ミサイル発射場跡	アメリカ	2018
X-054	種子島	日本	2016

創造 無駄という人類の天賦

X-055	三芝頂山寺貝殻廟	台湾	2009
X-056	彩虹眷村	台湾	2012
X-057	シュヴァルの理想宮	フランス	2012
X-058A-B	ベイヨー・ロンコネン公園	フィンランド	2010
X-059A-D	レイモンド・モラレスの彫刻庭園	フランス	2012
X-060	人形島	メキシコ	2016
X-061	ラス・ボサス	メキシコ	2016
X-062	サルベーション・マウンテン	アメリカ	2011

博物館 蒐集される驚異

X-063	ムター博物館	アメリカ	2018
X-064	クンストカメラ	ロシア	2017
X-065	ミイラ博物館	メキシコ	2004
X-066	医療史博物館	ラトビア	2010
X-067	髪の手博物館	トルコ	2011
X-068	シリラート病院法医学博物館	タイ	2019

現代の神話 I 20世紀の夢

X-087A-C	エリア 51	アメリカ	2006
X-088	カピージャ・デル・モンテ	アルゼンチン	2008
X-089	ロズウェル	アメリカ	2006
X-090	ワイクリフ・ウェル	オーストラリア	2013
X-091	三星堆遺跡	中国	2008
X-092	ヒマラヤのイエティの頭皮	ネパール	2005
X-093	ロシア超能力学校	ロシア	2017
X-094	リリー・デール	アメリカ	2018
X-095	恐山	日本	2016
X-096	ルルド	フランス	2012
X-097	ネス湖	イギリス	2014

現代の神話 II 古代からの問い

X-098	ギョベクリ・テペ	トルコ	2011
X-099	百舌鳥古墳群	日本	2021
X-100	ナンマドール遺跡	ミクロネシア連邦	2009
X-101	サントリーニ島	ギリシャ	2009
X-102	ナスカの地上絵	ペルー	2004
X-103	イースター島	チリ	2015

世界 MICROCOSM

W-001	太平洋		2015
W-002	ユーラシア		2014
W-003	ゲイニール	アイスランド	2015
W-004	アイスランド	アイスランド	2015
W-005	パローシャ	北キプロス	2018
W-006	ボーディー	アメリカ	2019
W-007	ネバダ	アメリカ	2019
W-008	カリフォルニア	アメリカ	2011
W-009	スクルンダー1	ラトビア	2018
W-010	レンソイス・マラニャンセス	ブラジル	2014
W-011	シント・マールテン	シント・マールテン	2014

W-012	ガーコン	インド	2017
W-013	オリッサ	インド	2017
W-014	ミンドット	ミャンマー	2018
W-015	ヤマル半島	ロシア	2017
W-016	キベラ	ケニア	2019
W-017	バラナシ	インド	2007
W-018	バラナシ	インド	2007
W-019	テキサス	アメリカ	2018
W-020	セントラル・ハイランド	マダガスカル	2017
W-021	オリッサ	インド	2017
W-022	大分	日本	2017
W-023	東京	日本	2021
W-024	平壤	北朝鮮	2018
W-025	平壤	北朝鮮	2018
W-026	デトロイト	アメリカ	2018
W-027	ババーテ	タヒチ	2015
W-028	北京	中国	2018
W-029	コンヤ・ウルゲンチ	トルクメニスタン	2018
W-030	ウラー	サウジアラビア	2019
W-031	ブラックロック・シティ	アメリカ	2019
W-032	月		2020
W-033	ヒマラヤ	ネパール	2005
W-034	モンゴル	モンゴル	2019
W-035	東シナ海	日本	2016
W-036	地中海	ギリシャ	2009

再生 reconnect

ディラン	インド	2023/01
モン	インド	2023/01
ピラミデン	スヴァールバル諸島 (ノルウェー)	2022/08
ベッチャブーン	タイ	2022/07
ハートヤイ	タイ	2022/07
ダーンサーイ	タイ	2022/07
タンナ島	バヌアツ	2023/02

資料展示

no.	資料名	国・地域	所蔵
M-001	ネネツの女性用頭布	ロシア	国立民族学博物館
M-002	なまはげの装束(面)	日本	国立民族学博物館
M-003	なまはげの装束(出刃庖丁)	日本	国立民族学博物館
M-004	なまはげの装束(薬杵)	日本	国立民族学博物館
M-005	棺(飛行機)	ガーナ	国立民族学博物館
M-006	副葬用彫像	インドネシア	国立民族学博物館
M-007	儀礼用仮面	バブア・ニューギニア	国立民族学博物館
M-008	儀礼用仮面	バブア・ニューギニア	国立民族学博物館
M-009	呪物入れ容器(蓋付き)	トーゴ	国立民族学博物館
M-010	玩具(骸骨人形の家)	メキシコ	国立民族学博物館
M-011	遺体包み用織布	マダガスカル	国立民族学博物館
M-012	椅子(神像付き)	バブア・ニューギニア	国立民族学博物館
M-013	仮面	ブルガリア	国立民族学博物館
	バスポート		佐藤健寿
	ガスマスク		佐藤健寿
	クケリのぬいぐるみ	ブルガリア	佐藤健寿
	マトリョーシカ	中国	佐藤健寿
	中国人工衛星の記念品	中国	佐藤健寿
	エリア51の人形	アメリカ	佐藤健寿
	バブア・ニューギニアの仮面	バブア・ニューギニア	佐藤健寿

映像展示

WONDER/MICROCOSM 約30分 提供：佐藤健寿

(5) 講演会等

■講演会「佐藤健寿トーク「奇界／世界」を語る」

講師：佐藤健寿／聞き手：萬屋健司(山口県立美術館 学芸課長)

日時：4月15日(土)14：00～15：30

会場：山口県教育会館 大ホール

定員：200名(聴講無料[※要観覧券]、要事前申し込み)

■講演会「佐藤健寿×山中由里子 クロストーク」

講師：佐藤健寿、山中由里子(国立民族学博物館 教授)

日時：5月7日(日)14：00～16：00

会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

定員：100名(聴講無料[※要観覧券]、要事前申し込み)

ジブリパークとジブリ展

会 期 令和5年(2023年)7月15日(土)～9月24日(日)
 ※7月24・31日、8月21・28日、9月11日は休館(いずれも月曜日)
 主 催 山口県立美術館、KRY山口放送、読売新聞社
 協 賛 DNP大日本印刷、西京銀行
 企画制作協力 スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、ジブリパーク



ポスター(B2)



チラシ(A4変形判)表面



チラシ(A4変形判)裏面

(1) 趣旨・概要

ジブリパークは、愛知県の「愛・地球博記念公園」内に建設された、スタジオジブリ作品の世界を表現した公園施設。2022年11月に第1期が開園し、「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」「青春の丘」の3つのエリアが開園された。その制作現場を指揮していたのが、宮崎吾朗監督である。「三鷹の森ジブリ美術館」の設立、愛・地球博の際の「サツキとメイの家」建設に携わり、スタジオジブリのアニメーション作品『ゲド戦記』『コクリコ坂から』『アーヤと魔女』などを生みだしてきた。

本展は、宮崎吾朗監督のこれまでの仕事と作品を振り返るとともに、監督を中心に、ジブリパークがどのように生み出されているのか、その舞台裏を紹介するものであった。従って、展示物は制作時の過程を示す資料が大半で、専門的な解説も含め、スタジオジブリのアニメーション制作の過程やものづくりへのこだわりのあり方がよくわかる、充実した展示内容であった。同時に、ネコバス、1/5スケールのサツキとメイの家模型および実物大のパーゴラ、にせの館長室、ジブリのなりきり名場面展再現展示といった撮影可能な展示をはじめ、体験型の展示など、実際にジブリパークを訪れたかのように楽しめるスポットもあり、全体として、子供から大人まで幅広い年齢層の興味関心に応えられる構成であったと言える。

多くの来場者が見込まれる展覧会とあって、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにも、日時指定の事前予約制とした。



会場風景1



会場風景2



会場風景3



会場風景4



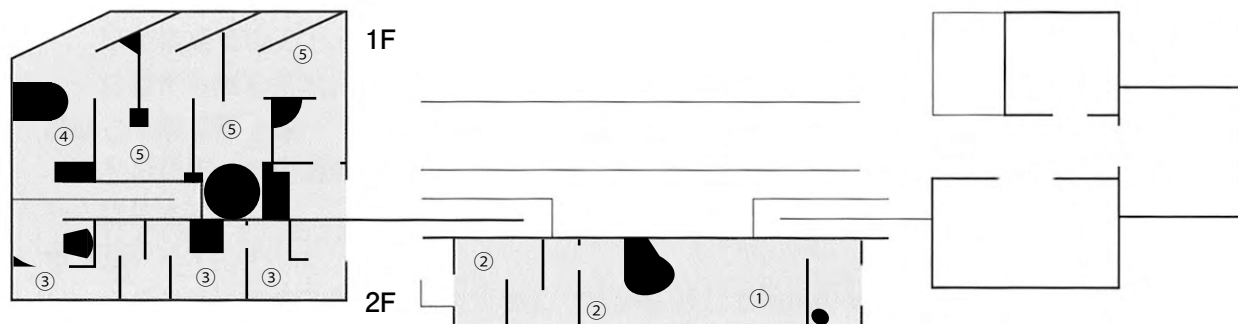
会場風景5



会場風景6

(2) 会場構成

- ① Prologue プロローグ
- ② 第1章 はじまりは三鷹の森ジブリ美術館
- ③ 第2章 アニメーションの世界をつくる
- ④ 第3章 アニメーションの世界を本物に
- ⑤ 第4章 ジブリパークのつくりかた



(3) カタログ

本展の巡回にあたって、以下の公式パンフレットが制作・販売された。

- 構成・編集 齊藤陸志(クラフトワークス)
 編集担当 森田由利(スタジオジブリ)
 編集協力 大島万貴子、松山佳保里、佐藤 舞、田井勇輝(ジブリパーク)
 デザイン 松永 路
 写 真 荒木経惟 P9(鈴木敏夫)
 荒木則行 P1, P4, P29, P32-33(建築の創意工夫), P57⑪-⑯
 Kanyada P14④,⑤
 佐藤美紀 P13③
 竹中博信 P39④-⑪, P40②-④, P41⑦-⑩,⑫, P43⑤-⑧,⑩,⑪, P51⑨,⑩, P52①-⑥,
 P53⑨-⑬, P54①-④, P55⑤-⑧
 辻 徹也 P14③, P15⑨,⑩, P27②,③
 中島古英 P31①-⑯
 日本設計 P45⑦,⑧, P50③,④, P59⑥,⑦, P61④,⑥,⑧-⑪
 乃村工藝社 P43⑫, P60③
 橋本貴雄 P2-3, P30上, P37③, P38②, P42②, P44②,③, P50①,②, P57⑥-⑩, P58③,
 P62, 裏表紙折り返し
 資料協力 東宝映像美術 P51⑧, P53⑦,⑧
 日本設計 P56①-⑤, P61⑤,⑦
 乃村工藝社 P38①, P39③, P40⑤,⑥, P42③,④, P43⑨
 協 力 スタジオジブリ
 中日新聞社／東京新聞
 新潮社
 印刷・製本 大日本印刷株式会社
 発行・発売 株式会社ジブリパーク
 *2022年7月16日 第1刷発行



公式パンフレット表紙

- 内 容 005 ようこそ、「ジブリパークとジブリ展」へ！
 006 Prologue プロローグ
 010 第1章 はじまりは三鷹の森ジブリ美術館
 016 第2章 アニメーションの世界をつくる
 028 第3章 アニメーションの世界を本物に
 034 第4章 ジブリパークのつくりかた
 062 見て、触って、ジブリパークを体験してもらいたい。 インタビュー：宮崎吾朗
 *A4変形判(297×227mm)64ページ

(4) 出品目録

no.	作品名	展示物
プロローグ		
1	となりのトトロ	トトロ
2		メインビジュアル原画
3	風の谷のナウシカ	ポスター
4	天空の城ラピュタ	ポスター、ポスター原画
5	となりのトトロ	ポスター
6	火垂るの墓	ポスター
7	魔女の宅急便	ポスター
8	おもひでぽろぽろ	ポスター、ポスター原画
9	紅の豚	ポスター、ポスター原画
10	海がきこえる	ポスター、ポスター原画
11	平成狸合戦ぽんぽこ	ポスター、ポスター原画
12	耳をすませば	ポスター、ポスター原画
13	On Your Mark	ポスター、ポスター原画
14	もののけ姫	ポスター、ポスター原画
15	となりの山田くん	ポスター
16	千と千尋の神隠し	ポスター、ポスター原画
17	猫の恩返し	ポスター、ポスター原画
18	ギブリーズ	ポスター
19	ハウルの動く城	ポスター、ポスター原画
20	ゲド戦記	ポスター
21	崖の上のポニョ	ポスター、ポスター原画
22	借りぐらしのアリエッティ	ポスター
23	コクリコ坂から	ポスター、ポスター原画
24	風立ちぬ	ポスター
25	かぐや姫の物語	ポスター
26	思い出のマーニー	ポスター、ポスター原画
27	レッドタートル	ポスター
28	アーヤと魔女	ポスター
29	君たちはどう生きるか	ポスター
第1章 はじまりは三鷹の森ジブリ美術館		
30	となりのトトロ	ネコバス
31	三鷹の森ジブリ美術館	カンヤダ撮影写真パネル
32		美術館模型
33		宮崎駿による美術館構想のイメージボード13点
34		宮崎吾朗クローキータン
35		宮崎吾朗による備品スケッチ群25点
36		年賀状スケッチ5点、年賀状(2003、2004、2005、2008)
37		ビール瓶、ビールラベルスケッチ2点
38		Tシャツ、Tシャツデザインスケッチ2点
39		カフェ関連スケッチ群
40		カフェ蛇口(旧)型、カフェ蛇口(新)型
41		大規模改修スケッチ6点
42		パンフレット(「小さなルーヴル美術館展」「ピクサー展」「食べるを描く。」「アーヤと魔女展」)
第2章 アニメーションの世界をつくる		
43	ゲド戦記	ポスター原画
44		宮崎吾朗による竜とアレン
45		宮崎駿によるポート・タウンイメージイラスト
46		オステシア・アンティカ(イタリア)の現地資料一式等関連資料
47		イメージボード12点
48		美術背景8点
49	コクリコ坂から	スクラップブック一式
50		宮崎駿によるポスター原画
51		宮崎駿による「海が登校していく鉄橋の周辺」
52		宮崎吾朗によるカルチュラタンイメージ案等9点
53		近藤勝也によるキャラクターデザイン案等6点
54		美術背景10点
55	アーヤと魔女	企画展「アーヤと魔女展」再現展示一式
56		ポスター
第3章 アニメーションの世界を本物に		
57	となりのトトロ	ポスター原画
58	サツキとメイの家	バーゴラ

59	サツキとメイの家1/5模型
60	サンブル群(棟飾)板金、鬼瓦、吹きガラス、ダイヤガラス、結霜ガラス)
61	法被
62	カンヤダ撮影写真パネル
第4章 ジブリパークのつくり方	
63	軸組模型(1/5スケール)
64	ティザーサイト用原画、動画等一式
65	にせの館長室再現一式
66	地球屋棟飾り
67	矩形図
68	地球屋関連資料等一式
69	からくり時計原寸模型他各種パーツ模型・試作品・サンプル等一式
70	パロンとルイーゼのマケット、頭部検証用模型他、各種パーツサンプル一式
71	黒木馬原寸モックアップ
72	豚造形原寸モックアップ
73	ムタ
74	パロン(椅子に座っている姿・立ち姿)
75	猫の事務所各種インテリア等一式
76	猫の事務所関連資料一式
77	トモビール
78	甲冑マテリアルサンプル
79	エレベーター塔 1/200スケール模型
80	大倉庫+カフェ棟 1/200スケール模型
81	ネコバスルーム 1/30スケール模型
82	こどもの街 1/30スケール模型
83	にせの館長室 1/30スケール内部模型
84	天空の庭 1/30スケール内部模型
85	床下の家+小人の庭 1/30スケール内部模型
86	宮崎吾朗による階段タイルイメージスケッチ
87	大倉庫階段 模型
88	宮崎吾朗によるネコバスのマーク
89	ネコバスの足 1/1仮模型
90	ネコバス 1/5模型
91	ネコバス 右目のボタン 1/1模型
92	ネコバス カーベットサンプル4点
93	ネコバス各パーツ1/1(ねずみ)
94	ネコバス関連資料一式
95	中トトロ・小トトロ
96	ウロ内部カーベット試織サンプル2点
97	銭湯 オオトリ様 1/5スケール原型
98	銭湯 ボールプールのボールサンプル
99	頭(カシラ) 1/13スケール模型
100	ロボット兵壁面 1/10スケール模型
101	ロボット兵 新規1/5スケール模型
102	床下の家 壁面グラフィック(壁紙)、ファブリックサンプル(ベッドカバー、カーテン)等
103	タタラ場 模型
104	魔女の家 模型
105	ハウルの城 脚土台
106	ハウルの城 右足前脚部スチロール原型
107	ハウルの城 1/50スケール模型 1号機、2号機、3号機
108	ハウルの城 1/50スケール構造模型
109	ハウルの城 風洞実験用模型
110	宮崎吾朗による鳥親図「青春の丘」「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」「もののけの里」「魔女の谷」
111	エレベーター塔 イメージ等4点
112	宮崎吾朗による大倉庫一周スケッチ28点
113	大倉庫関連資料一式
114	アーヤグリーティングカードイラスト
115	ジブリパーク ロゴ(吊り文字用)
116	宮崎吾朗による描きおろし地図
117	なりきり名場面展 千と千尋の神隠し一式
118	その他ジブリパーク関連資料等一式

(5) 講演会等

※新型コロナウイルス感染症拡大対策のため実施せず。

生誕110年 松田正平展

会 期 令和5年(2023年)10月13日(金)～12月3日(日)

※月曜休館、ただし11月6日は開館

主 催 山口県立美術館、yab山口朝日放送

共 催 公益財団法人毛利報公会 毛利博物館

特別協力 エフエム山口

※「毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』—はじめて出会う『源氏物語』」展、「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派」展と同時開催



ポスター(B2)



チラシ(A3二つ折り)外面

チラシ中面

※ポスター、チラシは「毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』—はじめて出会う『源氏物語』」展と共通で制作

(1) 趣旨・概要

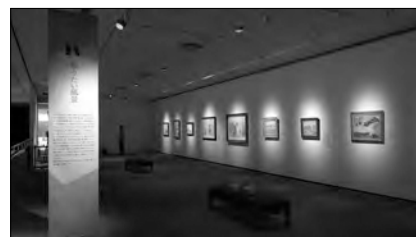
宇部にゆかりの洋画家、松田正平(1913-2004)の生誕110年を記念して、初期から最晩年までの画業を辿る回顧展を開催。2013年に当館と神奈川県立近代美術館で企画、開催した画家の生誕100年展以来、寄贈、購入を通じて当館の松田正平コレクションは充実したものとなり、初期から晩年までの代表作の多くを所蔵するに至った。本展覧会では、コレクションを中心に、個人コレクター所蔵の作品、資料も加えて、画家の魅力を紹介。代表作にはバックパネルと、他と異なるフォーマットの解説パネルをつけるなど、展示にメリハリをつけ、松田正平の絵画世界にゆったりと浸りつつも、ポイントを押さえてその画業を追っていきける構成とした。



会場風景1



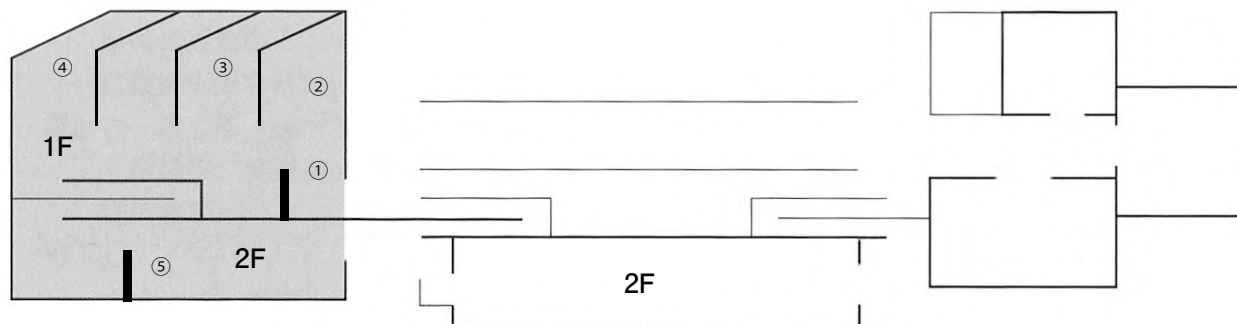
会場風景2



会場風景3

(2) 会場構成

- ① プロローグ ある画家の自画像
- ② I. 油絵との出会い―山口、東京、パリ
- ③ II. 絵の具との格闘
- ④ III. 雑木林のなかのアトリエで
- ⑤ IV. 帰りたい風景



(3) カタログ

なし

(4) 出品目録

no.	作品名	制作年	材質	所蔵
1	自画像	1937年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
2	自画像	1955年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
3	自画像(Mの肖像)	1986年	油彩／カンヴァス	個人蔵
I 油絵との出会い―山口、東京、パリ				
4	宇部港湾風景	1929年	油彩／カンヴァス	個人蔵
5	高津風景	1933年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
6	婦人像	1935年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
7	裸婦習作	1935年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
8	N氏の肖像	1935年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
9	コロー《真珠の女》模写	1938年	油彩／カンヴァス	個人蔵
10	二人の裸婦	1939年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
11	ネル・コレ	1939年	油彩／カンヴァス	フォルム画廊
12	NC嬢	1977年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
13	上白根風景	1943年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
14	画家の父	1942年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
II 絵の具との格闘				
15	光海岸	1950年頃	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
16	祝島風景	1953年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
17	こち	1950-55年頃	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
18	M夫人の肖像	1953年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
19	顔を覆う女	1953年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
20	銭湯	1955年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
21	スタンツの孤児院に おけるベスタロッツ像	1956年	油彩／カンヴァス	一般財団法人 山口県教育会
22	砧風景	1958年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
23	月夜	1956年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
24	高萩風景	1957-59年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
25	バラ	1958年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
26	バラ	1978年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
27	バラ	1980-90年代	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
28	孫次郎像	1958年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
29	裸婦	1959年	油彩／板	山口県立美術館
30	綾取り	1958年	油彩／板	山口県立美術館
31	子供達	1961年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
32	かみきり虫	1959年	油彩／カンヴァス	山口県信用農業協同組合連合会
33	燈台	1959年	油彩／カンヴァス	山口県信用農業協同組合連合会
34	燈台(宇部港湾)	1960年	油彩／カンヴァス	山口県信用農業協同組合連合会
III 雑木林のなかのアトリエで				
35	ニンニクとピーマン	1962年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
36	小魚	1957年頃	油彩／カンヴァス	山口県立美術館

37	鳥賊	1965年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
38	鷺	1978年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
39	四国犬	1979年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
40	四国犬	1990年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
41	蝶々	1980年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵
42	西洋人形	1975年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
43	W氏の肖像	1971年	油彩／カンヴァス	個人蔵
44	筍	1970-80年代	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
45	くわい	1980-90年代	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
46	鳥	1970年代	油彩／カンヴァス	個人蔵
47	大威徳明王	1975年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
48	裸婦	1977年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
49	笛吹き	1983年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
50	オヒョウ(大きな魚)	1984年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
IV 帰りたい風景				
51	周防灘	1974年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
52	瀬戸内海	1971年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵
53	周防灘	1976年	油彩／カンヴァス	個人蔵
54	祝島風景	1970-80年代	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
55	周防灘	1996年	油彩／カンヴァス	個人蔵
56	周防灘風景	1979年	油彩／カンヴァス	宇部マテリアルズ株式会社
57	周防灘	1980年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
58	周防灘	1980年代	油彩／カンヴァス	山口県総合政策部秘書課
59	周防灘	1989年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
60	祝島風景	1994年	油彩／カンヴァス	山口県立美術館
スケッチブック				
I	銭湯	1953年	鉛筆・クレヨン・水彩／紙	個人蔵
II	M夫人像	1954年	鉛筆・クレヨン・水彩／紙	個人蔵
III	月夜	1955-56年	鉛筆・水彩／紙	個人蔵
IV	綾取り	1955-56年	鉛筆・クレヨン／紙	個人蔵
V	ピカソの 《坐るアルルカン》(1923年)	1961-62年	鉛筆・色鉛筆／紙	個人蔵
VI	重量挙げ	1964年(?)	鉛筆・水彩／紙	個人蔵
VII	王選手引退	1980年	鉛筆／紙	個人蔵
VIII	こち	制作年不詳	鉛筆・色鉛筆・クレヨン／紙	個人蔵
IX	バラ	制作年不詳	鉛筆・色鉛筆・水彩／紙	個人蔵
X	周防灘風景	制作年不詳	鉛筆・クレヨン／紙	個人蔵
XI	上ノ関路造り	1980年	ペン／紙	個人蔵

資料

松田正平のイーゼル、パレット、絵筆

個人蔵

(5) 講演会等

■学芸員によるギャラリートーク

日時：10月14日(土)10：00～、10月21日(土)14：00～(各回45分程度、事前申し込み不要)

毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』

会 期 令和5年(2023年)10月13日(金)～12月3日(日)

※月曜休館、ただし11月6日は開館

主 催 山口県立美術館、yab山口朝日放送

共 催 公益財団法人毛利報公会 毛利博物館

特別協力 エフエム山口

※「生誕110年 松田正平展」、「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派」展と同時開催

※ポスター、チラシは「生誕110年 松田正平展」と共通で制作

(1) 趣旨・概要

日本古典文学の白眉とされる王朝恋愛長編『源氏物語』。平安時代、紫式部によって生み出された物語は、それぞれの時代に即して読み継がれ、またさまざまな美術作品を生み出す源泉となりながら、日本文化に大きな実りをもたらしてきた。本展では、全五巻・五十四帖・六十五場面からなる毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」のすべてを展示し、大判のわかりやすい解説パネル等を駆使して、そのストーリーのみならず、優美な詞書、その秀でた色彩感覚、情緒あふれる四季の自然景観をはじめとする細やかな描写をわかりやすく紹介。くわえて、県内に伝わる毛利家ゆかりの『源氏物語』の写本や古注釈書の優品も併せて展示し、この物語と人々がどのように出会ってきたのか、その一端を紹介した。



会場風景1



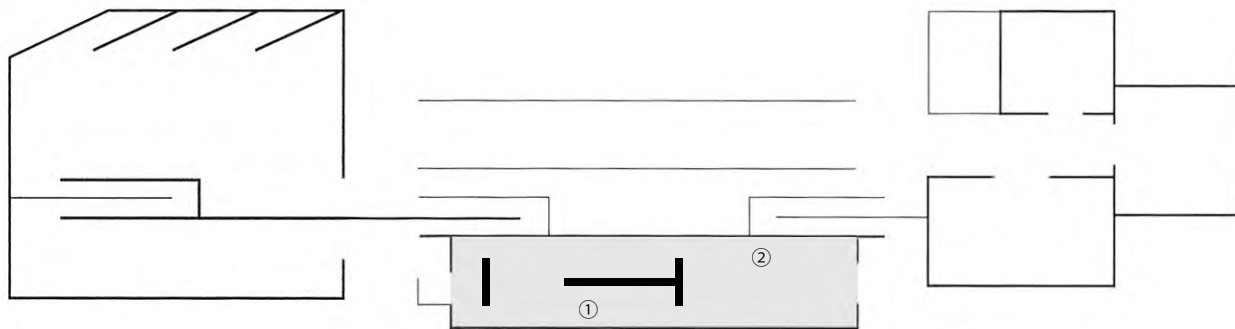
会場風景2



会場風景3

(2) 会場構成

- ① 第一章 毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」
- ② 第二章 毛利家ゆかりの『源氏物語』一写本、版本



(3) パンフレット

毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」詞書の手引き A5判 40ページ



詞書の手引き表紙

(4) 出品目録

no.	作品名	展示部分、展示替	作者名	制作年	材質	員数	所蔵
第一章	毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」						
1-1	源氏物語絵巻 第一巻	前期：「桐壺」～「末摘花」帖 後期：「紅葉賀」～「須磨」帖	詞書：青蓮院尊純法親王	江戸時代 17世紀	紙本着色	5巻	毛利博物館
1-2	源氏物語絵巻 第二巻	前期：「明石」～「薄雲」帖 後期：「朝顔」～「胡蝶」帖					
1-3	源氏物語絵巻 第三巻	前期：「蛭」～「行幸」帖 後期：「藤袴」～「若菜上」帖					
1-4	源氏物語絵巻 第四巻	前期：「若菜下」～「御法」帖 後期：「幻」～「橋姫」帖					
1-5	源氏物語絵巻 第五巻	前期：「椎本」～「宿木」帖 後期：「東屋」～「夢浮橋」帖					
第二章	毛利家ゆかりの『源氏物語』一写本、版本						
2	毛利家伝来 源氏物語	(うち展示は「桐壺」「帯木」「末摘花」「紅葉賀」「須磨」「野分」帖)および蒔絵源氏草笥		源氏草笥：江戸時代	紙本墨書/ 木製漆塗	54帖/1基	吉川資料館
3	源氏物語湖月抄	頁替え	北村季吟	江戸時代	紙本木版	58冊 (『源氏物語』54冊、 『発端』『系図』 『年立』『雲隠説』)	山口大学図書館 (棲息堂文庫)
4	源氏物語年立	頁替え	一条兼良	江戸時代	紙本木版	2巻	山口大学図書館 (棲息堂文庫)
5	源氏小鏡	頁替え		江戸時代 寛文6年 (1666)	紙本木版	3巻	山口大学図書館 (棲息堂文庫)

*前期：10月15日(金)～11月12日(日)、後期：11月14日(火)～12月3日(日)

(5) 講演会等

■学芸員によるギャラリートーク

日時：10月14日(土)14：00～、10月28日(土)10：00～(各回45分程度、事前申し込み不要)

新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派

会 期 令和5年(2023年)10月13日(金)～12月3日(日)

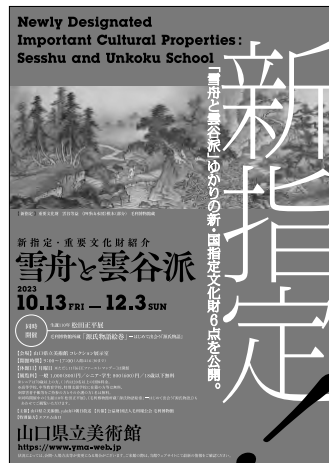
※月曜休館、ただし11月6日は開館

主 催 山口県立美術館、yab山口朝日放送

共 催 公益財団法人毛利報公会 毛利博物館

特別協力 エフエム山口

※「生誕110年 松田正平展」、「毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』」展と同時開催



チラシ(A4)表面



チラシ裏面

(1) 趣旨・概要

雪舟等楊の山水画の大作・国宝「四季山水図(山水長巻)」(毛利博物館蔵)。本絵巻は毛利輝元が雲谷等顔に与え、雪舟の画風を継承させた記念碑的作品であり、萩藩お抱え絵師・雲谷派にとって一家相伝のバイブルであった。雲谷派2代・等益による「雪舟筆四季山水図模本」、等益と3代・等興による2点の「雪舟等楊像」、および派祖・等顔による常栄寺3代住職「惟松円融像」の4作品が「雪舟から雲谷派の系譜」を知る上で欠かすことのできない作品であるとの評価を受け、令和5年6月27日に重要文化財に指定された。またあわせて狩野古信「雪舟筆四季山水図模本」と鳥鼠道人・雲谷等顔・筠溪玄轍「贈雪舟詩・四季山水図跋」の2点が、国宝・雪舟「四季山水図」の附(つけたり)指定を受けた。これを記念した本展は、新指定6作品と当館の雪舟・重要文化財3点をはじめとする関連作品によって、雲谷派の活動の原点を紐解く機会となった。「四季山水図」の展示(会場風景1)では、ケース内に造作壁を設け、雪舟「四季山水図」高精細画像の原寸大印刷紙を貼り込み、横16mもある山水絵巻のみどころ解説を交えながら、模本との描写の違いを比較できるように工夫を凝らした。



会場風景1



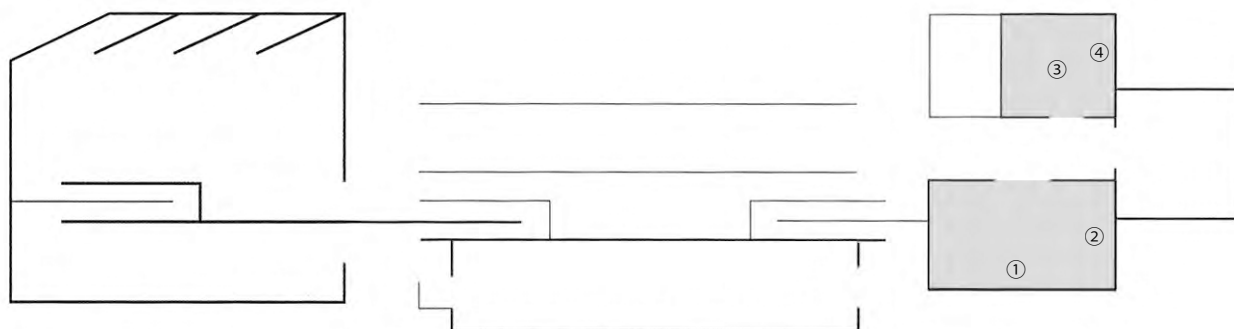
会場風景2



会場風景3

(2) 会場構成

- ① 雪舟と雲谷派1 《山水長巻》の学習と継承のかたち
- ② 雪舟と雲谷派2 雪舟から雲谷派への系譜
- ③ 雪舟と雲谷派3 禅僧の肖像画
- ④ 雪舟と雲谷派4 《山水長巻》・《山水図巻》イメージの継承



(3) カタログ

なし

(4) 出品目録

no.	指定	作品名	作者名	賛者名	制作年	材質	頁数	所蔵
雪舟と雲谷派1 《山水長巻》の学習と継承のかたち								
1	【新指定】 重要文化財	四季山水図 模本	雲谷等益		江戸時代 17世紀前半	紙本墨画淡彩	1巻	毛利博物館
2	【新指定】 国宝(附)	四季山水図 模本	狩野古信		享保10年(1725)跋	紙本墨画淡彩	1巻	毛利博物館
雪舟と雲谷派2 雪舟から雲谷派への系譜								
3	【新指定】 国宝(附)	贈雪舟詩・四季山水図跋	鳥鼠道人・ 雲谷等願・ 筠溪玄轍		文禄2年(1593)跋(等願跋)	紙本墨書	1巻	毛利博物館
4	【新指定】 重要文化財	雪舟等楊像	雲谷等興	天祐紹泉	寛永16年(1639)賛	絹本墨画淡彩	1幅	山口県立美術館
5	【新指定】 重要文化財	雪舟等楊像	雲谷等益	玉舟宗璠	寛永16~21年(1639~44)	絹本墨画淡彩	1幅	山口市・常栄寺
雪舟と雲谷派3 禅僧の肖像画								
6	【新指定】 重要文化財	惟松円融像	雲谷等願	惟松円融	慶長16~19年(1611~14)賛	絹本着色	1幅	山口市・常栄寺
7	山口県指定文化財	全岩東純像	雪舟等楊	為宗仲心	明応5年(1496)賛	絹本着色	1幅	山口市・瑠璃光寺
8	山口市指定文化財	嘯岳鼎虎像		嘯岳鼎虎	慶長2年(1597)賛	絹本着色	1幅	山口市・洞春寺
9		言如円遵像		言如円遵	寛永10年(1633)賛	絹本着色	1幅	萩市・大照院
10	重要文化財	傲李唐牧牛図(牧童)	雪舟等楊		室町時代 15世紀	紙本墨画淡彩	1幅	山口県立美術館
11	重要文化財	傲李唐牧牛図(渡河)	雪舟等楊		室町時代 15世紀	紙本墨画淡彩	1幅	山口県立美術館
12		東帯天神図	雪舟等楊		明応2年(1493)	紙本墨画淡彩	1幅	山口県立美術館
13		観音三十三身像(如日虚空住身)	雪舟等楊[款]		室町~江戸時代	紙本墨画淡彩	1幅	山口県立美術館
雪舟と雲谷派4 《山水長巻》・《山水図巻》イメージの継承								
14	重要文化財	山水図巻	雪舟等楊		文明6年(1474)	紙本墨画	1巻	山口県立美術館
15		四季山水図巻	雲谷等隆		江戸時代 19世紀前半	紙本墨画淡彩	1巻	個人蔵

(5) 講演会等

■学芸員によるギャラリートーク

日時：10月21日(土)10：00～、10月28日(土)14：00～(各回45分程度、事前申し込み不要)

山口県立美術館開館45周年記念 読売新聞西部本社発刊60周年記念 奈良大和路のみほとけ ―令和古寺巡礼―

会 期 令和6年(2024年)4月12日(金)～6月9日(日)
※月曜休館、ただし4月29日、5月6日、6月3日は開館
主 催 山口県立美術館、読売新聞社、KRY山口放送
協 力 なら歴史芸術文化村、入江泰吉記念奈良市写真美術館
後 援 奈良県、FBS福岡放送、HTV広島テレビ
企画協力 TNCプロジェクト
特別協賛 山口銀行



ポスター(B2)



フレチラシ(A4)表面



フレチラシ裏面



チラシ(A3二つ折り)外面



チラシ中面

(1) 趣旨・概要

はるか1400年前、仏教文化が花開いた奈良大和路に所在する法隆寺、東大寺、薬師寺、唐招提寺、大安寺、西大寺をはじめ、由緒ある奈良の古寺に守り継がれている仏像を中心に絵画、工芸品など珠玉の仏教美術を紹介した本展は、関根俊一(帝塚山大学 客員教授)監修のもと、当館(中国以西)を第1会場として、MIHO MUSEUM(関西)、山梨県立博物館(関東)の3会場を巡回した。

当会場では国宝2点、重要文化財12点をはじめ約50点の作品を①斑鳩・矢田、②西ノ京・佐保・佐紀、③奈良公園周辺・春日・柳生、④山の辺・飛鳥・當麻という4エリア順に、15の諸寺を巡礼するような導線に沿って紹介。作品の周囲の壁には、大和路に憧れた會津八一、和辻哲郎、亀井勝一郎など日本を代表する文士たちの歌や言葉を散らすことで「古寺巡礼」のイメージを重ね合わせた。さらに、奈良を愛した写真家・入江泰吉による写真作品20点を会場末尾で紹介し、観客を古都へと誘うような雰囲気醸成して締めくくった。

当館での仏像メインの展覧会は、2017年秋の「創建1250年記念 奈良 西大寺展 叡尊と一門の名宝」以来7年ぶり。出陳数27点の仏像のうち、国宝・観音菩薩立像(夢違観音)、重要文化財・日光、月光菩薩立像(いずれも法隆寺蔵)という飛鳥時代の貴重な仏像3点を当館では初めて展示することが叶い、今後の仏教美術展を模索する上で指針となるべ

き実績を得た。日本の彫刻史を彩る仏像を中心とした見応えのある展示であったが、展覧会名が特定の寺院名を冠する明快なものではなく、諸寺の集合体といった曖昧模煳な要素もあってか、入館者数は32,811人と集客にやや苦戦した結果が表れた。コロナ禍以降、入館者の様相が以前に比べ掴み難くなっており、今後、仏教美術展を開催する折には広報面のさらなる充実と強化を図る必要性を感じている。



会場風景1



会場風景2



会場風景3



会場風景4



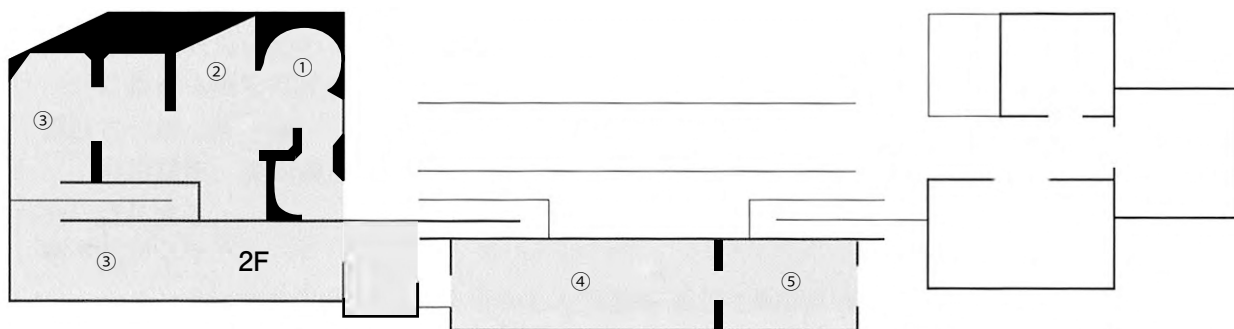
会場風景5



会場風景6

(2) 会場構成

- ① 斑鳩・矢田
- ② 西ノ京・佐保・佐紀
- ③ 奈良公園周辺・春日・柳生
- ④ 山の辺・飛鳥・當麻
- ⑤ 入江泰吉写真作品



(3) カタログ

- 編集 末吉武史(山口県立萩美術館・浦上記念館)
 福田善子(山口県立美術館)
 片山寛明・桑原康郎・南部美帆(MIHO MUSEUM)
 近藤暁子(山梨県立博物館)
- 制作・編集協力 東京美術、小林泰司
- デザイン 大向務・吉澤七海(大向デザイン事務所)
- 印刷・製本 ライブアートブックス
- 発行 山口県立美術館、MIHO MUSEUM、山梨県立博物館、TNCプロジェクト
- 内容 003 ごあいさつ
 007 第一章 古寺への誘い

法隆寺・法起寺・霊山寺・薬師寺・唐招提寺・大安寺・西大寺・法華寺・東大寺・法徳寺・新薬師寺・南明寺・長谷寺・岡寺・當麻寺
各寺院解説 倉橋みどり(奈良市観光大使・入江泰吉旧居事業コーディネーター)

038 本展出陳寺院案内図

039 第二章 古仏の魅力

042 奈良大和路のみほとけ—仏像を観る— 関根俊一

050 作品図版

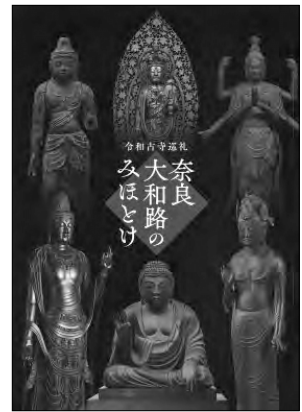
124 入江泰吉と奈良大和路 説田晃大(入江泰吉記念奈良市写真美術館)

130 仏像の各部名称

132 造像技法

134 出品目録

* A4変形判(279×200mm)140ページ



カタログ表紙

(4) 出品目録

※本日録のno.は図録の作品番号、I-1～20は入江泰吉作品番号

no.	指定	作品名	作者名／伝来	時代	員数	所蔵
58		聖林寺 十一面観音菩薩立像(模刻)	朱 若麟	令和2年(2020) [原像:奈良時代(8世紀)]	1軀	個人蔵
1	国宝	観音菩薩立像(夢違観音)		飛鳥～奈良時代(7-8世紀)	1軀	法隆寺
2	重要文化財	日光菩薩立像・月光菩薩立像 (法隆寺六観音)		飛鳥時代(7世紀)	2軀(6軀のうち)	法隆寺
6		十一面観音菩薩立像	法隆寺伝来	平安時代(10世紀)	1軀	個人蔵
8		行基菩薩坐像		江戸時代(17世紀)	1軀	霊山寺
9	重要文化財	十一面観音菩薩立像		平安時代(9世紀)	1軀	霊山寺
11	重要文化財	十一面観音菩薩立像		奈良時代(8世紀)	1軀	薬師寺
13	重要文化財	弥勒菩薩坐像		平安時代(12世紀)	1軀	薬師寺
15	奈良市指定文化財	薬師寺縁起絵巻(第1巻・第2巻)	明誉古磔	江戸時代 享保元年(1716)	2巻(4巻のうち)	薬師寺
16		大般若経(永恩具経)第90巻		奈良時代(8世紀)	1帖(47帖のうち)	薬師寺
17	重要文化財	如来形立像(トルソー)		平安時代(9世紀)	1軀	唐招提寺
19		鑑真和上像(律三祖像のうち)		江戸時代(17世紀)	1幅(3幅のうち)	唐招提寺
20	重要文化財	馬頭観音菩薩立像		奈良時代(8世紀)	1軀	大安寺
22		十一面観音菩薩立像	西大寺伝来	鎌倉時代(13世紀)	1軀	個人蔵
23	奈良県指定文化財	密教法具		鎌倉時代(13-14世紀)	1具	西大寺
24	奈良県指定文化財	文殊菩薩騎獅像		鎌倉時代(13世紀)	1軀	法華寺
25		花入	法華寺伝来	鎌倉時代 正中2年(1325)	1口	MIHO MUSEUM
42		春日鹿曼荼羅		室町時代(15-16世紀)	1幅	龍谷ミュージアム
43		春日鹿曼荼羅		南北朝時代(14世紀)	1幅	個人蔵
44		春日社寺曼荼羅		南北朝時代(14世紀)	1幅	個人蔵
45		菩薩立像(興福寺千体仏)		平安時代(12世紀)	7軀(20軀のうち)	法徳寺
47		地藏菩薩立像	興福寺伝来	平安時代(11-12世紀)	1軀	法徳寺
48	重要文化財	持国天立像	興福寺伝来	平安時代(11-12世紀)	1軀	MIHO MUSEUM
49		仏手(香薬師像右手)		飛鳥時代(7世紀)	1点	新薬師寺
27		大仏台座蓮弁線刻画拓影		現代 [蓮弁:奈良時代(8世紀)]	5幅	個人蔵
29		大仏螺髪		江戸時代(17世紀)	1個	東大寺
30	重要文化財	伎楽面(迦楼羅)		奈良時代(8世紀)	1面	京都国立博物館
32		鼓胴	東大寺伝来	奈良時代(8世紀)	1口	MIHO MUSEUM
33		東大寺大仏縁起(下巻)		室町時代(16世紀)	1巻(3巻のうち)	東大寺
34		大仏開眼・大仏殿落慶供養図		江戸時代(18世紀)	6曲1双	東大寺
36	重要文化財	二月堂練行衆疊「十一」銘		鎌倉時代 永仁6年(1298)	1枚	東大寺
36	重要文化財	二月堂練行衆疊「二十」銘		鎌倉時代 永仁6年(1298)	1枚	東大寺
40	国宝	弥勒仏坐像		平安時代(9世紀)	1軀	東大寺
51		僧形坐像		平安時代(10-11世紀)	1軀	南明寺
52	奈良県指定文化財	薬師如来坐像		平安時代(10-11世紀)	1軀	天理市合場町
54		長谷寺縁起(中巻)		江戸時代(17-18世紀)	1巻(3巻のうち)	長谷寺
55		如意輪観音菩薩坐像		鎌倉時代(13世紀)	1軀	長谷寺
59		多武峰曼荼羅		桃山時代(16-17世紀)	1幅	龍谷ミュージアム
56	重要文化財	天人文碑		飛鳥時代(7世紀)	1面	岡寺
60		當麻曼荼羅		南北朝時代(14世紀)	1幅	龍谷ミュージアム
61		中將姫坐像		江戸時代(17世紀)	1軀	當麻寺 奥院
62		當麻曼陀羅縁起(模本)		江戸時代(18世紀)	2巻	當麻寺 奥院
63		称讃浄土仏摂受経		奈良時代(8世紀)	1巻	當麻寺 西南院
64	奈良県指定文化財	菩薩面(米迎会所用面)		室町時代(15-16世紀)	2面(28面のうち)	當麻寺
I-1		法隆寺百済観音像	入江泰吉	撮影:1987年9月29日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-2		中宮寺菩薩半跏像	入江泰吉	撮影:1970-77年	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-3		薬師寺聖観音像	入江泰吉	撮影:1979年6月30日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-4		唐招提寺鑑真和上像	入江泰吉	撮影:1968年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-5		東大寺大仏殿除夜	入江泰吉	撮影:1985年12月31日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-6		東大寺広目天立像	入江泰吉	撮影:1976年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-7		興福寺阿修羅像	入江泰吉	撮影:1965年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-8		飛鳥大仏	入江泰吉	撮影:1976年9月5日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-9		法隆寺西院大伽藍	入江泰吉	撮影:1985年4月	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-10		斑鳩西里柿の秋	入江泰吉	撮影:1968年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館

I-11	宵月薬師寺伽藍	入江泰吉	撮影1982年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-12	唐招提寺金堂列柱	入江泰吉	撮影1985年7月23日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-13	唐招提寺観月讃仏会	入江泰吉	撮影1972年9月22日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-14	古都遠望	入江泰吉	撮影1957年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-15	春めく二月堂裏参道	入江泰吉	撮影1979年4月8日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-16	親子鹿	入江泰吉	撮影1975年5月15日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-17	牡丹の長谷寺	入江泰吉	撮影1979年4月25日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-18	飛鳥八鈎の里	入江泰吉	撮影1979年10月6日	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-19	当麻の里 秋日	入江泰吉	撮影1973年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館
I-20	春の大和三山	入江泰吉	撮影1968年頃	1点	入江泰吉記念奈良市写真美術館

(5) 講演会等

■スペシャルトーク1 笑い飯 哲夫のおもしろ仏教講座「奈良大和路のみほとけ編」

講師：笑い飯 哲夫

日時：5月6日(月・祝)18:00～19:00

会場：山口県教育会館 大ホール

定員：250名(聴講無料[※要観覧券]、要事前申し込み)

■スペシャルトーク2「雪舟にあこがれた画僧・古礪と薬師寺」

講師：大谷徹煥(薬師寺 執事長)

日時：4月27日(土)14:00～15:30

会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

定員：150名(聴講無料[※要観覧券]、要事前申し込み)

■記念講演会「仏教美術の黎明期—〈奈良美術〉誕生物語」

講師：大橋一章(早稲田大学 名誉教授)

日時：5月12日(日)14:00～15:30

会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

定員：150名(聴講無料、当日先着順)

■記念対談「奈良大和路の古寺をたずねて」

講師：関根俊一(本展監修者・帝塚山大学 客員教授)

倉橋みどり(奈良市観光大使・入江泰吉旧居事業コーディネーター)

日時：5月19日(日)14:00～15:30

会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

定員：150名(聴講無料、当日先着順)

■学芸員によるギャラリートーク

日時：4月13日、4月20日、5月11日、5月18日(いずれも土曜日)10:00～(各回45分程度、事前申し込み不要)

山口県立美術館開館45周年記念

没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ

Commemorating the 50th anniversary of the artist's death

Kazuki Yasuo's Siberia Series

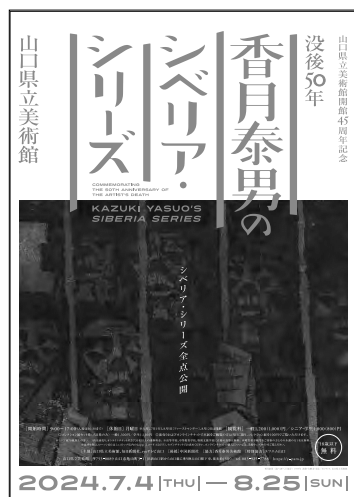
会 期 令和6年(2024年)7月4日(木)～8月25日(日)
※月曜休館、ただし7月15日、8月5日、8月12日は開館

主 催 山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口

協 力 香月泰男美術館

特別協力 エフエム山口

特別協賛 医療法人生山会 斎木病院



ポスター(B2)



チラシ(A4)表面



チラシ裏面

(1) 趣旨・概要

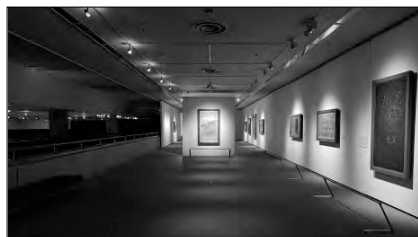
太平洋戦争への従軍とシベリア抑留の体験を描き、戦後の洋画壇に確たる地歩を固めた香月泰男(1911-1974)。画家の没後50年を記念して、代表作のシベリア・シリーズ全57点を一堂に集めて公開した。合わせて、シベリア・シリーズのもとになった素描を展示し、漠とした「シベリアの記憶」に形を与えていく画家の創造の過程を紹介。シベリア・シリーズは、香月泰男の体験に沿った順番での展示とし、画家による自筆解説文のオリジナルを掲示することで、鑑賞者が描かれた作品の内容により深く入っていきける構成とした。会場では、展示室Dの壁面を黒にし、またやや入り組んだ造作とすることで、劇的な空間を演出。展示室E、Fでは一転してゆったりと作品を配置し、画家のおよそ4年半の戦争とシベリア抑留の体験に、鑑賞者がじっくりと浸ってもらえるような展示空間の創出を目指した。



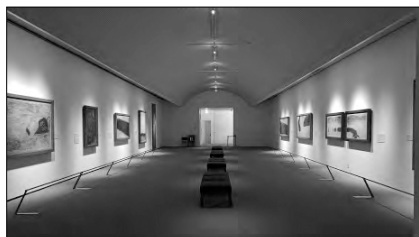
会場風景1



会場風景2



会場風景3



会場風景4

(2) 会場構成

- ① プロローグ
- ② I. 満州へ
- ③ II. 敗戦・シベリア行
- ④ III. セーヤ収容所
- ⑤ IV. チェルノゴルスク収容所
- ⑥ V. 帰還
- ⑦ エピローグ―“私の”地球
- ⑧ シベリア・シリーズの原型



(3) カタログ

なし

(4) 出品目録

no.	作品名	制作年	材質
1	護	1969年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
2	雲	1968年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
3	別	1967年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
4	黒い太陽	1961年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
5	青の太陽	1969年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
6	雨〈牛〉	1947年	油彩／カンヴァス
7	雨	1968年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
8	ホロンバイル	1960年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
9	朝陽	1965年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
10	鷹	1958年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
11	煙	1969年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
12	道	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
13	海拉爾	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
14	朕	1970年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
15	避難民	1960年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
16	奉天〈左〉	1970年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
17	奉天〈右〉	1970年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
18	1945	1959年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
19	業火	1970年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
20	北へ西へ	1959年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
21	湿地	1961年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
22	凍土	1965年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
23	アムール	1962年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
24	運ぶ人	1960年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
25	乗客	1957年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
26	伐	1964年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
27	鋸	1964年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
28	雪山	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
29	神農	1964年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
30	埋葬	1948年	油彩／カンヴァス
31	涅槃	1960年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
32	雪	1963年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
33	海〈ペーチカ〉冬	1966年	油彩・方解末・木炭、紙／カンヴァス
34	雪〈窓〉	1963年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
35	列	1961年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
36	星〈有刺鉄線〉夏	1966年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
37	荊	1965年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
38	囚	1965年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス

39	ー35°	1971年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
40	穴掘人	1960年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
41	餓	1964年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
42	左官	1956年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
43	凍河〈エニセイ〉	1966年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
44	ダモイ	1959年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
45	バイカル	1971年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
46	渚〈ナホトカ〉	1974年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
47	ナホトカ	1961年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
48	絵具箱	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
49	日本海	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
50	デモ	1973年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
51	点呼（左）	1971年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
52	点呼（右）	1971年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
53	復員〈タラップ〉	1967年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
54	私〈マホルカ〉	1966年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
55	〈私の〉地球	1968年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
56	日の出	1974年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス
57	月の出	1974年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス

素描

D-1	《埋葬》関連素描	1947年頃	ペン／紙
D-2	《避難民》関連素描	1959年頃	ペン・水彩／紙
D-3	《ホロンバイル》関連素描	1959年頃	ペン・水彩／紙
D-4	《ホロンバイル》関連素描	1959年頃	ペン・水彩／紙
D-5	《ホロンバイル》関連素描	1959年頃	鉛筆・水彩／紙
D-6	《穴掘人》関連素描	1959年頃	ペン／紙（煙草空箱）
D-7	《ナホトカ》関連素描	1960年頃	ペン・鉛筆／紙
D-8	《青の太陽》関連素描	1968年頃	クレヨン・鉛筆／紙
D-9	《業火》関連素描	1969年頃	ペン／紙
D-10	《奉天》関連素描	1969年頃	ペン／紙
D-11	《日本海》関連素描	1971年頃	クレヨン・鉛筆／紙

(5) 講演会等

■美術講座「香月泰男とシベリア・シリーズ」

講師：萬屋健司（山口県立美術館 学芸課長）

日時：8月3日（土）14：00～15：30

会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

定員：150名（聴講無料〔※要観覧券〕、当日先着順）

■学芸員によるギャラリートーク

日時：7月6日、7月13日、7月20日（いずれも土曜日）10：00～（各回45分程度、事前申し込み不要）

■「真夏の夜のギャラリートーク」

山口七夕ちょうちんまつり（8月6日・7日）の開催に合わせて夜間開館（～20：00）とギャラリートークを行った。

日時：8月6日（火）、8月7日（水）18：30～（各回45分程度）

定員：各日50名（要事前申し込み）

※詳細は令和6年度指定管理者自主企画事業の項を参照（72頁）。

超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

会 期 令和6年(2024年)9月12日(木)～11月10日(日)
 ※9月30日、10月21・28日は休館(いずれも月曜日)
 主 催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送
 協 力 清水三年坂美術館
 監 修 山下裕二(明治学院大学 教授)
 企画協力 広瀬麻美(浅野研究所)
 特別協力 エフエム山口
 特別協賛 西京銀行



ポスター(B2)



プレチラシ(A4)表面



プレチラシ裏面



チラシ(A3二つ折り)外面



チラシ中面

(1) 趣旨・概要

本展は、これまで「超絶技巧！明治工芸の粋」展(2014～2015年)、「驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ」展(2017～2019年)と全国を巡回し、当館でも開催され多くの人々を魅了した展覧会「超絶技巧」シリーズの第3弾である。明治工芸を再評価するとともに、その超絶技巧のDNAを受け継いだ現代の作家もあわせて紹介する今回の展覧会も、前回までと同じく明治学院大学教授の山下裕二氏による企画・監修である。

今回は現代作家の作品数を大幅に増やし、木、金属、陶磁、漆、ガラス、紙などの多様な素材に、鍛錬を重ねた技法を駆使して向き合い、新たな領域に挑む17名の現代作家たちの新作を中心に紹介し、明治の超絶技巧のDNAがいか

に現代の作家に受け継がれているかを前回にも増して体感できる展覧会となった。
 また前回同様、超絶技巧のルーツでもある七宝、金工、漆工、木彫、陶磁、刺繍絵画などの明治工芸の逸品もあわせて展示した。今回もそうした明治工芸とそのDNAを継承しつつ、独自の美意識を貫く作家たちが繰り出す驚きの超絶技巧の数々をご堪能いただいた。



会場風景1



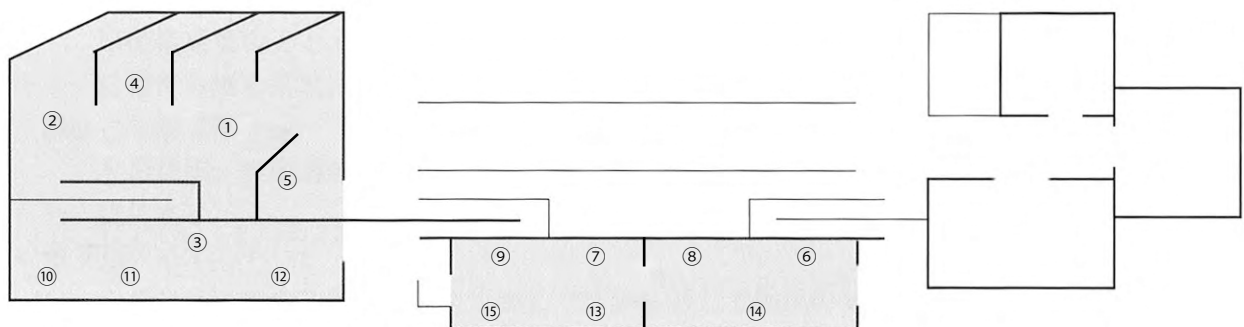
会場風景2



会場風景3

(2) 会場構成

- ① 現代作家(木彫)
- ② 現代作家(金工)
- ③ 現代作家(漆工)
- ④ 現代作家(陶磁)
- ⑤ 現代作家(ガラス)
- ⑥ 現代作家(水墨画)
- ⑦ 現代作家(ペーパークラフト)
- ⑧ 現代作家(切り絵)
- ⑨ 現代作家(刺繍)
- ⑩ 明治工芸(七宝)
- ⑪ 明治工芸(金工)
- ⑫ 明治工芸(漆工)
- ⑬ 明治工芸(陶磁)
- ⑭ 明治工芸(木彫・牙彫)
- ⑮ 明治工芸(刺繍絵画)



(3) カタログ

- 編集 集 広瀬麻美(浅野研究所)
- 編集協力 朝山衣恵(清水三年坂美術館)、小林祐子(三井記念美術館)、
立花 昭(岐阜県現代陶芸美術館)、山口敦子(岐阜県現代陶芸美術館)
- 翻訳 パメラ・ミキ・アソシエイツ
- デザイン 野村勝久(野村デザイン制作室)
- 発行 浅野研究所
- 印刷 サンニチ印刷
- 内容 006 あいさつ
008 超絶技巧、未来へ！—明治工芸のDNAを受け継ぐ現代作家たちの挑戦 山下裕二
017 図版
161 現代作家作品解説
175 明治工芸作品解説
188 明治工芸作家略歴
191 参考文献リスト
197 作品リスト
※A4変形判(217×260mm)203ページ



カタログ表紙

(4) 出品目録

no.	作品名	作家名	制作年	素材	所蔵
現代作家					
木彫					
1-01	《一刻》 スルメに茶碗	前原冬樹	2022年	朴、油彩、墨	
1-02	《一刻》 グローブとボール	前原冬樹	2022年	朴、油彩、墨	
1-03	《一刻》 トタンに釘、板に鋸	前原冬樹	2022年	イチイ	
1-04	《一刻》 プランコに朴の実	前原冬樹	2003年	桂、油彩	
1-05	黄昏	松本 涼	2023年	樟	
1-06	輪廻	松本 涼	2022年	樟	
1-07	連鶴 四想祈安	松本 涼	2022年	樟	
1-08	涅槃	松本 涼	2021年	樟	
1-09	髑髏柳	松本 涼	2020年	樟	
1-10	Innocent	大竹亮峯	2023年	黄楊、楓、鹿角、TiNi線	
1-11	歩葉	大竹亮峯	2021年	楓、マカンバ、オパール、鹿角	
1-12	月光	大竹亮峯	2020年	鹿角、神代樺、楓、榧、チタン合金	
1-13	眼鏡饅頭蟹	大竹亮峯	2020年	梓(ミズメザクラ)、ラブラドライト	
1-14	折り	大竹亮峯	2019年	楓、榧、ラブラドライト、パウア	
1-15	吸水	福田 亨	2022年	黒檀、黒柿、柿、真弓、朴、苦木、柳、ペロバローサ	
1-16	Niwa -カタクリ	福田 亨	2023年	朱利桜、黒檀、神代榎、黒柿、真弓、朴、繭の木、山桜、柳、ピンクアイボリー、ペロバローサ、ペリコプシス、パープルハート、マホガニー	
1-17	Mushikago(トノサマバッタ)	福田 亨	2021年	朴、黄楊、黒檀、榧、槐、車輪梅、黒柿、柿、神代榎、花梨、水木、インブイア、ウォールナット	
1-18	さくらんぼ	岩崎 努	2021年	楓、水干絵具、胡粉、膠、漆	清水三年坂美術館
1-19	無花果	岩崎 努	2020年	楠、水干絵具、胡粉、膠	清水三年坂美術館
1-20	嘉来(柿)	岩崎 努	2019年	楓、水干絵具、胡粉、膠	清水三年坂美術館
1-21	竹の子	岩崎 努	2022年	楓、水干絵具、胡粉、膠	清水三年坂美術館
金工					
1-22	円相	本郷真也	2023年	鉄、金	
1-23	Visible01 境界	本郷真也	2021年	鉄、赤銅、銀	
1-24	老犬 独歩	本郷真也	2021年	鉄	
1-25	Nature-Delta	織田隼生	2023年	ステンレススチール	
1-26	Imperfect	織田隼生	2022年	ステンレススチール	
1-27	Hybrid' White magnolia, plum'	織田隼生	2023年	ステンレススチール	
1-28	銀製 桐包材	長谷川清吉	2023年	銀	
1-29	真鍮製 爪楊枝	長谷川清吉	2023年	銀、真鍮	
1-30	銅製 紙袋	長谷川清吉	2023年	銀、銅	
1-31	銅製 ゴミ箱	長谷川清吉	2023年	銀、銅、真鍮	
漆工					
1-32	Ultraviolet canvas	彦十蒔絵 若宮隆志	2022年	アルミ、天然漆、色粉	
1-33	金槌	彦十蒔絵 若宮隆志	2023年	麻布、天然漆	
1-34	「ねじが外れている」モンキー、工具箱、ねじ	彦十蒔絵 若宮隆志	2023年	モンキー：麻布、天然漆、銀粉 工具箱・ネジ：ヒバ材、漆、銀粉	
1-35	琉璃彩 菊唐草蒔絵	彦十蒔絵 若宮隆志	2022年	樺、天然漆、金粉、和光銀粉、人工オパール	
1-36-1	草花研ぎ出し蒔絵 渡辺省亭図引用	彦十蒔絵 若宮隆志	2022年	朴、天然漆、金粉、銀粉、炭粉、螺鈿、銀細工	
1-36-2	牡丹に蝶の図	渡辺省亭	1893年	絹本着色	
1-37	羽根蒔絵大棗	樋渡 賢	2022年	樺、漆、金、銀、赤銅	
1-38	羽根蒔絵杯	樋渡 賢	2022年	樺、漆、金、銀、赤銅	
1-39	蒔絵細棗「月下蛭蝠」	樋渡 賢	2022年	樺、漆、金、炭粉	
1-40	百千金字塔香合	池田晃将	2022年	漆、木曾檜、鮑貝、金	
1-41	電光金針水晶飾箱	池田晃将	2022年	漆、木曾檜、夜光貝、鮑貝、金	
1-42	五乗電脳之間飾箱	池田晃将	2022年	漆、木曾檜、鮑貝、夜光貝、銀、金	
1-43	紫電閃光結晶飾箱	池田晃将	2022年	漆、木曾檜、夜光貝、金	
1-44	Artifact 03	池田晃将	2019年	漆、榧、鮑貝	
陶磁					
1-45	Amrita	稲崎栄利子	2023年	陶土、磁土	
1-46	Euphoria	稲崎栄利子	2023年	陶土、磁土、金彩、雲母銀	
1-48	霧雨	稲崎栄利子	2018年	陶土、磁土	
ガラス					
1-49	あなたと私の間に	青木美歌	2017年	ガラス、ステンレススティール	
1-50-1	Gil-SA-3W	青木美歌	2010年	ガラス	
1-50-2	Vessel of genetic code	青木美歌	2017年	ガラス	
1-50-3	作品名不詳	青木美歌	2010年	ガラス	
水墨画					
1-51	日本三名瀑—那智の滝	山口英紀	2022年	紙本水墨	
1-52	日本三名瀑—華嚴の滝	山口英紀	2023年	紙本水墨	
1-53	日本三名瀑—袋田の滝	山口英紀	2023年	紙本水墨	
1-54	にはたづみ	山口英紀	2010年	絹本水墨	
ペーパークラフト					
1-55	#256 [BCL Radio]	小坂 学	2022年	紙	

1-56	#224 [Classic Camera]	小坂 学	2019年	紙	
1-57	#251 [Watch]	小坂 学	2019年	紙	
1-58	#237 [Sports Shoe]	小坂 学	2019年	紙	
切り絵					
1-59	ヴィーナスの誕生II	盛田亜耶	2022年	紙	
1-60	マグダラのマリア	盛田亜耶	2022年	紙	
刺繍					
1-61	王国	蛸牛あや	2023年	絹糸、絹布	
1-62	鳳凰	蛸牛あや	2023年	絹糸、絹布	
1-63	眠る鳥	蛸牛あや	2023年	絹糸、絹布	
1-64	騎士	蛸牛あや	2022年	絹糸、絹布	
明治工芸					
七宝					
2-01	蝶に花園香合	並河靖之			
2-02	蝶に花唐草花瓶	並河靖之			清水三年坂美術館
2-03	藤に蝶図花瓶(一对)	並河靖之			清水三年坂美術館
2-04	梅鶯図小花瓶	並河靖之			
2-05	家鷄に菊花図飾扁壺	並河靖之			
2-06	草花園花瓶	並河靖之			清水三年坂美術館
2-07	富嶽図小箱	澁川惣助			
2-08	梅月図小箱	澁川惣助			
2-09	綿花園梅型小箱	澁川惣助			
2-10	月雲双鴨図飾皿	澁川惣助			
2-11	菖蒲図大皿	澁川惣助			
2-12	悲母観音図花瓶	柴田			清水三年坂美術館
2-13	檜に鳥蟬図花瓶(一对)	川出榮太郎			清水三年坂美術館
2-14	龍鳳凰図香炉	無銘			
金工					
2-15	糸瓜花瓶	正阿弥勝義			清水三年坂美術館
2-16	猿に蟾蜍図花瓶	正阿弥勝義			清水三年坂美術館
2-17	雲龍波鶴図花瓶	正阿弥勝義			清水三年坂美術館
2-18	葛葉文煙草箱	駒井音次郎			清水三年坂美術館
2-19	孔雀図煙草箱	海野勝珉			清水三年坂美術館
2-20	松鶴図花瓶	海野勝珉			清水三年坂美術館
2-21	鷹香炉	信久			清水三年坂美術館
2-22	四季草花園花瓶(一对)	中川義実			清水三年坂美術館
2-23	駿馬図花瓶	飴谷有民			清水三年坂美術館
2-24	花鳥図花瓶(一对)	弘柳斎光春			
漆工					
2-25	青海波貝藻蒔絵重箱・裏白蒔絵台	柴田是真			清水三年坂美術館
2-26	月秋草虫蒔絵菓子器	柴田是真			
		池田泰真			
		庄司竹真			
2-27	秋草蒔絵飾棚	池田泰真			清水三年坂美術館
2-28	四君子蒔絵文台・料紙箱・硯箱	白山松哉			清水三年坂美術館
2-29	羽根蒔絵香合	白山松哉			清水三年坂美術館
2-30	羽根蒔絵茶器	白山松哉			
2-31	桐鳳凰図提單筒	芝山政由			清水三年坂美術館
2-32	花鳥図飾壺	無銘			清水三年坂美術館
陶磁					
2-33	薩摩武人図花瓶	7代錦光山宗兵衛			
2-34	上絵金彩昆虫唐子図碗	成瀬誠志			岐阜県現代陶芸美術館
2-35	上絵金彩人物図花瓶(一对)	成瀬誠志			岐阜県現代陶芸美術館
2-36	上絵金彩妖怪図蓋物	成瀬誠志			岐阜県現代陶芸美術館
2-37	栗置物	無銘			清水三年坂美術館
木彫・牙彫					
2-39	家鴨図文庫	旭 玉山			清水三年坂美術館
2-40	白衣観音像	高村光雲			
2-41	文殊菩薩図手箱	石川光明			清水三年坂美術館
2-42	文殊菩薩像	石川光明			清水三年坂美術館
2-43	鳩に美人	石川光明			清水三年坂美術館
2-44	竹取翁	米原雲海			
2-45	月	米原雲海			
2-46	柿	安藤緑山			清水三年坂美術館
2-47	松竹梅	安藤緑山			清水三年坂美術館
2-48	無花果	安藤緑山			三井記念美術館
2-49	貝尽	安藤緑山			清水三年坂美術館
2-50	鉢植牡丹	安藤緑山			
2-51	鳩の親子	無銘			
刺繍絵画					
2-52	尾長鶏図屏風	無銘			清水三年坂美術館

2-56 架鷹図 4図(うち2図)
2-57 親子鷹図屏風
2-58 狐犬図
2-59 虎図
2-60 虎図

無銘
無銘
12代西村總左衛門
無銘
円山応挙

清水三年坂美術館
清水三年坂美術館
清水三年坂美術館

(5) 講演会等

■トークイベント

「超絶技巧、最年長VS最年少！」

講師：山下裕二(明治学院大学 教授)

前原冬樹(木彫作家)

福田 亨(木彫作家)

日時：9月28日(土)13：30～15：00

会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

定員：150名(聴講無料[※要観覧券]、要事前申し込み)

■学芸員によるギャラリートーク

日時：9月14日、9月21日、10月5日、10月12日(いずれも土曜日)

10：00～(各回45分程度、事前申し込み不要)

(2) 山口県美術展覧会

第76回山口県美術展覧会

会期：令和6年(2024年)3月7日(木)～3月24日(日) ※3月11日(月)・18日(月)は休館

主催：山口県

運営委員(50音順)

岡本正康(下関市立美術館 館長)

金子 司(陶芸家、萩陶芸家協会 理事)

倉田研治(山口県立大学国際文化学部 准教授)

中野良寿(美術家、山口大学教育学部 教授、N3アートラボ代表)

原井輝明(画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授)

山本綾香(アスピラート[防府市地域交流センター])

山本昌克(山口県 観光スポーツ文化部文化振興課長)

若林英樹(山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長)

(1) 審査員(50音順)

成相 肇(東京国立近代美術館 主任研究員、美術批評家)

不動美里(姫路市立美術館 館長)

松井紫朗(彫刻家、京都市立芸術大学 教授)



タフロイド表紙

(2) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率(%)
266点	92点	38点	130点	48.8%

(3) 受賞者

〈大賞〉

鬼哭啾啾

井岡 義朋

山口市



大賞作品 鬼哭啾啾 井岡義朋

〈優秀賞〉

警笛
価値の更新
逃げる
虹彩釉「岳」(5山5湖)
X2・ミサイル御膳

上本 ひとし
大村 洋二郎
随行 奏子
永田 恭章
山本 尚明

下松市
広島県
広島県
山口市
防府市

〈佳作〉

勉強
Order #16
里山風景
穴
世界秩序
祭の「群像」
おとうさんの仕事場
3人の名誉教授のコメントから次世代のアートについて考える。
「猫は死ぬ、犬は生きる」
One Colorful World —アップサイクルから愛を—
おいでませふくの国山口
愚かな人類
星空
団塊は最後まで
ザクロ
たい焼きサブマリ2号
ハローアンドピース
Gods Speak
Flakes
それでも時は刻まれて(1945年、5歳だった私は)
戦場のガーデン

伊賀 晶子
諫山 元貴
石井 誠
石井 みつこ
石井 みつこ
井上 親彦
上村 康子
岡村 邦彦

奏 ちよこ
来島 康博
響月
久遠 湖
國本 悦生
古賀 隆光
才田 博之
迫口 雄二
シンジ—ナミ—タエ
大道 竜士
田中 ミノル
田中 ミノル
グループTAO
田畑 省自
平田 詩織
藤本 スミ
古澤 満
まこもまこ
村上 知亜砂
村田 賢二
守山 幸伸
Monzo 渡邊
山下 哲郎
山根 みどり
山本 尚明

山口市
広島県
岩国市
岡山県
岡山県
下関市
岩国市
山口市

防府市
周南市
山口市
山陽小野田市
下関市
宇部市
広島県
岩国市
島根県
防府市
光市
光市

周南市
周防大島町
岩国市
福岡県
岩国市
広島県
山口市
宇部市
周南市
周防大島町
山口市
防府市

NO WAR!!(我が故郷にも人間魚雷回天が在りました🐟)
Self-portrait 24-3
お城山 ②
誕生
宇宙の星
TEMENOS
405歳を生きる
どこへも帰らない
パリの落書き
TRAVEL アフリカ スルマの民 2024
氷華—この現実には咲き誇る—
眩く

(4) ワークショップ

①「自作を語る」

県美展入賞者・入選者のうち希望者による自作解説文を77点掲示。

②「私のイチオシ！」

美術館ボランティアスタッフによる企画。来館者による入賞作品へのコメントを掲示。コメントは展覧会終了後に出品者へフィードバックした。

第77回山口県美術展覧会

会期：令和7年(2025年)2月27日(木)～3月16日(日) ※3月10日(月)は休館
主催：山口県

運営委員(50音順)
岡本正康(下関市立美術館 館長)
金子 司(陶芸家、萩陶芸家協会 理事)
倉田研治(山口県立大学国際文化学部 准教授)
中野良寿(美術家、山口大学教育学部 教授、N3アートラボ代表)
原井輝明(画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授)
山本綾香(アスピラート[防府市地域交流センター])
山本昌克(山口県 観光スポーツ文化部文化振興課長)
若林英樹(山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長)

(1) 審査員 (50音順)

成相 肇(東京国立近代美術館 主任研究員、美術批評家)
不動美里(姫路市立美術館 館長)
松井紫朗(彫刻家、京都市立芸術大学 教授)

(2) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率(%)
296点	81点	39点	120点	40.5%

(3) 受賞者

〈大賞〉

Self - Portrait 25 - 1

平田 詩織

周防大島町



大賞作品 Self - Portrait 25 - 1 平田 詩織

〈優秀賞〉

ロケットパンチ9号

緋を背に

死への畏怖

陶インスタレーション(苔むした宇宙の星たち)

フレーミング

一つまらない風景あるいは幾何学的抽象

(中に見る/外に見る、その相互浸透から現われるもの)

才田 博之

しにゃ

八谷 勝生

まこも まこ

山根 秀信

広島県

広島県

山口市

岩国市

山口市

〈佳作〉

《その後の世界でⅡ》より 〈蜘蛛の巣〉 〈奇跡〉 〈脱出〉

蒼 想

群青

seaside story

黄雀風

オーバーキル

伊賀 晶子

伊藤 聡

井上 まいこ

上本 ひとし

岡嶋 駿弥

岡本 よしろう

山口市

山口市

周南市

下松市

下松市

山口市

千理眼
想い
我々は収集される 何者でもない 何処へも行けない
Spaceship Earth～愚者～
the bear is standing still
ジャックの死
私は76歳の理容師です。生まれて来てくれた孫達に
ジジがメダルをいっぱいあげるよ😄
独白
さようなら発電所
ミッドライフ クライシス
息子へ
大好きな彼女が生て、さすってくれるだけで
不思議と痛みが無くなる
APPEAL
山と錦川
斑虎
セレネイド
記憶の抱擁
老いを生きる
絵以呼異 年 の ポートレート
moon
きみといつまでも
ワタシノコト
天地創造 「初めに神は、天と地を創造された。」
天空に向かって
青い群峰
結（タンポポモドキの根）
遠い記憶

奏 ちよこ
國本 悦生
佐藤 隼
品川 美歌
ジョジョ
シンジー・ナミー・タエ
田畑省自と孫達

防府市
下関市
奈良県
宇部市
宇部市
島根県
周南市

中野 拓海
中村 正寛
難波 瑞穂
浜桐 陽子
美藤 信市

福岡県
光市
福岡県
岩国市
防府市

藤田 正利
藤本 スミ
松永 祐希
松本 一雄
村上 知亜砂
村田 賢二
Motoco Tanabe
守山 幸伸
守山 幸伸
守山 幸伸
Monzo 渡邊
山下 知己
山下 正子
山根 みどり
吉岡 幸音

萩市
岩国市
山陽小野田市
萩市
広島県
山口市
山口市
宇部市
宇部市
宇部市
周南市
山口市
山口市
山口市
防府市

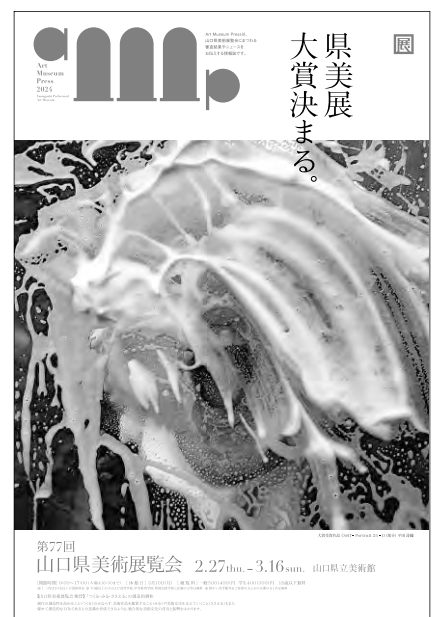
(4) ワークショップ

①「自作を語る」

県美展入賞者・入選者のうち希望者による自作解説文を75点掲示。

②「私のイチオシ！」

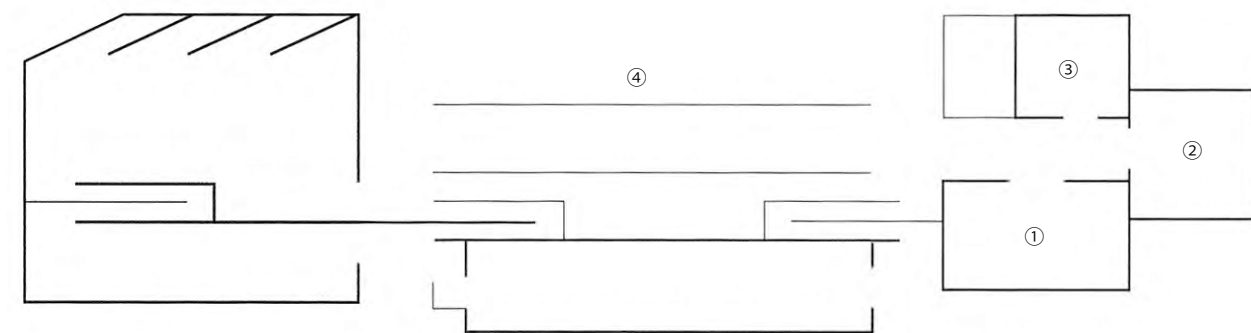
美術館ボランティアスタッフによる企画。来館者による入賞作品へのコメントを掲示。コメントは展覧会終了後に出品者へフィードバックした。



タブロイド表紙

(3) コレクション展

館蔵品(寄託品、借用作品を含む場合もあり)の常時公開の場としてコレクション展示室を設け、テーマを設定して館蔵品を公開。近年は同時に開催されている特別展と関連付けたテーマでコレクション展を企画したうえで、特別展とコレクション展がセットとなったお得なチケットを販売。特別展への来館者がより多くコレクション展に入場するよう努めている。



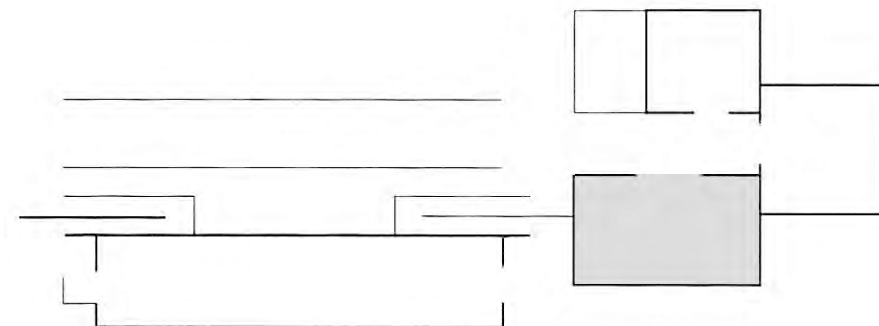
展示室A・B・C(①、②、③)
野外展示場(④)

462.309㎡
1,370.000㎡

* 凡例

- ・以下のコレクション展は、令和5年度(2023年度)、令和6年度(2024年度)のそれぞれについて、展示室ごとに整理し、原則として、名称、会期、趣旨概要、出品作品リストの順に記した。
- ・「出品作品リスト」中のIDの項には、原則として山口県立美術館における作品整理番号を記す。Zに始まる整理番号は寄託品に付される。その他は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準拠する。

令和5年度 展示室A



奇なる日本画 ―風景― 4月4日(火)～5月14日(日)

一見普通なようでどこか違和感を覚えるもの、構図や描写が変わっているものなど、今の私たちが不思議さや奇抜さ、面白さを感じる「奇なる」日本画。江戸時代を中心に、風景をテーマとした作品を前期、人物や動物を描いた作品を後期に分けて展示した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	山水図屏風	雲谷等璫	17-18世紀	紙本墨画	J-0190
02	西湖図・金山寺図屏風	雲谷等璫	17-18世紀	紙本墨画淡彩	J-0241
03	雪景山水図	雲谷等璫	17世紀	紙本墨画	R-0012-010
04	雪景山水図	林 百非	19世紀前半	紙本墨画	Z-0015
05	月夜山水図	狩野芳崖	19世紀後半	紙本墨画淡彩	J-0082
06	山水図	雲谷等溪	19世紀前半	紙本墨画	J-0098
07	群仙図	金子鷗雨	19世紀後半	紙本墨画淡彩	J-0010

奇なる日本画 ―人物・動物― 5月16日(火)～6月25日(日)

「奇なる日本画―風景―」に引き続き、現代の私たちからすると、なんとも「奇なる」動物や人物を描いた作品を展示した。「奇」なイメージの元となるエピソードや、奇怪さをリアルに描き出す描写力、それを支える想像力の豊かさを紹介。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	鯉図	雲谷等列	18世紀	絹本墨画	J-0294
02	虎図	雲谷等村	18-19世紀	絹本墨画	Z-0382
03	呂洞賓鉄拐図	狩野芳崖	19世紀	紙本墨画淡彩	J-0075
04	鍾馗	鯉崎英朋	明治-昭和時代	絹本着色	J-0331
05	布袋	鯉崎英朋	明治-昭和時代	絹本墨画淡彩	J-0330
06	雪舟落款福祿寿図模写	山岡山泉	20世紀	紙本墨画	R-0065
07	芦葉達磨図	生駒等寿	17世紀	絹本着色	Z-0291
08	騎獅文殊像	三谷等悦	17世紀	紙本墨画	Z-0299
09	琴高仙人図	森 寛斎	19世紀	紙本墨画	Z-0376
10	海底のアラベスク	藤田隆治	1950-55年頃	カンヴァスに岩絵具	J-0144

松林桂月 ―墨と色が織りなす美― 7月15日(土)～8月20日(日)

近代日本絵画の重鎮で、最後の文人画家と評される萩出身の松林桂月(1876-1963)。没後60年を迎えるこの画家の、詩情的で優美な独特の作品の魅力を、「墨の力」と「色彩の輝き」の2つのテーマにそって紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	仙峽聴泉	松林桂月	1929年	紙本墨画	J-0062
02	長門峽	松林桂月	1951年	紙本墨画	Z-0088
03	竹林幽趣	松林桂月	1956年	紙本墨画	Z-0090
04	竹林夜雨	松林桂月	1962年	紙本墨画	Z-0092
05	雨後	松林桂月	1955年	絹本墨画淡彩	Z-0089
06	夏景山水 (絶筆)	松林桂月	1963年	絹本墨画淡彩	J-0317
07	桃花双鶏	松林桂月	1895年	絹本着色	Z-0085
08	怒涛健鷗	松林桂月	1897年	絹本着色	Z-0086
09	秋塘真趣	松林桂月	1907年	絹本着色	Z-0087
10	愛吾廬	松林桂月	1936年	絹本着色	J-0063

ファンタジック・カチョウズ ー没後50年 福田翠光 8月22日(火)～9月24日(日)

「鷹を描かせては東西比肩するものなし」と称された、近代花鳥画の名手・福田翠光(1895-1973)。夢幻的な雰囲気をつたえ、選び抜かれた岩絵の具が淡い輝きを放つ、《ファンタジック》な花鳥の世界を紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	大鷹	福田翠光	1937年	絹本着色	J-0044
02	若鷹	福田翠光	1944年	絹本着色	J-0046
03	霧こむる野分	福田翠光	1930年	絹本着色	J-0038
04	羽觸	福田翠光	1933年	絹本着色	J-0040
05	山葡萄	福田翠光	1955年	絹本着色	J-0049
06	淨晨	福田翠光	1953年	紙本着色	J-0048
07	紅園	福田翠光	1952年	紙本着色	J-0047
08	寂	福田翠光	1969年	紙本着色	J-0051

新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派 10月13日(金)～12月3日(日)

令和5年度に山口県の雪舟と雲谷派ゆかりの作品4点が新たに重要文化財となった。新指定となった雲谷派による2つの「雪舟等楊像」と雲谷等顔「惟松円融像」、雲谷等益「雪舟筆四季山水図模本」を中心に、当館所蔵の雪舟および雲谷派作品とあわせて紹介した。展示室AおよびCの2室で開催。

※詳細は令和5年度特別展の本展の項を参照(22-23頁)。

江戸時代の動物画 森派の作品から 1月18日(木)～2月14日(水)

江戸時代、とくに18世紀後半から幕末にかけて、動物絵画はもっとも発展し流行した。中でも円山派の流れを引く「森派」の画家たちは、動物画を得意とした。森周峰(1738-1823)や森徹山(1775-1841)、森寛斎(1814-1894)にいたる森派の画家による、動物画を展示。

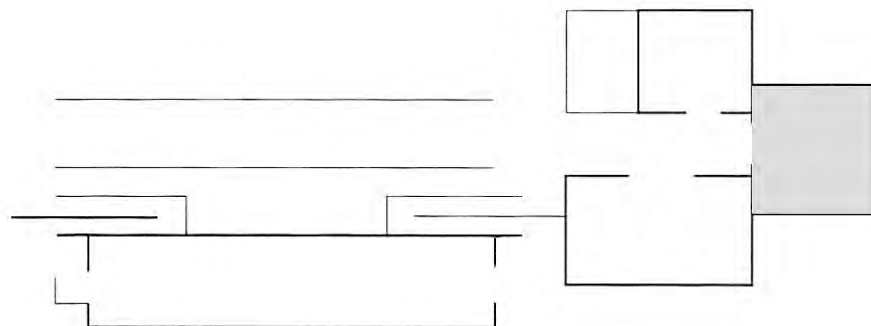
no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	写生図巻	森 寛斎	江戸時代19世紀	紙本墨画淡彩	D-0004-01
02	猿猴図屏風	森 周峰	江戸時代19世紀	紙本着色	J-0210
03	水呑虎図	森 徹山	江戸時代19世紀	絹本墨画淡彩	J-0119
04	月下狸図	森 徹山	江戸時代19世紀	絹本墨画淡彩	J-0120
05	熊図	森 一鳳	江戸時代19世紀	絹本墨画淡彩	J-0121
06	紅葉に牧童図	森 一鳳	江戸時代19世紀	絹本墨画淡彩	J-0212
07	葡萄とりす	森 寛斎	明治15年(1882)	絹本墨画	J-0065
08	萩羊の図	森 寛斎	明治時代19世紀	絹本墨画淡彩	J-0122
09	龍虎図屏風	森 寛斎	嘉永元年(1848)	紙本着色	J-0078

大正ロマンの前衛画家 玉村方久斗 2月23日(金)～3月31日(日)

玉村方久斗(1893-1951)は、特有の魅力をもつ名作が多く描かれた大正～昭和初期にかけて活躍した日本画家である。この展示では、「竹取物語」と「諸道聴耳世間猿」という二つの絵巻物を中心に、方久斗の前衛的日本画の世界を紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	竹取物語絵巻	玉村方久斗	1932年頃	紙本着色	J-0221
02	諸道聴耳世間猿	玉村方久斗	1928年	紙本着色	J-0186
03	芥川之図	玉村方久斗	1925-27年	絹本着色金泥	J-0171
04	花水木ニ小禽図	玉村方久斗	1928-29年	絹本着色金泥	J-0176
05	菊花白禽図	玉村方久斗	1928-29年	絹本着色金泥	J-0177
06	双鶴図	玉村方久斗	1928-29年	絹本墨画淡彩	J-0175
07	藤花遊禽図	玉村方久斗	1928年	絹本着色金泥	J-0179
08	出山釈迦図	玉村方久斗	1928年	絹本着色	J-0124

令和5年度
展示室B



〈香月泰男とシベリア・シリーズⅠ〉“シベリア様式”の確立 4月4日(火)～6月25日(日)

シベリア・シリーズを中心に、香月泰男(1911-1974)の創作活動を3回の展示で紹介する年間企画。初回は戦前から戦後にかけての作品を通じて、太平洋戦争とシベリア抑留を体験した香月が、独自の“シベリア様式”を確立するに至る過程を紹介。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	風景	香月泰男	1936年	油彩／カンヴァス	0-0127
02	裸婦	香月泰男	1936-37年	油彩／カンヴァス	0-0204
03	ホロンバイル	香月泰男	1944年	油彩／麻布	0-0260
04	雨〈牛〉	香月泰男	1947年	油彩／カンヴァス	0-0006
05	休憩	香月泰男	1947年	油彩／カンヴァス	0-0255
06	埋葬	香月泰男	1948年	油彩／カンヴァス	0-0162
07	とまと	香月泰男	1950-55年頃	油彩／カンヴァス	0-0209
08	馬鈴薯	香月泰男	1953年	油彩／カンヴァス	0-0214
09	スタンツのベスタロッツ像	香月泰男	1955年	油彩／カンヴァス	Z-0039
10	左官	香月泰男	1956年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0007
11	乗客	香月泰男	1957年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0008
12	北へ西へ	香月泰男	1959年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0010

〈香月泰男とシベリア・シリーズⅡ〉描かれた戦争と抑留 7月15日(土)～9月24日(日)

太平洋戦争への従軍と、終戦後のシベリア抑留の体験を絵画化し、戦後の洋画史に確たる地歩を築いた香月泰男。年間企画の第2回目の展示では、シベリア・シリーズを通じて、応召から復員まで、描かれた香月の戦争と抑留をたどった。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	雲	香月泰男	1968年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0032
02	別	香月泰男	1967年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0033
03	護	香月泰男	1969年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0161
04	避難民	香月泰男	1960年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0198
05	雪	香月泰男	1963年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0016
06	神農	香月泰男	1964年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0145
07	タモイ	香月泰男	1959年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0168
08	日本海	香月泰男	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0044
09	復員〈タラップ〉	香月泰男	1967年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0029

パノラマ山水長巻 一国宝・四季山水図 10月13日(金)～12月3日(日)

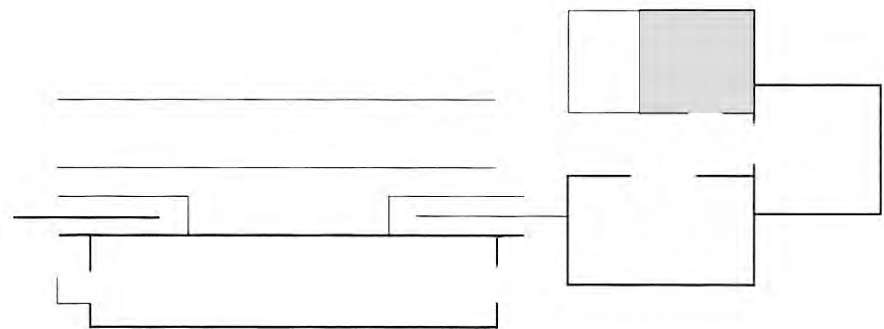
毛利博物館所蔵の国宝《四季山水図(山水長巻)》を7.5倍に拡大し、横約10メートルの壁3面に投影したパノラマ映像による山水長巻(縦3メートル)の展示。大きなスケールで、雪舟の筆さばきを紹介した。

〈香月泰男とシベリア・シリーズ Ⅲ〉最晩年の創作活動：1972～1974年 1月18日(木)～3月31日(日)

香月泰男は1970年代になると、シベリア・シリーズの制作と並行して、外国と日本とを「鳩みたいに行ったり帰ったり」しながら、明るい色彩にあふれた作品を制作した。年間企画最後の展示では、多様性に満ちた最晩年の創作活動を紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	海拉爾	香月泰男	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0048
02	雪山	香月泰男	1972年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0045
03	オリーブ畑	香月泰男	1972年	石版／紙	P-0124
04	アクロボリス展望	香月泰男	1972年	石版／紙	P-0121
05	ひなげし	香月泰男	1972年	石版／紙	P-0123
06	教会	香月泰男	1973年	木版／紙	P-0139
07	休むカヌー	香月泰男	1973年	木版／紙	P-0136
08	貝殻	香月泰男	1973年	木版／紙	P-0133
09	宿の窓から	香月泰男	1973年	木版／紙	P-0135
10	広場にて	香月泰男	1973年	木版／紙	P-0140
11	デモ	香月泰男	1973年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0047
12	オレンジのある庭	香月泰男	1974年	木版／紙	P-0141
13	鳩のいる中庭	香月泰男	1974年	木版／紙	P-0142
14	海岸にて	香月泰男	1974年	木版／紙	P-0143
15	ルノアールの庭	香月泰男	1974年	木版／紙	P-0146
16	海辺にて	香月泰男	1974年	木版／紙	P-0145
17	渚〈ナホトカ〉	香月泰男	1974年	油彩・方解末・木炭／カンヴァス	0-0193

令和5年度
展示室C



「奇」を撮る 4月4日(火)～6月25日(日)

この世界に数多く存在するユニークな風景、風習、人々は、私たちが知る当たり前の世界とは異なる異質さゆえに、奇なるものとして強烈な印象を残す。山口県立美術館のコレクションから、写真家たちが捉えた様々な「奇」を紹介。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	新城島『太陽の鉛筆』より	東松照明	1972年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0041
02	西表島『太陽の鉛筆』より	東松照明	1973年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0044
03	西表島『太陽の鉛筆』より	東松照明	1972年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0045
04	ハロウィーン『シカゴ、シカゴ』より	石元泰博	1959-61年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1425
05	ハロウィーン『ある日ある所』より	石元泰博	1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1423
06	ハロウィーン『ある日ある所』より	石元泰博	1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1424
07	西の高野山〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0197
08	赤倉山〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0194
09	赤倉山宝泉院〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0208
10	高山稲荷〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0193
11	高山稲荷〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0199
12	恐山〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0201
13	恐山〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0202
14	恐山〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0212
15	法運寺〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0196
16	久渡寺〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0205
17	久渡寺〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0207
18	久渡寺〈婆バクハツ!〉より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0211
19	山形銀山温泉・1976年8月28日『風姿花伝』より	須田一政	1976年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0242
20	秋田西馬音内、盆踊り・1976年8月18日『風姿花伝』より	須田一政	1976年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0241
21	秋田西馬音内、盆踊り・1976年8月18日『風姿花伝』より	須田一政	1976年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0249
22	群馬太田・1975年6月8日『風姿花伝』より	須田一政	1975年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0235
23	埼玉秩父、夜祭り・1975年12月3日『風姿花伝』より	須田一政	1975年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0246
24	埼玉秩父小鹿野、鉄砲祭・1976年12月15日『風姿花伝』より	須田一政	1976年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0248
25	茨城阿字ヶ浦・1977年8月7日『風姿花伝』より	須田一政	1977年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0245
26	富山砺波・1976年9月17日『風姿花伝』より	須田一政	1976年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0252
27	静岡天城湯ヶ野・1971年『風姿花伝』より	須田一政	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0251
28	神奈川三浦三崎・1975年6月2日『風姿花伝』より	須田一政	1975年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0250
29	歌ってゆく鳥追い、新潟『雪国』より	濱谷 浩	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0358
30	山の湯治場、青森『裏日本』より	濱谷 浩	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0356
31	稲刈り、山形『裏日本』より	濱谷 浩	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0357
32	嫁入り、石川『裏日本』より	濱谷 浩	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0359
33	島の墓場、山口・見島『裏日本』より	濱谷 浩	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0365
34	ボマルゾの怪物公園〈イタリア紀行〉	福田勝治	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0825
35	ボマルゾの怪物公園〈イタリア紀行〉	福田勝治	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0826
36	お六さんの部屋	常盤とよ子	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1644
37	お六さんの家	常盤とよ子	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1645
38	お六さんの部屋	常盤とよ子	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1646
39	お六さんの部屋	常盤とよ子	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1647
40	お六さん、横浜・本牧	常盤とよ子	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1648
41	港のマリー、横浜・本牧	常盤とよ子	1982年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1649
42	港のマリー、横浜・本牧	常盤とよ子	1982年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1650
43	港のマリー、横浜・本牧	常盤とよ子	1982年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1651

※「ジブリパークとジブリ展」期間中〔令和5年7月15日(土)～9月24日(日)〕は休室。

新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派 10月13日(金)～12月3日(日)

令和5年度に山口県の雪舟と雲谷派ゆかりの作品4点が新たに重要文化財となった。新指定となった雲谷派による2つの「雪舟等楊像」と雲谷等顔「惟松円融像」、雲谷等益「雪舟筆四季山水図模本」を中心に、当館所蔵の雪舟および雲谷派作品とあわせて紹介した。展示室AおよびCの2室で開催。

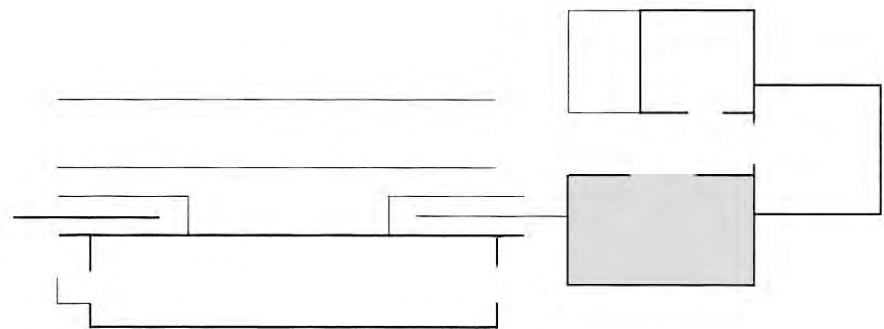
※詳細は令和5年度特別展の本展の項を参照(22-23頁)。

生誕150年 永地秀太展 1月18日(木)～3月31日(日)

下松市に生まれた永地秀太(1873-1942)は、太平洋画会の創立(1902年)に深くかわり、文展や帝展で活躍した。生誕150年を迎えた永地の画業を、前年度に修復を終えた作品と新たに寄贈された作品を含めて紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	恩師之像	加藤義雄	1940年	油彩／カンヴァス	R-0109
02	一兵卒	永地秀太	不詳	油彩／カンヴァス	0-0289
03	静物	永地秀太	1909年	油彩／カンヴァス	0-0169
04	紋り	永地秀太	1913年	油彩／カンヴァス	0-0078
05	静物	永地秀太	1915年	油彩／カンヴァス	0-0288
06	風景(モンティニー＝ル＝ブルトンスーの教会)	永地秀太	1921年頃	油彩／カンヴァス	0-0292
07	風景(モンティニー＝ル＝ブルトンスー)	永地秀太	1921年	油彩／カンヴァス	0-0291
08	風景	永地秀太	1922年	油彩／カンヴァス	0-0164
09	壁に倚れる女	永地秀太	1925年	油彩／カンヴァス	0-0080
10	更紗の前	永地秀太	1924年	油彩／カンヴァス	0-0079
11	ポーズ	永地秀太	1930年	油彩／カンヴァス	0-0267
12	ギリシアの浮彫	永地秀太	1937年	油彩／カンヴァス	0-0183
13	静物	永地秀太	1925年	油彩／カンヴァス	Z-0275
14	静物	永地秀太	1930年頃	油彩／カンヴァス	0-0206
15	婦人像	永地秀太	不詳	油彩／カンヴァス	0-0111
16	裸婦像	永地秀太	1904年	木炭／紙	D-0008
17	男子裸像	永地秀太	1905年	木炭／紙	D-0009
18	永地秀太資料	永地秀太	不詳	答案、写真、絵葉書	R-0117

令和6年度
展示室A



麗らかに、凜として 4月12日(金)～5月19日(日)

明るい色彩に、すっきりとした描線。身近な対象に向けられた、繊細でやさしいまなざし。兼重暗香、横山松琴、松林雪貞という山口ゆかりの3人の近代女性画家による、麗らかで、凜とした雰囲気が魅力的な日本画を紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		梅にかささぎ	兼重暗香	昭和5年(1930)	絹本着色	J-0011
02		早春	兼重暗香	昭和16年(1941)	絹本着色	J-0349
03		桜花雀図	兼重暗香	大正8年(1919)	絹本着色	J-0328
04		桜に鳩	兼重暗香	昭和18年(1943)頃	絹本着色	J-0327
05		金魚	横山松琴	明治～昭和時代	絹本着色	J-0338
06		金魚	横山松琴	明治～昭和時代	絹本着色	J-0339
07		花鳥	横山松琴	明治28年(1895)	絹本着色	J-0341
08		蘭亭曲水	横山松琴	明治～昭和時代	絹本着色	J-0340
09		雁来紅朝顔図	松林雪貞	大正4年(1915)	絹本着色	J-0085
10		長春花図	松林雪貞	昭和28年(1953)	絹本着色	J-0318
11		写生帳	松林雪貞	不詳	紙、鉛筆、顔料	R-0007-001

初夏を愉しむ 5月21日(火)～6月16日(日)

古くから日本人は、涼やかな青緑色や豊潤な水墨で描かれた「山水画」に癒しを求め、近代以降も初夏の草花や小動物が憩う「景色」をテーマとした作品を好んだ。防長の画家の作品を中心に、新緑の季節にこそ心を遊ばせたい日本画を紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		愛吾廬	松林桂月	昭和11年(1936)	絹本着色	J-0063
02		初夏	藤田隆治	昭和7-8年(1932-33)頃	紙本着色	J-0113
03		紫陽花孔雀図	大庭学僊	明治26年(1893)	絹本着色	J-0199
04		孔雀図	朝倉南陵	文政11年(1828)	絹本着色	J-0079
05		緑陰水亭図	田中柏陰	大正8年(1919)頃	絹本着色	J-0346
06		夏山瀑布図	小田海徳	天保12年(1841)	紙本墨画淡彩	J-0211
07		山水図	佐伯圭山	明治元年(1868)	紙本墨画淡彩	Z-0372
08		水芭蕉曼荼羅・黄14	佐藤多持	昭和43年(1968)	紙本墨画着色	J-0101

没後300年 雲谷等璫 6月25日(火)～7月28日(日)

雪舟の画風を受け継いだ、菽藩お抱え絵師・雲谷派。その4代目として「雪舟六世」を唱え、17～18世紀に活動した雲谷等璫(1635-1724)。雪舟の絵に向き合い、2代目の父等益が確立した流派の様式とは異なる、独自の雪舟流を示した等璫の個性を紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		琴棋書画図屏風	雲谷等璫	17-18世紀	紙本墨画淡彩	J-0096
02		山水図屏風	雲谷等璫	17-18世紀	紙本墨画	J-0190
03		瀟湘八景図	雲谷等璫	17-18世紀	紙本墨画	Z-0207
04		牡丹図	雲谷等璫	17-18世紀	絹本着色	Z-0230
05		芙蓉図	雲谷等璫	延宝4年(1676)	紙本着色	J-0275
06		月に木菟図	雲谷等璫	享保4年(1719)	絹本着色	Z-0225
07		虎図	雲谷等璫	17-18世紀	絹本墨画	J-0292

生誕350年 雲谷等鶴とその時代 7月30日(火)～9月1日(日)

雪舟の画風を受け継いだ、菽藩お抱え絵師・雲谷派。4代目・等璫の長男として生まれ、5代目を継ぎ「雪舟七世」と称した雲谷等鶴(1674-?)。彩り豊かな作風で知られる等鶴と、同時代を生きた雲谷派の花鳥図を中心に、雪舟ゆずりの水墨画だけではなく雲谷派の魅力を紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		花鳥図屏風	雲谷等鶴	17-18世紀	紙本金地着色	J-0109
02		牡丹図屏風	雲谷等鶴	17-18世紀	紙本金地着色	Z-0001
03		人物花鳥図貼交屏風	雲谷派	17-18世紀	絹本着色	J-0239
04		鶴・松竹梅図	雲谷等鶴	17-18世紀	絹本着色	Z-0300
05		瀧に山桜図	雲谷等宥	17-18世紀	絹本墨画淡彩	Z-0231

受贈記念 松林桂月展 9月12日(木)～10月20日(日)

萩に生まれた日本画家・松林桂月(1876-1963)は、明治・大正・昭和の三代にわたって活躍し、近代南画の復興に尽くした。令和6年1月に桂月の代表作である《雨後》を含む8点が山口県に寄贈されたことを記念し、「最後の文人画家」と称された巨匠の芸術世界を紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		長門峡	松林桂月	1951年(昭和26)	紙本墨画	J-0360
02		夜雨	松林桂月	1962年(昭和37)	絹本墨画	J-0363
03		桃花双鶏	松林桂月	1895年(明治28)	絹本着色	J-0357
04		怒涛健鷗	松林桂月	1897年(明治30)	絹本着色	J-0358
05		秋塘真趣	松林桂月	1907年(明治40)	絹本着色	J-0359
06		雨後	松林桂月	1955年(昭和30)	絹本墨画淡彩	J-0361
07		竹林幽趣	松林桂月	1956年(昭和31)	紙本墨画	J-0362
08		竹林夜雨	松林桂月	1962年(昭和37)	紙本墨画	J-0364
09		夏景山水(絶筆)	松林桂月	1963年(昭和38)	絹本墨画淡彩	J-0317
10		長春花	松林雪貞	1953年(昭和28)	絹本着色	J-0318
11		雁来紅朝顔	松林雪貞	1915年(大正4)	絹本着色	J-0085
12		下絵類	松林桂月		紙本墨画、紙本墨画淡彩	R-0099
13		秋園	松林桂月	1938年(昭和13)	絹本裏金着色	Z-0250

雪舟と雲谷派 仏のすがた人のすがた 10月22日(火)～11月24日(日)

近年、徐々に人物画・仏画の分野の作品に対する評価が高まっている雪舟。最近新たに紹介された雪舟の初期の人物画《騎獅文殊・黄初平・張果老図》を中心に、雪舟とその江戸時代における後継者である雲谷派の画家による人物画と仏画とを紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		騎獅文殊・黄初平・張果老図	雪舟等楊	室町時代15世紀	紙本墨画	Z-0289
02		陳搏・布袋・杜甫図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	絹本墨画淡彩/紙本墨画	J-0258
03		懶瓚煨芋図	雲谷等願	桃山～江戸時代	紙本墨画	J-0108
04		布袋図	雲谷等益	寛永時代初期	紙本墨画	J-0352
05		布袋図	雲谷等與	江戸時代17世紀	紙本墨画	R-0012-008
06		布袋図	雲谷等爾	江戸時代17世紀	紙本墨画淡彩	Z-0235
07		観音变相図(如日虚空住)	雪舟落款	室町～江戸時代	紙本墨画淡彩	J-0298
08		観音变相図(或遭王難苦)	雪舟落款	江戸時代17～18世紀	紙本墨画淡彩	Z-0384
09		観音变相図(居士身)	狩野愛信	江戸時代18～19世紀	紙本墨画淡彩	Z-0378
10		観音变相図(自在天身)	雪舟落款	江戸時代19世紀	紙本墨画淡彩	Z-0158
11	重要文化財	雪舟等楊像	雲谷等益	1639～1644年	絹本着色	Z-0094
12	重要文化財	雪舟等楊像	雲谷等與	1639年賛	絹本着色	J-0355
13		嘯岳鼎虎像	雲谷等願	1597年賛	絹本着色	Z-0284
14	重要文化財	惟松円融像	雲谷等願	1611～1614年賛	絹本着色	Z-0098
15		言如門邊像	雲谷等益	1633年賛	絹本着色	Z-0301

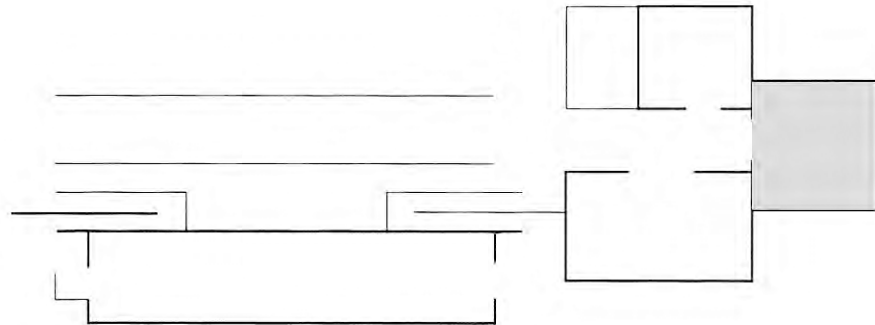
靈獣を描く 一龍一 11月26日(火)～12月25日(水)

2024年の干支「龍」は、古来、人々の暮らしと密接に関わり、絵画や工芸品に表されてきた靈獣である。山口県立美術館の日本画コレクションから、「龍」を題材に、表現が異なる防長ゆかりの画家の作品を厳選して紹介した。

no.	指定	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01		龍虎図屏風	森 寛斎	嘉永元年(1848)	紙本着色	J-0078
02		龍虎図屏風	雲谷等爾	17世紀	紙本墨画	J-0306
03		羅漢図	狩野芳崖	19世紀後半	紙本着色	J-0018
		羅漢図	狩野芳崖	19世紀後半	紙本着色	J-0068
04		龍図	伝 雪舟等楊	16世紀	紙本墨画	Z-0083
05		龍図	度会東明	18～19世紀	紙本墨画	Z-0375

※令和7年1月6日(月)～3月31日(月)まで、改修工事のため休室。

令和6年度
展示室B



レディ、レディ、レディ！ ―写真家が見つめた昭和の女性 4月12日(金)～6月16日(日)

モダニズム文化とともに幕を開け、戦争、敗戦、復興そして高度経済成長へと目まぐるしく揺れ動いた昭和。この激動の時代を生きた女性たちを、当館の写真コレクションから紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	引き揚げ 上野駅『カストリ時代』(1980)より	林 忠彦	昭和21年(1946)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0301
02	ゴミ捨て場のバー『カストリ時代』(1980)より	林 忠彦	昭和25年(1950)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0308
03	女剣劇 浅草『カストリ時代』(1980)より	林 忠彦	昭和24年(1949)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0309
04	ロック座裏〈浅草にて〉より	金井精一	昭和26年(1951)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0322
05	ロック座楽屋口〈浅草にて〉より	金井精一	昭和26年(1951)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0323
06	秋田市泉〈秋田〉	木村伊兵衛	昭和27年(1952)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0347
07	秋田おばこ〈秋田〉	木村伊兵衛	昭和28年(1953)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0344
08	日本女性と東京見物をする進駐軍兵士、皇居前広場『カストリ時代』(1980)より	林 忠彦	昭和29年(1954)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0317
09	稲刈り、山形『裏日本』(1957)より	濱谷 浩	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0357
10	娘宿 山口・萩『裏日本』(1957)より	濱谷 浩	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0368
11	田植女、富山『裏日本』(1957)より	濱谷 浩	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0362
12	勢揃い、真金町遊郭『危険な毒花』(1957)より	常盤とよ子	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1638
13	ホテル街、若葉町『危険な毒花』(1957)より	常盤とよ子	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1628
14	伊勢佐木町裏のバー街『危険な毒花』(1957)より	常盤とよ子	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1627
15	キャッチ『危険な毒花』(1957)より	常盤とよ子	昭和30年(1955)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1630
16	壁の中『王国』(1971)より	奈良原一高	昭和31年(1956)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1439
17	壁の中『王国』(1971)より	奈良原一高	昭和31年(1956)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1442
18	壁の中『王国』(1971)より	奈良原一高	昭和31年(1956)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1444
19	若い人、大曲 内小友〈秋田〉	木村伊兵衛	昭和33年(1958)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0348
20	真金町診療所、ペニシリン注射『危険な毒花』(1957)より	常盤とよ子	昭和31年(1956)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1643
21	真金町診療所の待合室『危険な毒花』(1957)より	常盤とよ子	昭和31年(1956)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1640
22	母と子、大曲 大西川根〈秋田〉	木村伊兵衛	昭和34年(1959)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0342
23	『おとこと女』(1961)より	細江英公	昭和35年(1960)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1502
24	『おとこと女』(1961)より	細江英公	昭和35年(1960)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1501
25	『おとこと女』(1961)より	細江英公	昭和35年(1960)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1503
26	『おとこと女』(1961)より	細江英公	昭和35年(1960)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1510
27	〈冷たいサンセット〉より	佐藤 明	昭和35年(1960)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1517
28	〈おんな〉より	佐藤 明	昭和36年(1961)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1521
29	〈サイクロピアン〉より	佐藤 明	昭和37年(1962)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1529
30	九段教会『洋子』(1978)より	深瀬昌久	昭和39年(1964)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0151
31	九段教会『洋子』(1978)より	深瀬昌久	昭和39年(1964)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0152
32	松原団地『洋子』(1978)より	深瀬昌久	昭和39年(1964)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0154
33	『洋子』(1978)より	深瀬昌久	昭和39-51年(1964-76)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0156
34	『洋子』(1978)より	深瀬昌久	昭和39-51年(1964-76)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0163
35	千代田区：丸の内松竹 4 April ビートルズ映画大会〈東京人〉より	高梨 豊	昭和40年(1965)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0255
36	杉並区 環状七号線	高梨 豊	昭和39-40年(1964-65)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0265
37	新宿区：角筈-1 21 March “戦後20年ようやく衣食足って自家用車を求めたオナ・ドラ族である”-サンデー毎日〈東京人〉より	高梨 豊	昭和40年(1965)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0261
38	高山稲荷〈婆バクハツ！〉より	内藤正敏	昭和45年(1970)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0193
39	赤倉山〈婆バクハツ！〉より	内藤正敏	昭和44年(1969)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0194
40	高山稲荷〈婆バクハツ！〉より	内藤正敏	昭和45年(1970)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0199
41	久渡寺〈婆バクハツ！〉より	内藤正敏	昭和44年(1969)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0205
42	久渡寺〈婆バクハツ！〉より	内藤正敏	昭和44年(1969)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0207
43	西表島『太陽の鉛筆』(1975)より	東松照明	昭和47年(1972)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0043
44	西表島『太陽の鉛筆』(1975)より	東松照明	昭和47年(1972)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0045
45	西表島『太陽の鉛筆』(1975)より	東松照明	昭和47年(1972)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0046

没後50年 小林和作展 6月25日(火)～9月1日(日)

豊麗な色彩と独特なタッチの風景画で知られる小林和作(1888-1974)。没後50年を迎え、山口市に生まれ、1934年以降は尾道市に居を移し、日本全国を巡りながら制作にいそしんだその画業を、油彩画と水彩画で紹介した。展示室BおよびCの2室で開催。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
天地豊麗：山と海 油彩					
01	上高地(其三)	小林和作	大正15年(1926)	油彩／カンヴァス	0-0060
02	雲仙嶽	小林和作	不詳	油彩／カンヴァス	0-0188
03	英彦山中の秋	小林和作	1950年代末	油彩／カンヴァス	0-0150
04	秋山	小林和作	昭和38年(1963)	油彩／カンヴァス	0-0065
05	室戸岬	小林和作	不詳	油彩／カンヴァス	0-0197
06	海	小林和作	昭和36年(1961)	油彩／カンヴァス	0-0064
07	海	小林和作	昭和39年(1964)	油彩／カンヴァス	0-0062
08	春の海	小林和作	昭和49年(1974)	油彩／カンヴァス	0-0072
09	佐渡の海	小林和作	不詳	油彩／カンヴァス	0-0069
10	春	小林和作	昭和32年(1957)	油彩／カンヴァス	0-0067
11	秋晴	小林和作	昭和32年(1957)	油彩／カンヴァス	0-0068
12	山湖	小林和作	昭和30年(1955)	油彩／カンヴァス	0-0136
13	秋山	小林和作	不詳	油彩／カンヴァス	0-0066
美しい構図を求めて 水彩					
14	英彦山	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0067
15	英彦山中	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0298
16	英彦山中	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0341
17	上石見附近	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0008
18	富士山裾野	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0009
19	燕温泉	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0010
20	山野峽	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0015
21	田子倉ダム	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0016
22	比婆山	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0019
23	八ヶ岳	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0029
24	谷川岳山中	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0030
25	伊豫久万	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0174
26	隠岐国賀	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0074
27	隠岐国賀	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0081
28	隠岐国賀	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0163
29	下府	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0326
30	阿波牟岐	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0005
31	房州白浜	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0036
32	潮岬	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0091
33	志布志附近	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0095
34	紀伊大島	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0121
35	阿久根	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0124
36	佐多岬	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0304
37	日ノ岬	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0317
38	日の岬	小林和作	不詳	水彩／紙	W-0145

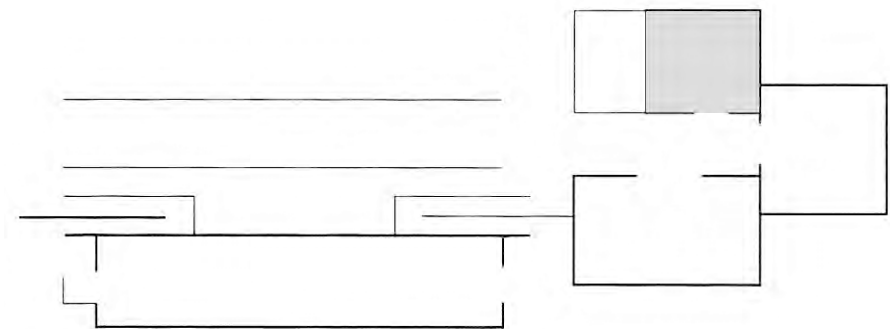
吉村芳生 一日々、写しつづけて― 9月12日(木)～12月25日(水)

新聞、自分自身の顔、草花など身近なものを、鉛筆で写しつづけた防府生まれの美術家、吉村芳生(1950-2013)。当館収蔵の吉村作品をすべて展示し、写真とも見紛う超絶的な仕事の数々を、改めて紹介した。展示室BおよびCの2室で開催。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	ドローイング 毎日新聞	吉村芳生	1976-78年	鉛筆／紙	D-0025
02	365日の自画像	吉村芳生	1981-90年	鉛筆／紙	D-0024
03	A STREET SCENE NO. 21	吉村芳生	1978年	インク／紙	D-0020
04	A STREET SCENE NO. 7	吉村芳生	1978年	コンテ／紙	D-0021
05	A STREET SCENE NO. 8	吉村芳生	1978年	コンテ／紙	D-0019
06	A PARKING SCENE NO. 3	吉村芳生	1979年	インク／紙	Z-0388
07	FISH-84-8	吉村芳生	1984年	鉛筆／紙	D-0023
08	彼の地	吉村芳生	1986年	鉛筆／紙	D-0044
09	KANOCHI(数字)	吉村芳生	1987年	鉛筆／紙	D-0045
10	KANOCHI	吉村芳生	1987年	オフセット／紙	P-0207
11	コスモス	吉村芳生	2003年	色鉛筆／紙	D-0026
12	タンポポ	吉村芳生	2003年	色鉛筆／紙	D-0027

※令和7年1月6日(月)～3月31日(月)まで、改修工事のため休室。

令和6年度
展示室C



線こそ命 ―松田正平の素描と水彩― 4月12日(金)～6月16日(日)

松田正平(1913-2004)の、自在で気まぐれとも見える線描で描かれたバラや魚、周防灘の風景は、不思議と強い実感を伴っている。絵は「結局、線こそ命」と語った松田の、洒脱で奔放な芸術の魅力を、素描と水彩画で紹介した。

no.	作品名	作者名	制作年	材質	ID
01	自画像	松田正平	1950年代	鉛筆／紙	D-0028
02	ハゲ(カワハギ)	松田正平	1991年	パステル・鉛筆／紙	D-0053
03	オコゼ	松田正平	1987年	クレヨン・色鉛筆・鉛筆／紙	D-0041
04	秋田犬(ロク)	松田正平	1966年	グワッシュ／紙	W-0393
05	犬	松田正平	1981年	グワッシュ・墨／紙	W-0392
06	ハゲコウ	松田正平	1955年頃	グワッシュ・水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	W-0391
07	バラ	松田正平	1960-70年代	パステル・鉛筆／紙	D-0056
08	バラ	松田正平	1950-60年代	パステル・ペン・鉛筆／紙	D-0055
09	バラ	松田正平	1978年	ボールペン・色鉛筆・鉛筆／紙	D-0036
10	バラ	松田正平	不詳	クレヨン・色鉛筆・鉛筆／紙	D-0037
11	バラ	松田正平	1980年	クレヨン・色鉛筆・鉛筆／紙	D-0038
12	バラ	松田正平	1970-80年代	水彩・パステル・鉛筆／紙	W-0406
13	州之内氏肖像	松田正平	1980年	鉛筆／紙	D-0029
14	女性像	松田正平	1984年	水彩・鉛筆／紙	W-0384
15	鯉のぼり	松田正平	1980-90年代	パステル／紙	D-0049
16	船おろし	松田正平	1991年	パステル・鉛筆／紙	D-0051
17	たこ	松田正平	1890-90年代	パステル・鉛筆／紙	D-0059
18	祝島	松田正平	1987年	パステル／紙	D-0052
19	裸婦	松田正平	1982年頃	鉛筆／紙	D-0031
20	裸婦	松田正平	1993年	鉛筆／紙	D-0030
21	裸婦	松田正平	1983年	鉛筆／紙	D-0057
22	アダムとイヴ	松田正平	不詳	グワッシュ・クレヨン・色鉛筆／紙	W-0385
23	ボクシング	松田正平	1960年代	水彩／紙	W-0402
24	こぶし	松田正平	1977年	水彩・鉛筆／紙	W-0389
25	辻音楽師	松田正平	1982年頃	水彩・パステル・鉛筆／紙	W-0404
26	自画像	松田正平	2000年	鉛筆／紙	D-0047
S-1	祝島	松田正平	1959年頃のスケッチブック		Z-0248-8
S-2	かみきり虫	松田正平	1959年頃のスケッチブック		Z-0248-20
S-3	精子夫人の洋裁道具	松田正平	1953年のスケッチブック		Z-0248-14
S-4	周防灘	松田正平	1950-60年代頃のスケッチブック		Z-0248-40

没後50年 小林和作展 6月25日(火)～9月1日(日)

豊麗な色彩と独特なタッチの風景画で知られる小林和作(1888-1974)。没後50年を迎え、山口市に生まれ、1934年以降は尾道市に居を移し、日本全国を巡りながら制作にいそしんだその画業を、油彩画と水彩画で紹介した。展示室BおよびCの2室で開催。

※出品作品一覧は令和6年度コレクション室Bの本展の項を参照(50頁)。

吉村芳生 一日々、写しつづけて― 9月12日(木)～12月25日(日)

新聞、自分自身の顔、草花など身近なものを、鉛筆で写しつづけた防府生まれの美術家、吉村芳生(1950-2013)。当館収蔵の吉村作品をすべて展示し、写真とも見紛う超絶的な仕事の数々を、改めて紹介した。展示室BおよびCの2室で開催。

※出品作品一覧は令和6年度コレクション室Bの本展の項を参照(50頁)。

※令和7年1月6日(月)～3月31日(月)まで、改修工事のため休室。

事業

Ⅱ. 教育普及事業

(1) ミュージアム・タウン・ヤマグチ

平成19年(2007年)、美術館が中心となってイベントを実施し、文化芸術を軸とした街づくりを推進するため、山口県立美術館、山口市商店街連合会、山口商工会議所、山口市、山口県総合芸術文化祭実行委員会を実施主体として、「HEART実行委員会」が設立された。

そして10年後の平成29年(2017年)、HEARTの理念を継承しつつさらに拡大するため、県観光スポーツ文化部文化振興課と県教委委員会社会教育・文化財課が中心となって、「ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会」を設立。美術館や隣接する県立文化施設を、従来の社会教育文化施設という役割にくわえて、観光施設としての機能(地域の文化や歴史を知りたいという観光ニーズを充足させる機能)を併せ持つ施設群へと再創造し、県庁前パークロードから山口市中心商店街にかけての、文教・商店街エリアを、〈山口〉を発信する観光・文化・教育拠点へと再編することを目的とした。

実施主体は、文化振興課、社会教育・文化財課、山口県立美術館、山口県立山口博物館、山口県立山口図書館、山口県文書館、山口県埋蔵文化センター、山口市、公益財団法人山口きらめき財団、山口商工会議所、山口市商店街連合会、spsサントリーパブリシティサービスグループ(美術館指定管理者)。

事業全体は、芸術と街をつなぐことを目的とする「HEART」部会、雪舟を軸とした事業展開をする「雪舟タウン山口」部会、山口の歴史・文化資源に焦点をあてる「お宝タウン山口」部会の3部によって構成されている。

令和5年度(2023年度)においては、「HEART」部会と「雪舟タウン山口」部会、令和6年度(2024年度)においては、「HEART」部会と「お宝タウン山口」部会において事業を実施した。

①「HEART」部会

○令和4年度(2022年度)および令和5年度(2023年度)

両年度とも、従来通り、山口県立美術館から山口市中心商店街にかけて事業を展開。詳細は別途(58-62頁)。

②「雪舟タウン山口」部会

○令和5年度(2023年度)のみ

山口県立美術館コレクション展示室Bにおいて、「パノラマ山水長巻―拡大映像で見る国宝《四季山水図》(毛利博物館所蔵)拡大映像展示」を企画し、デジタル事業を活用した事業として実施。詳細は別途(63頁)。

③「お宝タウン山口」部会

○令和6年度(2024年度)のみ

山口県立美術館展示室Fにおいて、「坂井眞理子展 いのちの色、いのちのかたち」展を企画。山口市中心商店街の「HEART SPOT 102」において小品展および素描展とともに、HEARTとして実施。詳細は別途(55-57頁)。

(1)-1 坂井眞理子展

坂井眞理子展 いのちの色、いのちのかたち

会期：令和6年(2024年)11月22日(金)～令和7年(2025年)1月26日(日)

※月曜休館、ただし12月2日、1月6日・13日は開館

年末の休館は12月26日(木)～1月5日(日)

主催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会



ポスター(B3)



チラシ(A3二つ折り)外面



チラシ(A3二つ折り)中面

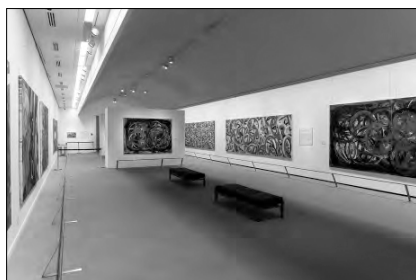
(1) 趣旨・概要

坂井眞理子(1940-)は、山口市湯田温泉で生まれ、中学・高校時代を宇部市で育った画家である。女子美術大学に在学中、美術評論家・東野芳明による、ジャクソン・ポロックなどのアメリカ抽象表現主義の画家と作品を紹介する講演を聞いて留学を決意。卒業後まもない1962年初夏、単身ニューヨークへ渡り、2年間の研鑽を積んだ。帰国してからは、結婚・出産、育児と、ライフステージの変化を経ながらも、現在まで60年を超えて抽象画家として活動が続いている。本展覧会は、そのような本県ゆかりの画家を紹介するべく開催された。色と形にこだわった抽象表現を貫きつつ、数年単位で表現を変化させてきた坂井の自由な歩みの様子をたどれるよう、構成は150号から200号の油彩大作を中心に年代順とした。加えて、花の群生の水彩スケッチや、日本や世界の土偶をスケッチした素描群も展示し、坂井の関心が「いのち」にあることも紹介。

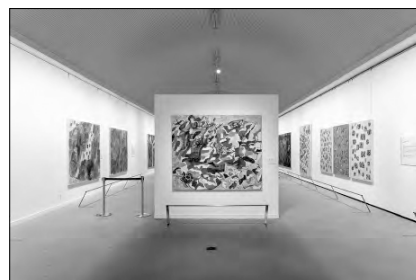
なお、本展開催前のプレイベント及び同時開催として、坂井の小品を集めた展示を、館外の商店街にあるHEART SPOT 102で実施(※関連展示参照)。油彩の大作だけでは語り切れない、画家・坂井の魅力を補完すると同時に、美術館だけで鑑賞体験を終わらせず、商店街との間に双方向的な人の流れを生み出す貴重な試みとなった。



会場風景1



会場風景2

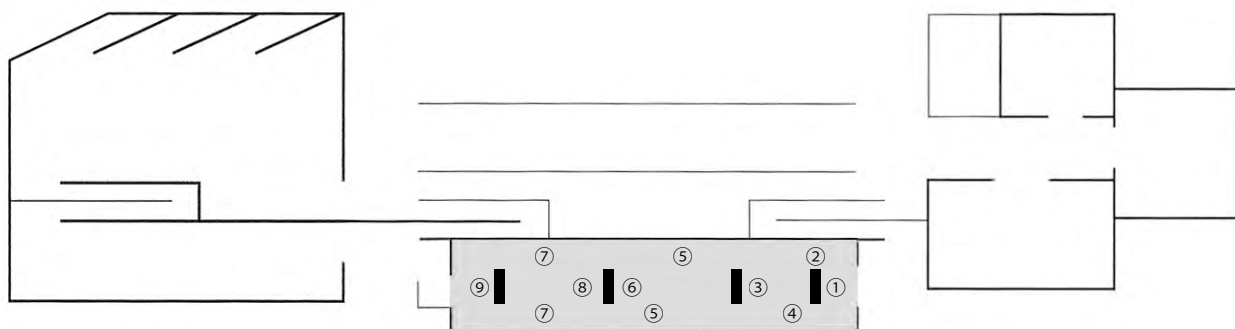


会場風景3

撮影：安森 信

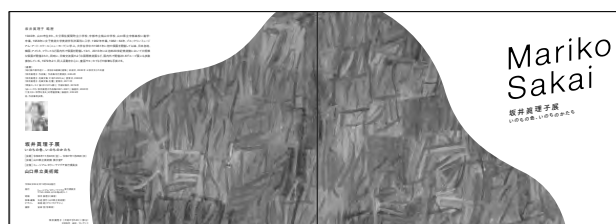
(2) 会場構成

- ① 序 「お嫁に行くのが一番幸せじゃ」
- ② I 「今から現代美術を志す者は絶対にニューヨークに行くべきだ」
- ③ II 「虚無の図式」
- ④ III 躍動する色と形
- ⑤ IV 「本来の自分が始まった」
- ⑥ Column 1 花の群生
- ⑦ V 「母たる海」
- ⑧ Column 2 女神土偶
- ⑨ VI 自分の生きた証



(3) カタログ

寄稿 坂井眞理子(画家)
 執筆・編集 矢追愛弓(山口県立美術館)
 デザイン 榎原 朗(クワハラデザイン)
 写真 安森 信(写真家)
 発行 ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会
 令和6(2024)年12月24日発行



パンフレット表紙/裏表紙

内容 ごあいさつ
 坂井眞理子「赤いいのち」
 01 序 「お嫁に行くのが一番幸せじゃ」
 01 I 「今から現代美術を志す者は絶対にニューヨークに行くべきだ」
 03 II 「虚無の図式」
 03 III 躍動する色と形
 05 IV 「本来の自分が始まった」
 07 Column 1 花の群生
 08 V 「母たる海」
 09 Column 2 女神土偶
 11 VI 自分の生きた証
 12 矢追愛弓「一生描き続けると決めた少女」
 * A4判(210×296mm)16ページ

(4) 出品目録

no.	作品名	制作年	素材
1	23歳で初めて見たニューヨーク	1962	油彩／カンヴァス
2	女	1963	鉛筆／紙
3	ニューヨークにて	1963	オイルパステル／紙
4	ニューヨーク時代の素描・エッチング等(6点)		
5	無題	1964	油彩／カンヴァス
6	無題	1964	油彩／カンヴァス
7	無題	1975	アクリル／カンヴァス
8	壊された正方形	1979	アクリル／カンヴァス
9	無題	1983	油彩／カンヴァス
10	12月の赤	1986	油彩／カンヴァス
11	赤い夢	1988	油彩／カンヴァス
12	神話の風	1993	油彩／カンヴァス

13	黄泉の国の伊邪那美	1993	油彩／カンヴァス
14	火焰の風	1993	油彩／カンヴァス
15	母神	1997	油彩／カンヴァス
16	バサラの夢	2001	油彩／カンヴァス
17	花の群生スケッチ群(15点)	1997～	水彩／紙
18	大地がざわめく	2009	油彩／カンヴァス
19	彼方より来る	2011	油彩／カンヴァス
20	風のはじまり	2010	油彩／カンヴァス
21	女神土偶のスケッチ群(8点)		
22	海の呼吸	2013	油彩／カンヴァス
23	女神になった母		
	母と私	2015	油彩／カンヴァス
	母の一生	2015	油彩／カンヴァス
	母の系譜	2015	油彩／カンヴァス
24	ニューヨークに住んだ	2022	油彩／カンヴァス
25	東京に住む	2022	油彩／カンヴァス
26	山口に生まれた	2023	油彩／カンヴァス
27	松田正平 肖像	2018	油彩／カンヴァス
28	自画像	2015	油彩／カンヴァス
※すべて作家蔵			

(5) 講演会等

■トークイベント

坂井眞理子×谷川 渥「坂井眞理子あるいは無垢性の絵画」

講師：坂井眞理子(画家)・谷川 渥(美学者)

日時：12月14日(土)14：00～15：30

会場：山口県立美術館 講座室

※聴講無料[※要観覧券]、当日先着順

■作家によるギャラリートーク

日時：11月30日(土)14：00～(45分程度、事前申し込み不要)

■関連展示

「坂井眞理子小品展—WOMAN—」

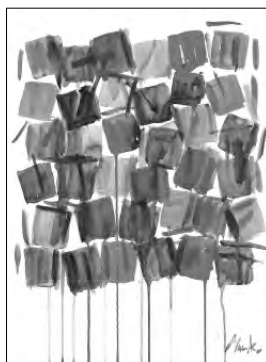
日時：7月25日(木)～8月25日(日) 11：00～18：00

※月曜定休

会場：HEART SPOT 102(山口市米屋町商店街内 山口銀行米屋町出張所前)



会場風景
撮影：安森 信



案内はがき表面



案内はがき裏面

「坂井眞理子素描展」

日時：11月22日(金)～12月22日(日) 11：00～18：00

※上記期間内の木・金・土・日のみオープン

場所：HEART SPOT 102(山口市米屋町商店街内 山口銀行米屋町出張所前)

(1)-2 HEART

「ものづくりとコミュニケーション」をキーコンセプトとし、美術館が地域の芸術家や人々と一緒になって街の歴史や日常の営みと関わりながら街づくりを行うことを目的に実施。山口県美術展覧会を軸として、アートマーケットやワークショップなど美術館(芸術)とまち(日常生活)をつなぐさまざまなアートプロジェクトを展開する。

山口県総合芸術文化祭 HEART2023

会 期：令和6年(2024年)3月7日(木)～24日(日) 16日間

主 催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会HEART2023

(山口県／山口県立美術館／山口市／山口商工会議所／山口市商店街連合会／
山口県立美術館指定管理者SPSグループ／公益財団法人山口きらめき財団)

会 場：山口県立美術館・一の坂川エリア



ポスター



チラシ表面



チラシ中面

1：第76回山口県美術展覧会 (主催：山口県)

会 期：3月7日(木)～24日(日) 16日間

総入場者数：3,459名

※詳細は令和5年度本展の項を参照(36-37頁)。

2：アート・マーケット

山口県立美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリーとして、作家有志による作品の展示・販売を実施。美術館をアートづくりのマーケット(市場)に変身させる部門。

■アート・マーケット・ギャラリー

会 期：3月7日(木)～24日(日) 16日間

会 場：山口県立美術館ミュージアムショップ (入場無料)

内 容：第50～76回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち、希望者の作品を紹介、販売したほか、ミュージアム・グッズ、美術図書を販売。山口市中心商店街でも、関連イベントを開催。

■HEART関連企画

ギャラリーナカノ HEART2023関連企画展

1. 「県美界限展2023 やま美サンカ」

会 期：3月7日(木)～24日(日) 11：00～17：00

※休廊日：月・火・水

会 場：ギャラリーナカノ

出品作家：牛尾 篤、臼杵万理実、コサカダイキ、佐々木範子、吉田朱里

内 容：長年にわたって県美展を見続けてきたギャラリーナカノ・中野聡氏によるHEART関連企画。山口県美術展覧会ゆかりの作家を中心に紹介。

2. 「アートレスキューチャリティーポストカード」

会 期：3月7日(木)～31日(日)

参加作家：牛尾篤、臼杵万理実、コサカダイキ、佐々木範子、志村信裕、末永史尚、中野寿子、吉田朱里、吉村大星、りおた

内 容：能登半島地震の被災者を支援するためのチャリティーポストカードを制作。ミュージアムショップで販売協力を行った。

3：アート・ルートーの坂

山口県立美術館と山口市中心商店街をむすぶルート、一の坂川エリアを、アートな遊歩道にしようという企画。ものづくりのワクワク感が味わえるワークショップを実施。

■HEART企画

「ROUTE 102(ルート・トーフ)アーカイブ展」

会 期：3月7日(木)～24日(日) 11：00～17：00 (土・日は10：00～18：00)

※月曜定休

会 場：HEART SPOT 102(山口市米屋町商店街 山口銀行米屋町出張所前)

内 容：2007年とその翌年に開催したワークショップ《ROUTE102(ルート・トーフ)》では、豆腐用プラスチック製容器の型を取って作ったブロックを地面に並べ、一の坂と山口中心商店街を結ぶ〈豆腐小径〉を制作。当時の記録を展示し、新たな小径完成を目指すプロジェクトを展開した。



展示風景

■アーティスト交流企画

山根秀信のワークショップ「＜シン・ROUTE 102＞計画2024」

講 師：山根秀信(美術家)

日 時：3月16日(土) 14：00～15：30

会 場：HEART SPOT 102(山口市米屋町商店街 山口銀行米屋町出張所前)／
山口県立美術館 中庭《県美の森》

対 象：小学4年生～6年生

定 員：15名(要事前申し込み)

参加者：8名

参加費：無料 ※豆腐用プラスチック製容器を持参。

内 容：豆腐用プラスチック製容器から型を取って作ったブロックを中庭《県美の森》の地面に並べて、〈豆腐小径〉を制作した。



作業風景

山根秀信のワークショップ「ルミエール・ド・トーフ」

講 師：山根秀信(美術家)

日 時：3月17日(日) 14：00～15：00

会 場：HEART SPOT 102(山口市米屋町商店街 山口銀行米屋町出張所前)／
山口県立美術館 講座室

対 象：中学生以上

定 員：10名(要事前申し込み)

参加者：7名

参加費：無料 ※豆腐用プラスチック製容器を持参。

内 容：大量販売するために考案された安価な豆腐用プラスチック製容器を使い、容器に施された装飾を石膏で浮かび上がらせ、照明器具を作るワークショップを開催した。



参加者の作品

4：アート・フォレスト県美の森

亀山公園山頂から美術館中庭にかけて広がる斜面に、四季を彩る植樹を行い17年目。地域住民の方をはじめとする多くのボランティアの協力を得て、《県美の森》エリア(県立美術館中庭斜面)の植樹や撫育活動を実施。

■県美の森づくり

日 時：10月29日(日) 8:00～9:30

会 場：山口県立美術館 中庭《県美の森》

参加者：59名(要事前申し込み)

参加費：無料

主 催：美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会

山口県総合芸術文化祭 HEART2024

会 期：令和7年(2025年)2月27日(木)～3月16日(日) 17日間

主 催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会HEART2024

(山口県／山口県立美術館／山口市／山口商工会議所／山口市商店街連合会／
山口県立美術館指定管理者SPSグループ／公益財団法人山口きらめき財団)

会 場：山口県立美術館・一の坂川エリア



ポスター



チラシ表面



チラシ中面

1：第77回山口県美術展覧会（主催：山口県）

会 期：2月27日(木)～3月16日(日) 17日間

総入場者数：3,317名

※詳細は令和6年度本展の項を参照(38-39頁)。

2：アート・マート

山口県立美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリーとして、作家有志による作品の展示・販売を実施。美術館をアートづくりのマート(市場)に変身させる部門。

■アート・マート・ギャラリー

会 期：2月27日(木)～3月16日(日) 17日間

会 場：山口県立美術館ミュージアムショップ(入場無料)

内 容：第50～77回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち、希望者の作品を紹介、販売したほか、ミュージアム・グッズ、美術図書を販売。山口市中心商店街でも、関連イベントを開催。

■HEART関連企画

ギャラリーナカノ HEART2024関連企画展

1. 「県美界限展 サンキュー・ヌマさん」

会 期：2月27日(木)～3月9日(日) 11:00～17:00

※休廊日：月・火・水

会 場：ギャラリーナカノ

出品作家：大村洋二郎、岡本よしろう、金子司、志村信裕、末永史尚、なかのひさこ、吉村大星、他16名

特別出品：ヌマさん、田中米吉、吉村芳生

内 容：長年にわたって県美展を見続けてきたギャラリーナカノ・中野聡氏によるHEART関連企画。山口県美術展覧会ゆかりの作家を中心に紹介。

3：アート・ルートーの坂

山口県立美術館および山口市中心商店街を会場に、ものづくりのワクワク感が味わえる企画を開催。

■アーティスト交流企画

陶芸家・金子司のワークショップ「キノコラツクル in 山口県美」

講師：金子 司(陶芸家)

日時：3月8日(土) [vol.1]10:30~12:00 [vol.2]13:30~15:00

会場：山口県立美術館 講座室

対象：小学4年生以上

定員：各回15名(要事前申し込み)

参加者：27名(vol.1:16名、vol.2:11名)

参加費：1,000円

内容：陶土を様々な型に押し付け、きのこをモチーフにした皿や置物を制作するワークショップを実施。



作業風景

■HEART企画

「カネコのキノコ」展

会期：2月27日(木)~3月23日(日)

※上記期間内の木・金・土・日のみオープン

12:00~18:00(土・日は11:00~18:00)

会場：HEART SPOT 102(山口市米屋町商店街 山口銀行米屋町出張所前)

観覧者数：1,273名

観覧料：無料

内容：萩焼の陶土を使い独自の技法で制作する金子司(陶芸家)の世界を紹介する展覧会を開催。



展示風景

4：アート・フォレスト県美の森

亀山公園山頂から美術館中庭にかけて広がる斜面に、四季を彩る植樹を行い18年目。地域住民の方をはじめとする多くのボランティアの協力を得て、《県美の森》エリア(県立美術館中庭斜面)の植樹や撫育活動を実施。

■県美の森づくり

日時：10月6日(日) 8:00~9:30

会場：山口県立美術館 中庭《県美の森》

参加者：61名(要事前申し込み)

参加費：無料

主催：美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会

(2) デジタル技術を活用した事業

■収蔵作品のデジタルアーカイブ化

内 容：令和3年度(2021)以降、デジタル技術を活用した県有財産の情報公開充実を図る政策の一環として、県立美術館(当館および山口県立萩美術館・浦上記念館)の収蔵作品について、デジタルアーカイブ化の取り組みを行っている。

令和5年度及び6年度は、新規収蔵品並びに撮影未了作品の超高精細デジタルカメラによる撮影を行い、撮影したデータを「やまぐちデジタルギャラリー」に追加した。

やまぐちデジタルギャラリー：

当館および山口県立萩美術館・浦上記念館の収蔵品(約9,000点)について、作品データベースを整理し、検索システムの構築および作品画像のデジタル化(ポジフィルムのスキャン、および超高精細デジタルカメラによる撮影)を行い、両館の来館者が、高精細画像によって所蔵品を検索・鑑賞することを可能としたもの。主要な作品には学芸員による解説動画(各館50本)を制作し、見どころがより伝わるようにしている。ウェブサイト上およびエントランスに常設した大型モニターで公開。

■パノラマ山水長巻一拡大映像で見る雪舟筆 国宝《四季山水図》

開催期間：令和5年(2023年)10月13日(金)～12月3日(日)

会 場：山口県立美術館 展示室B

趣旨内容：日本美術を代表する名品として知られる雪舟の《国宝・四季山水図(山水長巻)》。しかしその全容を実際に見ることができるのは、基本的には11月の一か月間だけである。また、洋画のように明るい照明のもとで見ることもしない。古美術品は格段に光に弱く、傷みやすいという理由により、展示期間も展示照明の明るさも厳格に制限されているからである。そのため、洋画と比較した場合、水墨画の名品を見る機会を得てその素晴らしさを体験し、魅力を伝えることのできる人は、圧倒的に少ないと言わざるを得ない。

山口県立美術館では、ここ数年にわたって、山口で受け継がれてきた大事なお宝である《山水長巻》の魅力により多くの人に伝えるために、デジタル技術を使って様々な映像展示を試みてきた。

令和5年度も、全長16mにおよぶ名品を9シーンに分け、15分の高精細映像として再構成。実際の作品を7.5倍に拡大して、展示室を取り囲む各々10m程度の壁3面に投影した。

展示映像：《パノラマ山水長巻》 2019年制作、2023年再制作

アートディレクター：向井知子

テクニカルディレクター：山元史郎

作 品：雪舟等楊筆 四季山水図(山水長巻) 文明18年(1486)

紙本墨画淡彩 40.8×1602.3cm 毛利博物館蔵

作品解説：岡本麻美

制作統括：河野通孝

■5GVR山水長巻

開催期間：令和5年(2023年)10月13日(金)～12月3日(日)

会 場：山口県立美術館 コレクション展示室前室

趣旨内容：令和4年度に引き続き、雪舟の代表作である《山水長巻》の理解促進と体感的鑑賞を目的に、これまでの拡大映像展示に加えて、VR技術を駆使したコンテンツを公開した。

コンテンツは【解説パート】と【体験パート】の2パート構成。前半の【解説パート】では、雪舟に関する簡単な解説のあと、VR空間内で画卷がスクロールし、作中の四季の流れや、鑑賞のポイントとなる箇所をピックアップして紹介する。後半の【体験パート】では、画卷冒頭の春の場面を360度のVRフルCGで制作。水墨画の世界に入り込む感覚で、《山水長巻》の世界観や構図的特徴を体感的に味わえることをコンセプトとして、現実世界では体験できない、新しい水墨画の鑑賞体験を提供。

なお、各パートの切り替えや、【体験パート】中には、手をかざす、映像に触れるなどのインタラクション要素も組み込み、より「VRらしさ」に没入できる工夫がなされている。

制 作 年：2021年

企画制作：山口県、株式会社NTTドコモ

VR制作：株式会社360Channel

学術協力：山口県立美術館

特別協力：公益財団法人毛利報公会 毛利博物館

(3) 学校連携

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及のため、学校との連携事業を実施。

【学校見学】

学校単位での来館に対し、解説、一般の来館者との調整などを行う。

令和5年度

累計：児童生徒・教員 のべ527名

令和6年度

累計：児童生徒・教員 のべ806名

【教員との共同授業】

多彩な授業を目指す学校や、学校単位での来館が困難な遠隔地の学校へ学芸員を派遣し、担当教員とともに共同で授業を行う。

令和5年度

■日 時 11月7日(火)、8日(水)、9日(木)

対 象 防府市立桑山中学校2年6クラス(235人)

担 当 岡本麻美

内 容 「源氏物語絵巻」を題材とした対話型鑑賞

■日 時 11月21日(火)

対 象 防府市立大道小学校5年(23人)・6年(31人)各1クラス(54人)

担 当 岡本麻美

内 容 雪舟等楊「倣李唐牧牛図」を題材とした対話型鑑賞(「リーディングDXスクール委託事業」の一環。学校と美術館をZoomで繋いだ中継を含む)

令和6年度

なし

【職場体験学習】

令和5年度

■日 時 5月17日(水)、18日(木)

対 象 美祢市立美東中学校

担 当 荏開津通彦、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 1名

令和6年度

■日 時 5月21日(火)

対 象 山口市立宮野中学校

担 当 福田善子、SPS

参加者 3名

■日 時 7月24日(水)、25日(木)

対 象 山口県立防府西高等学校

担 当 福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 4名

【教員社会体験研修】

令和5年度

■日 時 8月2日(水)、3日(木)、4日(金)

対 象 山口市立大海小学校、山口市立平川小学校、山口市立良城小学校

担 当 福田善子、荏開津通彦、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 各学校から1名

令和6年度

■日 時 8月7日(水)、8日(木)、9日(金)

対 象 山口市立井関小学校、山口市立小郡南小学校、山口市立宮野小学校、山口市立良城小学校

担 当 福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 各学校から1名

【教材・資料活用】

令和5年度

なし

令和6年度

なし

(4) 美術館ボランティア

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設けている。【展覧会サポート班】による、特別展やコレクション展などにあわせた企画の立案と実施を行った。

令和5年度

生誕110年 松田正平展

「パステルで絵を描こう！」(ワークショップ)

落ち葉などを題材に、粉末状にしたソフトパステルで絵を描くワークショップを開催した。

11月23日(木・祝)14:00～15:30 参加者19名(19枚)

11月25日(土)10:30～12:00 参加者21名(22枚)

県美展

「私のイチオシ！」(参加型展示)

入選全作品を対象として、来館者がイチオシ作品を選び、コメントを記入した用紙をポストに入れてもらい、随時展示した。また、展示終了後の作品返却時に、出品者へ該当投票用紙を渡し、結果をフィードバックした。

実施結果：投票枚数 682枚

令和6年度

奈良大和路のみほとけ ー令和古寺巡礼ー

「マイみほとけをつくろう」(ワークショップ)

端材や枝、木の実などの材料を速乾性ボンドで貼り合わせ、オリジナルのみほとけをつくるワークショップを開催した。

4月28日(日)13:30～15:00 参加者16名

4月29日(月・祝)10:30～12:00 参加者31名



参加者によるみほとけたち

「奈良みほとけマップ」(展示)

奈良の路線図等を掲載したシンプルな地図上に、展覧会出陳の仏像を所蔵する寺院の位置を示し、それぞれの仏像の縮尺割合に基づいた写真を立体的に配置した。



奈良みほとけマップ

「みほとけ豆知識」(A4表裏面20,000枚配付)

展覧会では菩薩像が数多く出陳されたため、菩薩に特化したみほとけキャラクターのイラストを制作し、仏像の基礎知識とあわせて紹介した。



みほとけ豆知識

没後50年香月泰男のシベリア・シリーズ

「シベリアのこと」(パネル展示)

香月泰男がシベリアに抑留された背景と、シベリアでどのような生活を送っていたのかをパネルにまとめ、会場出口付近のスロープ壁面に掲示した。

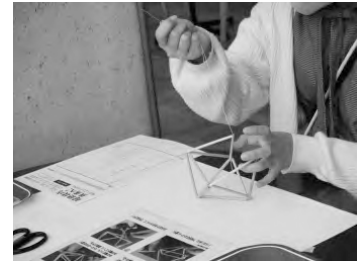
超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA

「やっぱり作るって楽しい!!～ヒンメリに挑戦～」(ワークショップ)

山口市産のライ麦を使って、フィンランドの伝統工芸であるヒンメリをつくるワークショップを開催した。

11月2日(土)13:30～15:00 参加者16名

11月3日(日)10:30～12:00 参加者16名



作業風景

コレクション展 没後50年 小林和作展

「評伝 小林和作 豆本」(ミニリーフレット1,000枚配付)

波乱万丈な小林和作の生涯を漫画タッチのイラストを交えて紹介した。



評伝 小林和作 豆本

県美展

「私のイチオシ！」(参加型展示)

入選全作品を対象として、来館者がイチオシ作品を選び、コメントを記入した用紙をポストに入れてもらい、随時展示した。また、展示終了後の作品返却時に、出品者へ該当投票用紙を渡し、結果をフィードバックした。コロナ禍の時期は参加者数が激減したが、当年度の投票枚数は1,000枚を超えるまでに回復した。

実施結果：投票枚数 1,135枚

(5) 県立美術館メンバーズクラブ

山口県立美術館および山口県立萩美術館・浦上記念館では、2館で開催される展覧会等を通じて、美術館に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的に、平成26年度より2館共通の会員組織「県立美術館メンバーズクラブ」を設立。

令和5年度より、年会費を一律500円増額。新たな特典として、5回の企画展無料入場枠を使って、会員に加えて同伴者1名を入場可能とするサービスを付加した。

1. 会 費 [令和5年度]
一般3,300円、学生会員(19歳以上)2,800円、シニア会員(70歳以上)2,400円
[令和6年度]
一般3,300円、学生会員(19歳以上)2,800円、シニア会員(70歳以上)2,400円
2. 特 典 ①県立美術館2館の企画展が5回まで無料、6回以降は半額
②企画展の無料観覧特典を同伴者1名まで利用可能
③2館の企画展オープニングセレモニーにご招待
④開催中の展覧会図録を割引販売
⑤2館の展覧会、イベント情報などを定期的に郵送
⑥会員限定イベントの開催
⑦提携施設の入館料割引
3. 会員募集期間 [令和5年度] 令和5年4月1日(土)～8月31日(木)
[令和6年度] 令和6年4月1日(月)～7月31日(水)
4. 有効期間 [令和5年度] 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
[令和6年度] 令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)
5. 入会者数 [令和5年度] 1,077名
[令和6年度] 1,022名

(6) キャンパスメンバーズ

県立美術館(山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)を有効活用し、美術に親しむ機会をより豊かにしていただくことを目的とした、高等教育機関向けの会員制度。所属する学生および教職員は、身分証の提示で展覧会を無料で観覧可能。平成29年度設立。

1. 年会費

学生数	年会費	学生数	年会費
500人未満	40,000円	4,000人未満	275,000円
1,000人未満	75,000円	5,000人未満	345,000円
2,000人未満	150,000円	1万人未満	440,000円
3,000人未満	215,000円	1万人以上	550,000円

2. 特典

- ①県立美術館2館(山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)が開催する普通展示(コレクション展)、および企画展(山口県美術展覧会・山口伝統工芸展を除く特別展示)を、無料で何度でも鑑賞が可能。
- ②展覧会やイベント情報など適時案内を送付。
- ③学校名等を、館内やホームページなどに掲示・紹介。

3. 募集期間 [令和5年度] 令和5年4月1日(土)～8月31日(木)
[令和6年度] 令和6年4月1日(月)～7月31日(水)
4. 有効期間 [令和5年度] 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
[令和6年度] 令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)
5. 入会校数 [令和5年度] 9法人 11校
[令和6年度] 10法人 12校

(7) 博物館実習

令和5年度

■実習生学校別内訳（6大学10名）

1	山口県立大学(国際文化学部)	4名
2	山口大学(人文学部)	2名
3	筑波大学(人文・文化学群)	1名
4	京都外国語大学(外国語学部)	1名
5	日本大学(芸術学部)	1名
6	八洲学園大学(生涯学習学部)	1名

■実習内容

2月14日(水)	8:40～9:00	オリエンテーション
	9:00～10:30	館内見学
	10:45～12:15	【講義】山口県立美術館、県美展、HEARTについて
	13:15～14:15	【講義】美術館の指定管理業務について
	14:30～16:00	【講義】展覧会企画について
2月15日(木)	9:00～10:20	【講義】美術品の保存修復について
	10:30～12:00	作品の取り扱い実習
	13:00～13:25	県美展搬入についての説明
	13:30～17:00	搬入準備
2月16日(金)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00～16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
2月17日(土)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00～16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
2月18日(日)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00～16:00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	16:10～16:30	県美展審査会についての説明
2月20日(火)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13:00～17:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
2月21日(水)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13:00～16:00	実際の作品の取り扱い(県美展展示補助)
	16:00～16:10	総括

令和6年度

■実習生学校別内訳（4大学10名）

1	山口県立大学(国際文化学部)	5名
2	山口大学(人文学部)	3名
3	京都外国語大学(外国語学部)	1名
4	広島大学(文学部)	1名

■実習内容

2月5日(水)	8:40～9:00	オリエンテーション
	9:00～10:30	館内見学
	10:45～12:10	【講義】山口県立美術館、県美展、HEARTについて
	13:10～14:10	【講義】展覧会企画について
	14:25～15:25	【講義】美術館の指定管理業務について
2月6日(木)	15:35～16:10	県美展搬入についての説明
	9:00～10:20	【講義】美術品の保存修復について
	10:30～12:00	作品の取り扱い実習
	13:00～17:00	搬入準備
2月7日(金)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00～16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
2月8日(土)	8:50～12:00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)

	13：00～16：10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
2月9日(日)	8：50～12：00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13：00～16：00	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	16：10～16：30	県美展審査会についての説明
2月11日(火)	8：50～12：00	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13：00～17：10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
2月12日(水)	8：50～12：00	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13：00～16：00	実際の作品の取り扱い(県美展展示補助)
	16：00～16：10	総括

(8) その他の事業

1. 美術館ニュース「天花」

「天花」のタイトルは、大内時代、雪舟が山口市天花(てんげ)に雲谷庵をいとなんだという故事にちなんで命名されたもの。第1-60号まではB5版、第61-79号まではA4版であったが、第80号から現行のA5版となっており、年間スケジュール、展覧会や各種活動の紹介、所蔵品紹介を行っている。

第139号 (令和5年3月)

コレクション展

特別展

- ・佐藤健寿展 奇界／世界
- ・ジブリパークとジブリ展

コレクション特別企画

- ・生誕110年 松田正平展

香月泰男とシベリア・シリーズⅠ～Ⅲ

生誕150年 永地秀太

メンバーズクラブ会員募集

年間スケジュール



第140号 (令和5年9月)

- ・生誕110年 松田正平展

- ・毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』

- ・新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派

コレクション展

- ・大正ロマンの前衛画家 玉村方久斗

年間スケジュール



第141号 (令和6年3月)

コレクション展

特別展

- ・奈良大和路のみほとけ —令和古寺巡礼—
- ・没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ

コレクション展

- ・没後50年 小林和作展

メンバーズクラブ会員募集

年間スケジュール



第142号 (令和6年8月)

コレクション展

- ・受贈記念 松林桂月展

- ・雪舟と雲谷派 仏のすがた人のすがた

特別展

- ・超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

坂井眞理子展 いのちの色、いのちのかたち

第77回山口県美術展覧会

年間スケジュール



2. 指定管理者自主企画事業

令和5年度

■県立美術館メンバーズクラブ会員限定 シンフォニア岩国公演鑑賞会

日 付：10月1日(日)

会 場：シンフォニア岩国

参加者：39名(山口県立美術館32名、山口県立萩美術館・浦上記念館7名)

料 金：無料(チケット料金のみ徴収)

内 容：メンバーズクラブ会員限定で、シンフォニア岩国主催公演「日生劇場ファミリーフェスティバル 2023 音楽劇『精霊の守り人』」鑑賞会を送迎バス付で実施。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった。

■いい夫婦の日イベント

日 付：11月22日(水)～23日(木)

参加者：75組150名

内 容：11月22日のいい夫婦の日にあわせた「おもてなしデー」を実施。雪舟《倣李唐牧牛図(牧童)》をプリントした美術館オリジナルのスプレーボトル、雪舟《倣李唐牧牛図(牧童)・(渡河)》2枚組ぬりえ、干菓子(にこたん糖ミニ)のうちいずれかを、ペア(※夫婦に限定せず)で来館された方のうち希望者に贈呈。



スプレーボトル



2枚組ぬりえ



にこたん糖ミニ

■県立美術館メンバーズクラブ会員限定

山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館2館の美術鑑賞会

日 付：11月25日(土)

会 場：山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

参加者：30名(山口県立美術館26名、山口県立萩美術館・浦上記念館4名)

料 金：無料

内 容：メンバーズクラブ会員限定で、2館の展覧会を各館の学芸員の解説付きで鑑賞するバスツアーを実施。コロナ禍を経て4年ぶりの開催。

《開催中の展覧会》

山口県立美術館：毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』

コレクション特別企画 生誕110年 松田正平展

新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派

山口県立萩美術館・浦上記念館：フィンランド・ガラスアート
—輝きと彩りのモダンデザイン—



解説風景

令和6年度

■「没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ×山口七夕ちょうちんまつり 真夏の夜の美術館」

1. プレ点灯

日付：7月30日(火)～8月7日(水)

会場：山口県立美術館 エントランスおよびロビー

内容：上記イベントの告知期間として、提灯の設置・点灯を実施。

2. 夜間開館

日時：8月6日(火)・7日(水) 17:00～20:00(最終入場は19:30)

3. みんなで灯す、七夕ちょうちん

日時：8月6日(火)・7日(水) 17:00～

内容：館内外に設置した提灯を、来館者と共に点灯。

4. 真夏の夜のギャラリートーク

日 時：8月6日(火)・7日(水) 18:30～(聴講無料[※要観覧券]、要事前申し込み)

定 員：各日50名

参加者：6日28名、7日37名

内 容：学芸員による、特別展「没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ」特別ギャラリートークを実施。参加者には「シベリア・シリーズ」絵葉書セット(5枚組)を贈呈。



チラシ(A4)



提灯点灯風景



真夏の夜のギャラリートーク

■「没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ」特別イベント
ミュージアムコンサート「シベリア・シリーズとチェロの夕べ」

演 者：田中雅弘(チェロ)

喜多村裕美(ピアノ)

日 時：8月14日(水)18:00~18:30

会 場：特別展「没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ」展示室内

定 員：30名

参加者：30名

参加費：一般 2,500円

シニア・学生 2,300円

メンバーズ会員および18歳以下 1,800円

※展覧会観覧料を含む

内 容：作品が展示された特別な空間における約30分のコンサートを実施。
終了後は学芸員による解説および自由鑑賞の時間を設けた。



ミュージアムコンサート

■県立美術館メンバーズクラブ会員限定

山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館 2館の美術鑑賞会

日 付：9月23日(月)

会 場：山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

参加者：39名(山口県立美術館34名、山口県立萩美術館・浦上記念館5名)

料 金：無料

内 容：メンバーズクラブ会員限定で、2館の展覧会を各館の学芸員の解説付きで鑑賞するバスツアーを実施。

令和6年度は、萩焼作家による解説付きで陶芸の村(萩市大字椿東)登り窯を見学できる行程を加えた。

《開催中の展覧会》

山口県立美術館：超絶技巧、未来へ！—明治工芸とそのDNA

山口県立萩美術館・浦上記念館：コレクション展



解説風景

■県立美術館メンバーズクラブ会員限定 シンフォニア岩国公演鑑賞会

日 付：10月12日(土)

会 場：シンフォニア岩国

参加者：34名(山口県立美術館26名、山口県立萩美術館・浦上記念館8名)

料 金：無料(チケット料金のみ徴収)

内 容：メンバーズクラブ会員限定で、シンフォニア岩国主催公演「OSK日本歌劇団レビュー in IWAKUNI」鑑賞会を送迎バス付で実施。

■県立美術館メンバーズクラブ会員限定 シンフォニア岩国公演鑑賞会

日 付：11月9日(土)

会 場：シンフォニア岩国

参加者：36名(山口県立美術館28名、山口県立萩美術館・浦上記念館8名)

料 金：無料(チケット料金のみ徴収)

内 容：メンバーズクラブ会員限定で、シンフォニア岩国主催公演「森麻季&錦織健デュオリサイタル「アメイジング・ソングス〜愛と煌めきを歌にのせて」」鑑賞会を送迎バス付で実施。

■いい夫婦の日イベント

期 間：11月22日(金)

参加者：41組82名

内 容：11月22日のいい夫婦の日にあわせた「おもてなしデー」を実施。オリジナルのチケットホルダー、雪舟《倣李唐牧牛図(牧童)・(渡河)》2枚組ぬりえのいずれかを、ペア(※夫婦に限定せず)で来館された方のうち希望者に贈呈。



チケットホルダー

(9) 原稿執筆・講演等

令和5年度

【大学での講義】

- 日付 4月～7月毎週水曜日
科目 「博物館概論」
大学 山口県立大学
担当 斎藤郁夫
- 日付 5月10日(水)
科目 博物館実習事前授業「博物館学内実習Ⅱ」
大学 山口県立大学
担当 矢追愛弓
- 日付 5月25日(木)
科目 博物館実習事前授業「博物館実習(実務実習)」
大学 山口大学
担当 矢追愛弓
- 日付 10月～3月毎週水曜日
科目 「博物館経営論」
大学 山口県立大学
担当 斎藤郁夫
- 日付 10月～3月毎週月曜日
科目 「地域デザイン特講Ⅳ」
大学 山口県立大学
担当 斎藤郁夫
- 日付 11月13日(月)
科目 一般教養科目「山口の歴史と文化―雪舟」
大学 山口県立大学
担当 荏開津通彦
- 日付 11月20日(月)
科目 一般教養科目「山口の歴史と文化―雲谷派の展開」
大学 山口県立大学
担当 福田善子
- 日時 12月18日(月)
科目 特別セミナー「デンマーク美術とデンマーク・デザインを知る」
大学 大阪大学
担当 萬屋健司

【講演・学会発表等】

- 日付 4月9日(日)
題目 美術史学会西支部大会「失われた空間と美術」
「足利將軍邸障壁画の画題―清涼殿との比較から―」
主催 美術史学会
担当 荏開津通彦
- 日付 5月18日(木)
題目 鹿島美術財団 財団賞 研究発表会
「雪舟流澁墨山水図の研究―雲谷等顔の絵画的特質と制作背景について―」
主催 公益財団法人鹿島美術財団
担当 福田善子
- 日時 10月19日(木)
題目 「知られざる画家、松田正平―白洲正子を魅了した透明感―」
主催 朝日カルチャーセンター北九州教室
担当 萬屋健司
- 日時 10月22日(日)
題目 中尾彬プレミアムトークショー
「香月泰男が描いた世界とその魅力」
主催 香月泰男美術館
担当 萬屋健司
- 日時 11月25日(土)
題目 初めての『源氏物語』―物語を知る、源氏絵を楽しむ
主催 常盤地区社会教育推進委員会
担当 岡本麻美

【書籍・論文等執筆寄稿】

- 執筆 萬屋健司
題目 「古い部屋の夢」
掲載 『部屋のみる夢 ボナールからティルマンズ、現代の作家まで』(求龍堂)
刊行 令和5年4月3日
- 執筆 福田善子
題目 「雲谷等顔筆 三十祖像」
掲載 『國華』第1536号(國華社)
刊行 令和5年10月20日

令和6年度

【大学での講義】

- 日付 4月～7月毎週水曜日
科目 「博物館概論」
大学 山口県立大学
担当 斎藤郁夫
- 日付 5月8日(水)
科目 博物館実習事前授業「博物館学内実習Ⅱ」
大学 山口県立大学
担当 矢追愛弓
長井里緒奈
- 日付 5月23日(木)
科目 博物館実習事前授業「博物館実習(実務実習)」
大学 山口大学
担当 矢追愛弓
長井里緒奈
- 日付 10月～3月毎週水曜日
科目 「博物館経営論」
大学 山口県立大学
担当 斎藤郁夫
- 日付 10月～3月毎週水曜日
科目 「地域デザイン特講Ⅳ」
大学 山口県立大学
担当 斎藤郁夫

【講演・学会発表等】

- 日付 10月20日(日)
題目 学びの森くすのき秋季展示企画「宇部北部地域の中世の歴史と文化財」講演会
「宇部市の中世文化と文化財―八幡縁起絵巻を中心に―」
主催 宇部市教育委員会
担当 福田善子
- 日付 11月29日(金)
題目 令和6年度第7回文化財情報資料部研究会「長谷川等哲について」
主催 東京文化財研究所 文化財情報資料部
担当 荏開津通彦

【書籍・論文等執筆寄稿】

- 執筆 荏開津通彦
題目 雪舟には描けなかった山水図
掲載 『京都国立博物館だより』 vol.224 10・11・12月号
刊行 令和6年10月1日
- 執筆 萬屋健司
題目 ヘアマン・バング『ティーネ』序文試訳
掲載 『IDUN-北欧研究-』 25号 田邊欧教授退職記念号
(大阪大学人文学研究科外国学専攻 デンマーク語・スウェーデン語研究室)
刊行 令和7年2月28日
- 執筆 福田善子
題目 「第1章 雲谷等顔(一五四七～一六一八)―雪舟を継いだ画家の実像」
掲載 古田亮編著『列島の日本美術史―知られざる美の交錯―』(ミネルヴァ書房)
刊行 令和7年3月30日
- 執筆 長井里緒奈
題目 「西往寺木造宝誌和尚像の造形的特徴と製作背景について」
掲載 『美術史』 第198号
刊行 令和7年3月31日

事業

Ⅲ. 調査研究事業

(1) 調査研究等実績

令和5年度

- 日付 4月6日(木)
内容 黒川等育筆涅槃図調査
場所 妙徳寺(山陽小野田市)
担当 福田善子(末吉武史[福岡市博物館学芸員]、富岡優子[北九州市立自然史・歴史博物館学芸員]との共同調査)
- 日付 4月20日(木)
内容 絵画調査
場所 徳蔵院(萩市)
担当 福田善子(樋口尚樹[至誠館館長]との共同調査)
- 日付 4月21日(金)
内容 地藏菩薩坐像・十六羅漢図調査
場所 洞玄寺(山陽小野田市)
担当 福田善子(末吉武史[福岡市博物館学芸員]、富岡優子[北九州市立自然史・歴史博物館学芸員]、松田和也[下関市立歴史博物館学芸員]、寺島典人[大津市歴史博物館学芸員]、有木芳隆[永青文庫副館長]、萬納恵介[熊本県立美術館学芸員]、中西真美子[崇城大学]、村上幸奈[熊本県教育庁文化課]、森瑞穂[九州大学大学院生・大田区教育委員会]との共同調査)
- 日時 5月17日(水)～5月29日(月)
内容 「カナレットとヴェネツィアの輝き」展にかかる出品交渉
場所 エディンバラ、ロンドン、オックスフォード
担当 萬屋健司
- 日付 6月9日(金)
内容 雲谷等益「雪舟筆四季山水図模本」調査【重要文化財紹介 雪舟と雲谷派展】、「源氏物語絵巻」調査【毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」展】
場所 毛利博物館(防府市)
担当 福田善子、岡本麻美
- 日付 6月13日(火)
内容 狩野古信「雪舟筆四季山水図模本」調査【重要文化財紹介 雪舟と雲谷派展】、「源氏物語絵巻」調査【毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」展】
場所 毛利博物館(防府市)
担当 福田善子、岡本麻美
- 日付 6月14日(水)
内容 狩野古信ほか木挽町狩野派史料調査【重要文化財紹介 雪舟と雲谷派展】
場所 山口県文書館
担当 福田善子
- 日付 6月28日(水)
内容 鳥鼠道人・雲谷等顔・筠溪玄轍「贈雪舟詩・四季山水図跋」調査【重要文化財紹介 雪舟と雲谷派展】、「源氏物語絵巻」調査【毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」展】
場所 毛利博物館(防府市)
担当 福田善子、岡本麻美
- 日付 8月7日(月)
内容 土佐派秋冬花鳥図屏風調査
場所 サントリー美術館
担当 福田善子(高岸輝[東京大学教授]、龍澤彩[金城学院大学教授]、井戸美里[京都工芸繊維大学准教授]との共同調査)
- 日付 9月4日(月)
内容 県内文化財絵画調査(主催：山口県観光スポーツ文化振興課)
場所 琴崎八幡宮ほか(宇部市)、龍蔵寺ほか(山口市)
担当 福田善子(井手誠之輔[九州大学教授]、林元[山口県文化振興課]との共同調査)
- 日付 9月5日(火)
内容 吉敷毛利家絵画調査(主催：山口市文化財保護課)
場所 山口市歴史民俗資料館
担当 福田善子

- 日付 9月6日(水)
内容 絵画調査(主催：山口市文化財保護課)
場所 船越家住宅(山口市)
担当 福田善子(満瀬幸子[山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)
- 日付 9月7日(木)
内容 絵画調査
場所 個人宅(山口市)
担当 福田善子(満瀬幸子[山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)
- 日付 9月11日(月)
内容 吉敷毛利家絵画調査(主催：山口市文化財保護課)
場所 玄済寺(山口市)
担当 福田善子(満瀬幸子[山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)
- 日付 9月25日(月)、26日(火)
内容 阿弥陀三尊像、阿弥陀如来立像、雲谷等竺筆十六羅漢図調査(主催：柳井市教育委員会)
場所 光明寺、宗寿院(柳井市)
担当 福田善子(末吉武史[福岡市博物館学芸員]、寺島典人[大津市歴史博物館学芸員]との共同調査)
- 日付 9月27日(水)
内容 阿弥陀如来坐像調査(主催：山口市文化財保護課)
場所 瑠璃光寺(山口市)
担当 福田善子(末吉武史[福岡市博物館学芸員]、寺島典人[大津市歴史博物館学芸員]、満瀬幸子[山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)
- 日付 9月28日(木)
内容 院什作宝冠釈迦如来坐像調査
場所 龍文寺(周南市)
担当 福田善子(末吉武史[福岡市博物館学芸員]、寺島典人[大津市歴史博物館学芸員]、田村杏士郎[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)
- 日付 令和6年1月30日(水)～2月1日(木)
内容 仏像・絵画調査【奈良大和路のみほとけ展】
場所 奈良国立博物館、靈山寺(奈良市)、法隆寺(生駒郡)、長谷寺(桜井市)
担当 福田善子(末吉武史[福岡市博物館学芸員]、片山寛明・南部美帆[MIHO MUSEUM学芸員]、近藤暁子[山梨県立博物館学芸員]、寺島典人[大津市歴史博物館学芸員]、一本崇之[大和文華館学芸員]との共同調査)
- 日付 令和6年2月25日(日)
内容 仏像調査【奈良大和路のみほとけ展】
場所 當麻寺奥院(葛城市)、合場町(天理市)
担当 福田善子(関根俊一[帝塚山大学客員教授]、大河内智之[奈良大学准教授]との共同調査)

令和6年度

- 日付 4月16日(火)、17日(水)
内容 高麗仏画・朝鮮仏画作品調査
場所 下関市立歴史博物館、周防国分寺(防府市)
担当 福田善子(鄭于澤[元東国大学校教授]との共同調査)
- 日時 5月22日(水)
内容 「皇室外交科研」にかかる資料調査
場所 外務省外交史料館
担当 萬屋健司
- 日時 6月1日(土)～6月10日(月)
内容 「皇室外交科研」にかかる現地調査
場所 コペンハーゲン
担当 萬屋健司
- 日付 6月5日(水)
内容 地藏菩薩立像調査
場所 長久寺(萩市)
担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]、柏本秋生[萩市文化財保護課]、平岡崇[萩市文化財保護課兼萩博物館学芸員]との共同調査)

- 日付 7月17日(木)

内容 聖観音菩薩坐像、雲谷等徽筆十六羅漢図、上野山八幡宮縁起絵巻調査

場所 仏光寺、松陰神社(萩市)

担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]、柏本秋生[萩市文化財保護課]、平岡崇[萩市文化財保護課兼萩博物館学芸員]との共同調査)
- 日付 7月18日(木)

内容 防府市指定「防府真景図」状態確認調査(主催：防府市文化振興課)

場所 阿弥陀寺(防府市)

担当 福田善子、長井里緒奈(鞆雅子・羽鳥幸一[防府市文化振興課]との共同調査)
- 日付 7月22日(月)、23日(火)

内容 堂床区十一面観音像調査

場所 香川県立ミュージアム(高松市)

担当 長井里緒奈(有賀祥隆[東北大学名誉教授]、浅井和春[青山学院大学名誉教授]、長岡龍作[東北大学教授]、奥健夫[武蔵野美術大学教授]、川瀬由照[早稲田大学教授]、皿井舞[学習院大学教授]、田中健一[京都大学准教授]、小林和華子・三橋由吾[文化庁文化財第一課調査官]との共同調査)
- 日付 7月23日(火)

内容 絵画・史料調査

場所 法雲院、源久寺(山口市)

担当 福田善子(角野広海[島根県立石見美術館学芸員]、中司健一[益田市歴史文化研究センター主任]、末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、田村杏士郎[山口県文書館専門研究員]との共同調査)
- 日付 7月26日(金)

内容 雪舟等楊「湖亭春望図」状態確認調査(主催：山口県文化振興課)

場所 吉川史料館(岩国市)

担当 荏開津通彦、福田善子、長井里緒奈(原田史子・小笠原美里[吉川史料館学芸員]、林元[山口県文化振興課]、藤田慎一[岩国市文化財課]との共同調査)
- 日付 7月30日(火)

内容 金剛力士像状態確認調査(主催：防府市文化振興課)

場所 阿弥陀寺(防府市)

担当 福田善子(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、羽鳥幸一[防府市文化振興課]との共同調査)
- 日付 8月1日(木)

内容 建造物附属の絵画調査(主催：柳井市教育委員会)

場所 県指定 小田家住宅(柳井市)

担当 福田善子(林元[山口県文化振興課]との共同調査)
- 日付 8月2日(金)、3日(土)

内容 明誉古碁絵画調査(第1回)

場所 薬師寺(奈良市)

担当 福田善子、長井里緒奈(河野通孝[萩美術館・浦上記念館館長]、福島恒徳[花園大学教授]、郷司泰仁[中之島香雪美術館学芸員]、片山真理子[花園大学歴史博物館研究員]、本多潤子[相国寺承天閣美術館学芸員]、一本崇之[大和文華館学芸員]、今井すず[正木美術館学芸員]との共同調査)
- 日時 8月7日(水)～8月18日(日)

内容 「ニコライ・アストルップ展」にかかる作品調査

場所 ベルゲン、オスロ、ヘルシンキ

担当 萬屋健司
- 日付 8月28日(水)

内容 厨子入り宝冠釈迦三尊像調査

場所 国分寺、阿弥陀寺(防府市)

担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]との共同調査)
- 日付 9月4日(水)

内容 八幡宮縁起絵巻、東隆寺所蔵絵画・史料等調査

場所 学びの森くすのき(宇部市)

担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]との共同調査)
- 日付 9月18日(水)

内容 飯山八幡宮縁起絵巻等調査

場所 松陰神社(萩市)

担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]との共同調査)

- 日付 9月23日(月)～9月25日(水)
 内容 韋駄天像等調査
 場所 長瀧寺(岐阜県郡上市)
 担当 長井里緒奈(濱田瑞美[横浜美術大学教授]、肥田路美[早稲田大学教授]、藤岡穰[大阪大学教授]、川瀬由照[早稲田大学教授]、児島大輔[東京国立博物館主任研究員]、皿井舞[学習院大学教授]、大島幸代[大正大学専任講師]、西谷功[花園大学准教授]、鳥越俊行[奈良国立博物館保存修理指導室長]、谷口耕生[奈良国立博物館学芸部企画室長]、一本崇之[大和文華館学芸部係長]、神野祐太[神奈川県立歴史博物館学芸員]、萩谷みどり[なら歴史芸術文化村学芸員]との共同調査)
- 日付 9月24日(火)、25日(水)
 内容 明誉古碁絵画調査(第2回)
 場所 薬師寺(奈良市)
 担当 福田善子(河野通孝[萩美術館・浦上記念館館長]、福島恒徳[花園大学教授]、片山真理子[花園大学歴史博物館研究員]、井上ひかる[大阪府立大学大学院生]との共同調査)
- 日付 9月26日(木)、27日(金)
 内容 薬師如来像等調査
 場所 両讃寺(京都府京田辺市)
 担当 長井里緒奈(有賀祥隆[東北大学名誉教授]、長岡龍作[東北大学教授]、奥健夫[武蔵野美術大学教授]、川瀬由照[早稲田大学教授]、皿井舞[学習院大学教授]、田中健一[京都大学准教授]、井上大樹・小林和華子・三橋由吾・富岡采花[文化庁文化財第一課調査官]、桑原正明[京都府教育庁文化財保護課]との共同調査)
- 日付 10月9日(水)
 内容 涅槃図等調査
 場所 西法寺、大覚寺(萩市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、柏本秋生[萩市文化財保護課]との共同調査)
- 日付 10月24日(木)、25日(金)
 内容 浮世絵調査【歌川国芳展】
 場所 所蔵先
 担当 福田善子(河野通孝[萩美術館・浦上記念館館長]、湊田恵子[萩美術館・浦上記念館主任]との共同調査)
- 日付 10月29日(火)、30日(水)
 内容 円光大師像調査
 場所 往生寺(仙台市)
 担当 長井里緒奈(有賀祥隆[東北大学名誉教授]、長岡龍作[東北大学教授]、川瀬由照[早稲田大学教授]、酒井昌一郎[仙台市博物館学芸員]、井上大樹・三橋由吾[文化庁文化財第一課調査官]との共同調査)
- 日付 11月8日(金)
 内容 絵画調査(第1回)(主催：柳井市教育委員会)
 場所 小田家住宅(柳井市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(林元[山口県文化振興課]との共同調査)
- 日付 11月13日(水)
 内容 日置八幡宮縁起絵巻等調査
 場所 能満寺、日置八幡宮(長門市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]、柏本秋生[萩市文化財保護課]、関根佳織[下関市立美術館学芸員]との共同調査)
- 日付 11月16日(土)
 内容 興隆寺所蔵仏像、両界曼荼羅等調査(主催：山口市文化財保護課)
 場所 山口市歴史民俗資料館(山口市)
 担当 福田善子(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、満瀬幸子[山口市文化財保護課]、清水美里[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)
- 日時 11月22日(金)～11月28日(木)
 内容 収蔵作品の海外貸出しにかかるクーリエ業務
 場所 台北
 担当 萬屋健司
- 日付 12月17日(火)
 内容 大雄宝殿安置仏像調査(第1回)
 場所 東光寺(萩市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]との共同調査)

- 日付 12月18日(水)
 内容 阿弥陀如来立像等調査
 場所 長寿寺(萩市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]、柏本秋生[萩市文化財保護課]との共同調査)
- 日付 12月24日(火)
 内容 雲谷派絵画調査
 場所 個人宅(兵庫県、京都府)
 担当 福田善子
- 日付 12月25日(水)、26日(木)
 内容 明誉古碁絵画調査(第3回)
 場所 薬師寺(奈良市)
 担当 福田善子(河野通孝[萩美術館・浦上記念館館長]、福島恒徳[花園大学教授]、郷司泰仁[中之島香雪美術館学芸員]、一本崇之[大和文華館学芸員]との共同調査)
- 日付 令和7年1月17日(金)
 内容 絵画調査(第2回)(主催：柳井市教育委員会)
 場所 小田家住宅(柳井市)
 担当 福田善子(林元[山口県文化振興課]との共同調査)
- 日付 令和7年1月29日(水)
 内容 絵画・仏像等調査
 場所 長寿寺(萩市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]、柏本秋生[萩市文化財保護課]との共同調査)
- 日付 令和7年2月3日(月)
 内容 絵画調査
 場所 東光寺(萩市)
 担当 福田善子、長井里緒奈(末吉武史[萩美術館・浦上記念館主幹]、樋口尚樹[至誠館館長]、柏本秋生[萩市文化財保護課]との共同調査)
- 日付 令和7年3月18日(火)
 内容 屏風等絵画調査
 場所 個人宅(山口市)
 担当 福田善子(満瀬幸子[山口市文化財保護課]、清水美里[山口市歴史民俗資料館学芸員]との共同調査)

事業

IV. 収集管理保存事業

(1) 館蔵品寄託品貸出利用状況

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等
働く人	朝倉摂	2023.9.13～12.22	神戸市立小磯記念美術館	小磯良平生誕120年特別展 働く人びと 働くってなんだ? 日本戦後／現代の人間主義
長門峡	松林桂月	2023.9.21～12.8	萩博物館	名勝指定100周年記念・萩ジオパーク認定 5周年記念 長門峡 峡谷の美景
作品2	石田順治	2023.12.8～2024.7.10	京都府京都文化博物館	『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本
		〃	板橋区立美術館	〃
		〃	三重県立美術館	〃
MASK	澄川喜一	2023.12.14～12.23	山口県民文化ホールいわくに [シンフォニア岩国]	追悼 澄川喜一展
そりのあるかたち9-27	〃	〃	〃	〃
そりとそぎ	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたちA	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたち2011	〃	〃	〃	〃
周防灘	松田正平	2024.1.16～4.12	愛媛県美術館	瀬戸内海国立公園指定90周年 わたしのうみ ART／LIFE
周防灘(祝島)	〃	〃	〃	〃
祝島風景	〃	〃	〃	〃
八臂弁財天図	狩野芳崖	2024.1.29～3.26	下関市立美術館	下関市立美術館開館40周年記念特別展 狩野芳崖、継がれる想いー悲母観音から はじまる物語
羅漢図	〃	〃	〃	〃
呂洞賓鉄拐図	〃	〃	〃	〃
狩野芳崖使用の西洋顔料	〃	〃	〃	〃
倣李唐牧牛図(牧童)	雪舟等楊	2024.3.19～6.21	京都国立博物館	雪舟伝説ー「画聖」の誕生ー
倣李唐牧牛図(渡河)	〃	〃	〃	〃
倣高克恭山水図巻	〃	〃	〃	〃
青の太陽	香月泰男	2024.8.27～11.22	渋谷区立松涛美術館	空の発見
啓示	飴村秀子	2024.5.17～5.27	アスピラート [防府市文化交流センター]	藍と愛の会10周年記念 飴村秀子の軌跡とそのグループ展
束帯天神図	雪舟等楊	2024.10.7～12.11	都城島津邸	室町時代の文化と南九州ー動乱の世の 島津氏・北郷氏ー
東台湾臨海道路	陳澄波	2024.11.9～2025.5.20	国立台湾博物館 鉄道部園区	陳澄波百三特展 走揣・咱的所在 (Rediscovering Taiwan : Chen Cheng- Po's 130 th Birthday Anniversary Exhibition)
鴨図	高橋由一	2025.3.11～7.10	鳥取県立美術館	鳥取県立美術館開館記念展 アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術 ー若冲からウォーホル、リヒターへー

(2) コレクション

※凡例

以下の目録は、令和5年(2023年)4月から令和7年(2025年)3月までに収蔵された館蔵品を網羅したものである。作品の整理方針及び個々のデータの記録法は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準拠している。すなわち、作品は日本画(J)・洋画(O)・水彩画(W)・素描(D)・版画(P)・写真(Ph)・彫刻(S)・工芸(C)・書(Ca)・映像(V)・資料(R)の順で編集し、また個々のデータについては、整理番号・作者・生没年・タイトル・制作年・材質技法・寸法・収集年度とその経緯および寄贈者の順で記した。整理番号は『山口県立美術館年報 令和3～4年度』に続く通し番号である。



O-0294
長屋 勇
NAGAYA Isamu
1893-1961
画室にて
In the studio
昭和27年 (1952)
油彩／カンヴァス
131.0×162.0
令和5年度 寄贈
平野杏子



O-0295
長屋 勇
NAGAYA Isamu
1893-1961
黄色のセーター
Yellow cardigan
昭和26年 (1951)
油彩／カンヴァス
99.8×80.3
令和5年度 寄贈
平野杏子



O-0296
長屋 勇
NAGAYA Isamu
1893-1961
I女史の像
Portrait of Ms. I
昭和29年 (1954)
油彩／カンヴァス
73.0×60.6
令和5年度 寄贈
平野杏子



O-0297
桑重儀一
KUWASHIGE Giichi
1883-1943
牡丹
Peony flowers
不詳
油彩／カンヴァス
36.5×45.5
令和5年度 寄贈
山村雅康



O-0298
桑重儀一
KUWASHIGE Giichi
1883-1943
風景
Landscape
不詳
油彩／カンヴァス
37.0×46.0
令和5年度 寄贈
山村雅康



O-0299
桑重儀一
KUWASHIGE Giichi
1883-1943
箱根金時山
Mt. Kintoki, Hakone
不詳
油彩／カンヴァス
37.8×45.4
令和5年度 寄贈



O-0300
岡 落葉
OKA Rakuyo
1879-1962
静物
Still Life
不詳
油彩／カンヴァス
33.4×45.5
令和5年度 寄贈
松尾陽作



O-0301
永地秀太
NAGATOCHI Hideta
1873-1942
静物
Still Life
大正14年（1925）
油彩／カンヴァス
72.3×91.0
令和5年度 寄贈
松尾陽作



O-0302
松田正平
MATSUDA Shohei
1913-2004
周防灘
The Sea of Suo
平成8年（1996）
油彩／カンヴァス
41.0×53.0
令和5年度 寄贈
網谷鴻介



O-0303
松田正平
MATSUDA Shohei
1913-2004
コロー「真珠の女」模写
Copy of Corot's *La Femme à la perle*
昭和13年（1938）
油彩／カンヴァス
73.0×53.0
令和5年度 寄贈
西村正道



J-0355 重要文化財
雲谷等與
UNKOKU Toyo
1612-1668
雪舟等楊像
Portrait of Sesshu Toyo
寛永16年（1639）賛
絹本着色
83.5×31.0
令和5年度 寄贈
有田卓也



J-0356

雲谷等顔

UNKOKU Togan

1547-1618

人物図屏風

Figures

慶長末～元和初期頃（1611～18頃）

紙本着色

158.9×359.0

令和5年度 寄贈



J-0357

松林桂月

MATSUBAYASHI Keigetsu

1876-1963

桃花双鶏図

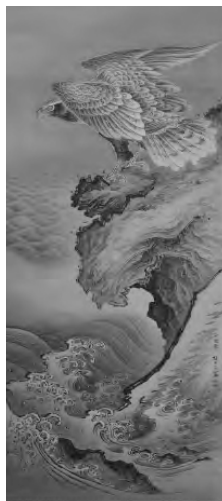
Fowls under the peach blossoms

明治28年（1895）

絹本着色

133.0×50.2

令和5年度 寄贈



J-0358

松林桂月

MATSUBAYASHI Keigetsu

1876-1963

怒涛健鷲図

Waves and an eagle

明治30年（1897）

絹本着色

147.3×69.0

令和5年度 寄贈



J-0359

松林桂月

MATSUBAYASHI Keigetsu

1876-1963

秋塘真趣図

River bank in autumn

明治40年（1907）

絹本着色

188.0×112.0

令和5年度 寄贈



J-0360
松林桂月
MATSUBAYASHI Keigetsu
1876-1963
長門峡図
Chomon Valley, Yamaguchi
昭和26年 (1951)
紙本墨画
92.0×116.0
令和5年度 寄贈



J-0361
松林桂月
MATSUBAYASHI Keigetsu
1876-1963
雨後図
After the rain
昭和30年 (1955)
絹本墨画
113.5×140.0
令和5年度 寄贈



J-0362
松林桂月
MATSUBAYASHI Keigetsu
1876-1963
竹林幽趣図
Bamboo forest
昭和31年 (1956)
紙本墨画
169.0×92.0
令和5年度 寄贈



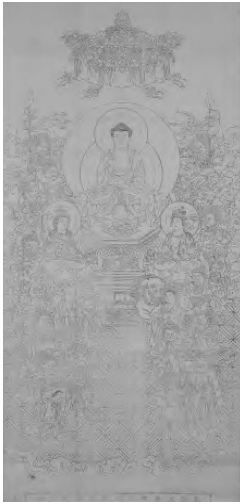
J-0363
松林桂月
MATSUBAYASHI Keigetsu
1876-1963
夜雨図
Evening rain fall
昭和37年 (1962)
絹本墨画
90.0×112.0
令和5年度 寄贈



J-0364
松林桂月
MATSUBAYASHI Keigetsu
1876-1963
竹林夜雨図
Bamboo forest, night rain
昭和37年 (1962)
紙本墨画
126.0×68.0
令和5年度 寄贈



R-0101-02
松林桂月 所用印 (8顆)
Reference materials of Matsubayashi Keigetsu (Seals)
竹、石、象牙
令和5年度 寄贈



R-0122

長谷川等叔

HASEGAWA Toshuku

1784-1841

釈迦三尊十六善神像

Shakyamuni triad with sixteen guardian deities

江戸時代19世紀

紙本墨刷

120.7 × 57.8

令和5年度 寄贈



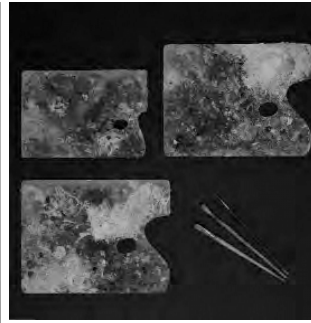
R-0123

松田正平関連資料（イーゼル1点、パレット3点、絵筆3点、定規3点）

Easel, palettes, paintbrushes and rulers used by Matsuda Shohei

木 ほか

令和5年度 寄贈



J-0365

松林桂月

MATSUBAYASHI Keigetsu

1876-1963

江村帰漁図

Going back home after Fishing

昭和16年（1941）

絹本着画

134.9 × 38.8

令和6年度 寄贈



J-0366

高島北海

TAKASHIMA Hokkai

1850-1931

長門峡龍宮淵断魚瀑図

Chomonkyo Gorge

大正10年（1921）

絹本着色

129.1 × 42.5

令和6年度 寄贈



J-0367

岡本秋暉

OKAMOTO Shuki

1807-1862

鶴亀図

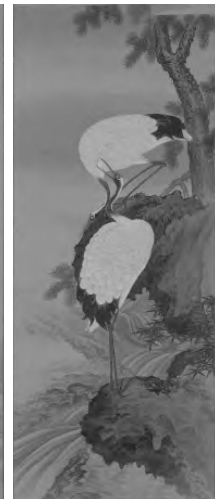
Cranes and a turtle

江戸時代19世紀

絹本着色

各96.8 × 38.7

令和6年度 寄贈





J-0368
 兼重暗香
 KANESHIGE Ankoh
 1872-1946
 春景山水図
 Spring landscape
 大正-昭和時代
 絹本着色
 124.0×49.7
 令和6年度 寄贈



J-0369
 雲谷等龍
 UNKOKU Toryu
 1804-1875
 酔李白図
 Drunken Li Bai
 文政2-天保5 (1819-1834)
 絹本着色
 各103.5×41.2
 令和6年度 寄贈



J-0370
 岡 等悦
 OKA Toetsu
 1740-1819
 芦雁図
 Reeds and Wild Geese
 江戸時代18-19世紀
 紙本着色
 各157.0×361.0
 令和6年度 寄贈



R-0124

香月泰男・松田正平関連資料一式

1. 画稿等シベリア・シリーズ関連絵画資料 27点
2. 香月泰男 デスマスク
3. 香月泰男 藤田士朗氏作成資料一式
4. 香月泰男 瞬生画廊関連資料一式
5. 香月泰男 関連書籍、雑誌一式 (6冊)
6. 香月泰男 関連展覧会図録一式 (21冊)
7. 香月泰男 海外旅行写真アルバム一式 (3冊)
8. 香月泰男 書簡、葉書一式
9. 松田正平 書簡、葉書一式

Reference materials of Kazuki Yasuo and Matsuda Shohei

令和6年度 寄贈
藤田和子 藤田博樹

(3) 作品修復

令和5年度

■日本画 (J)

修復家：宰匠（福岡県）

工 期：令和5年8月2日（水）～令和6年3月31日（日）

作 品：J-0074 《四季花鳥図》狩野松栄（室町時代16世紀、紙本着色、六曲一双屏風）

処 置：応急処置

- ・調査
- ・膠水溶液を用いて絵具層の接着力を強化
- ・糊浮き箇所に対し、小麦澱粉粉（新糊）を用いて糊挿し
- ・報告書の作成

■洋画 (O)

修復家：大原秀之（岡山県：大原秀之絵画修復工房）

工 期：令和5年8月23日（水）～令和6年1月15日（月）

作 品：O-0289 《一兵卒（兵士の図）》永地秀太（不詳、油彩／カンヴァス、額装一面）

処 置：修復・クリーニング

- ・調書の作成
- ・光学調査（斜光線調査、紫外線調査）
- ・作品を額縁から分離、裏面のクリーニング
- ・木枠より作品を分離、裏面を再度クリーニング
- ・周辺部の表裏面を洗浄、コールドプレス
- ・絵具層の剥離部に湯煎した合成樹脂接着剤（Beva371）を塗布
- ・ホットテーブル上で作品をプレス
- ・裏返して、周辺部にカンヴァスの帯を接着補強
- ・木枠に張り直す（木枠は古いオリジナルを再利用）
- ・表面に付着している接着剤（Beva）をミネラルスピリットに浸した綿棒で除去
- ・絵具層の剥落箇所を水性絵具で補彩
- ・充填部に補彩（水性絵具）を行う
- ・ワニスを塗布
- ・額縁を新調
- ・アクリルガラスを低反射ガラスに交換
- ・修復報告書の作成

令和6年度

■日本画 (J)

修復家：谷部翔吾（萩市：野良房）

工 期：令和6年11月22日（金）～令和7年1月26日（日）

作 品：J-0350 《威振八荒》松林桂月（1927年頃、絹本着色、額装一面）

処 置：新規額装

- ・調査
- ・新規額の製作
- ・新規額で額装（於 美術館）

■写真 (Ph)

修復家：株式会社トップアート鎌倉（神奈川県）

工 期：令和6年11月21日（木）～令和7年3月10日（月）

作 品：Ph-0001 《山口市》トマス・シュトゥルツ（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

Ph-0002 《山口市》トマス・シュトゥルツ（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

Ph-0004 《山口市》トマス・シュトゥルツ（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

Ph-0005 《山口市》トマス・シュトゥルツ（1986年、タイプCプリント）

Ph-0008 《新宿、東京》トマス・シュトゥルツ（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

Ph-0010 《丸の内、東京》トマス・シュトゥルツ（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

Ph-0011 《萩市》トマス・シュトゥルツ（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

Ph-0012 《黄波戸》 トマス・シュトゥールト（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0013 《ケルティング通り、ハノーファー》（1984年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0014 《オーファーブルック通り、デュイスブルク》（1985年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0016 《ダブリン・ミューズ、エディンバラ》（1987年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0017 《聖ヴィンセント通り、エディンバラ》（1985年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0018 《カールトン通り、エディンバラ》（1985年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0019 《ホーフグラーベン、ミュンヘン》（1980年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0021 《アレッシェンドロ・スベッキ通り、ローマ》（1984年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0022 《シュラウン通り、ミュンスター》（1986年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0023 《アウフ・デア・ハート、ボットロップ》（1985年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）
 Ph-0025 《ゲプザッテル通り、ミュンヘン》（1984年、ゼラチン・シルヴァー・プリント）

処 置：新規額装・マット装

- ・新規額および展示用ドッコの製作
- ・新規ブックマットの準備
- ・古いマットから作品を分離（以下、於 美術館）
- ・新規ブックマットで装丁
- ・新規額で額装

(4) 美術図書

	令和5年度	令和6年度
図書	129	322
カタログ	266	312
逐次刊行物	183	71

入館者数一覧

令和5年度（2023）

展覧会名	開催期間	有料															
		個人												団体・前売り			
		一般		シニア		学生		シニア・学生 （共通）		小・中・ 高校生		その他	合計	一般		シニア	
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	人数	料金	人数	料金	人数
コレクション展	4.4～6.3.31 (246)	300	1,704	-	-	200	130	-	-	-	-	0	1,834	-	-	-	-
コレクション展合計 (特別展とのセット 券、メンバーズ含む)		100	5,614	-	-	100	919	-	-	-	-	0	6,533	-	-	-	-
コレクション展合計		-	7,318	-	-	-	1,049	-	-	-	-	0	8,367	-	-	-	-
佐藤健寿展 奇界/世界	4.14～6.11 (53)	1,500	9,679	1,300	1,033	1,300	138	-	-	-	-	0	10,850	1,300	5,965	1,100	324
ジブリパークと ジブリ展 ※1	7.15～9.24 (66)	1,700	6,932	-	-	-	-	1,500	748	700	1,670	0	9,350	1,500	96,501	-	-
山口お宝展 ※2	10.13～12.3 (46)	1,000	1,864	800	813	800	53	-	-	-	-	0	2,730	800	64	600	53
第76回 山口県 美術展覧会	6.3.7～6.3.24 (16)	500	1,328	-	-	400	82	-	-	-	-	0	1,410	400	0	-	-
展覧会合計		-	19,803	-	1,846	-	273	-	748	-	1,670	0	24,340	-	102,530	-	377

※1 「ジブリパークとジブリ展」に限り、シニアと学生は同一チケットであったため、（共通）として計上。

※2 「山口お宝展」とは、同時開催された「生誕110年 松田正平展」「毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』」および「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派」を指す。

有料									有料計	無料										無料計	合計
団体・前売り								メン バ ー ズ ク ラ ブ		小・ 中 生	高 校 生	18歳 以下 のそ 他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳 以上)	障がい 者手帳 等	教育・ 文化週 間およ び無料 展覧会	その他			
シニア・学生 (共通)		学生		小・中・ 高校生		その他	合計														
料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	人数														
-	-	-	-	-	-	-	0	-	1,834	758	208	140	0	0	2,166	809	-	1,270	5,351	7,185	
-	-	-	-	-	-	-	0	-	6,533	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	6,533	
-	-	-	-	-	-	-	0	-	8,367	758	208	140	0	0	2,166	809	0	1,270	5,351	13,718	
-	-	1,100	102	-	-	0	6,391	0	17,241	1,510	388	615	2,805	220	-	1,281	-	2,119	8,938	26,179	
1,300	7,717	-	-	500	29,847	0	134,065	2	143,417	-	-	-	5,329	510	-	9,892	-	23,502	39,233	182,650	
-	-	600	21	-	-	0	138	36	2,904	285	110	31	864	163	-	345	-	968	2,766	5,670	
-	-	300	0	-	-	0	0	-	1,410	67	34	35	435	-	1,095	232	-	151	2,049	3,459	
-	7,717	-	123	-	29,847	0	140,594	38	164,972	1,862	532	681	9,433	893	1,095	11,750	0	26,740	52,986	217,958	

令和6年度（2024）

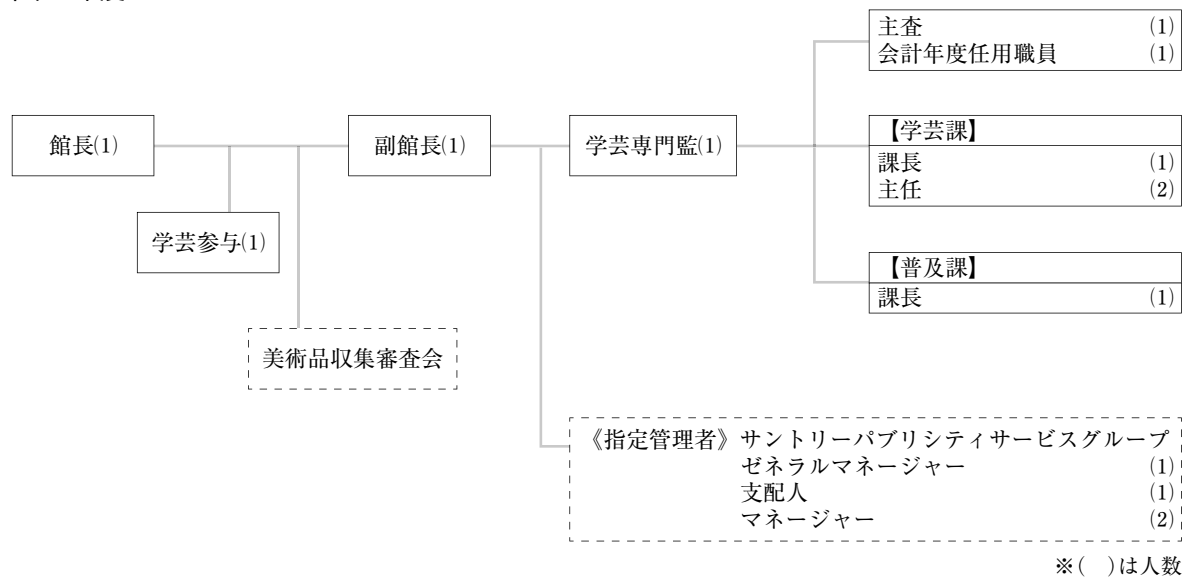
展覧会名	開催期間	有料													
		個人								団体・前売り					
		一般		シニア		学生		その他	合計	一般		シニア		学生	
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数
コレクション展	4.12～12.25 (218)	300	1,177	－	－	200	55	0	1,232	－	－	－	－	－	－
コレクション展合計 (特別展とのセット 券、メンバーズ含む)		100	8,610	－	－	100	1,030	0	9,640	－	－	－	－	－	－
コレクション展 合計		－	9,787	－	－	－	1,085	0	10,872	－	－	－	－	－	－
奈良大和路のみ ほとけ-令和古寺 巡礼-	4.12～6.9 (54)	1,700	10,264	1,500	5,281	1,500	76	0	15,621	1,500	4,764	1,300	1,465	1,300	34
没後50年 香月泰男のシベリ ア・シリーズ	7.4～8.25 (49)	1,200	2,964	1,000	1,197	1,000	73	0	4,234	1,000	665	800	141	800	46
超絶技巧未来へ！ 明治工芸と そのDNA	9.12～11.10 (57)	1,500	6,919	1,300	3,252	1,300	112	0	10,283	1,300	2,118	1,100	742	1,100	47
坂井眞理子展	11.22～7.2.26 (50)	500	917	400	234	400	21	0	1,172	－	－	－	－	－	－
第77回 山口 県美術展覧会	7.2.27～7.3.16 (16)	500	1,319	－	－	400	94	0	1,413	400	3	－	－	300	0
展覧会合計		－	22,383	－	9,964	－	376	0	32,723	－	7,550	－	2,348	－	127

有料			有料計	無料										無料計	合計
団体・前売り		メンバーズクラブ		小・中学生	高校生	18歳以下のその他	招待券ポスター	案内状	シニア(70歳以上)	障がい者手帳等	教育・文化週間および無料展覧会	こども対象者(2024.11)	その他		
その他	合計														
人数	人数														
-	0	-	1,232	501	351	128	0	0	4,931	1,331	1,657	105	250	9,254	10,486
-	0	-	9,640	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	9,640
-	0	-	10,872	501	351	128	0	0	4,931	1,331	1,657	105	250	9,254	20,126
0	6,263	0	21,884	765	424	170	3,988	381	0	2,504	-	-	2,695	10,927	32,811
0	852	3	5,089	383	99	60	1,075	98	0	565	-	-	1,096	3,376	8,465
0	2,907	26	13,216	701	190	165	2,906	147	0	1,497	-	-	2,015	7,621	20,837
-	0	33	1,205	128	43	30	321	74	-	177	-	-	508	1,281	2,486
0	3	-	1,416	108	62	35	434	-	976	200	-	-	86	1,901	3,317
0	10,025	62	42,810	2,085	818	460	8,724	700	976	4,943	0	0	6,400	25,106	67,916

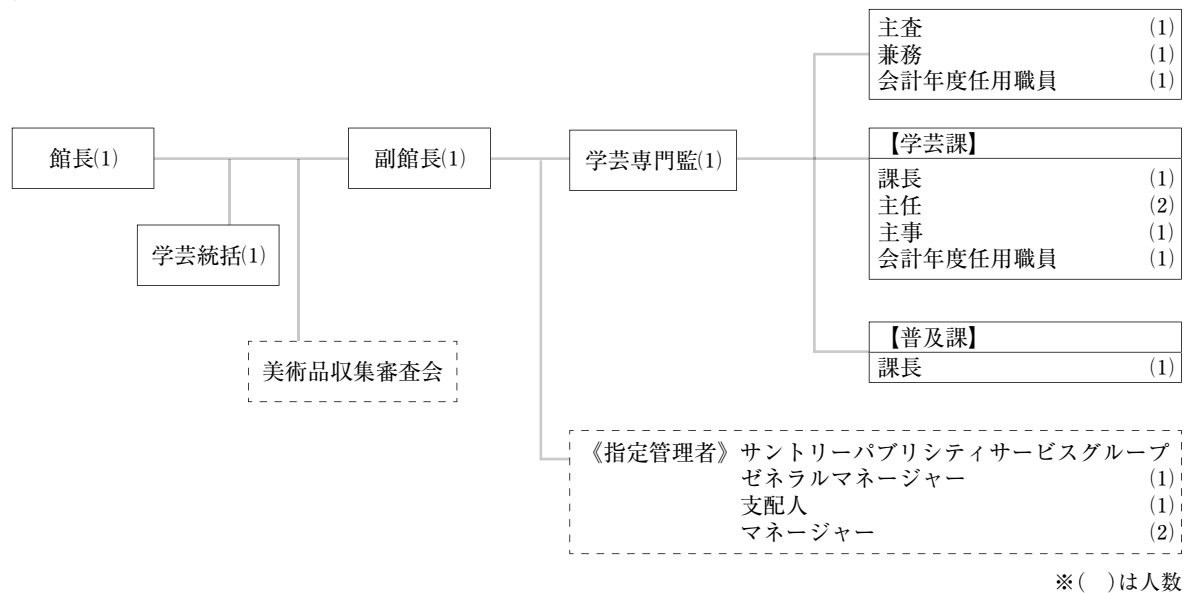
組織等

組織図

令和5年度



令和6年度



美術品収集審査委員

後小路 雅 弘 北九州市立美術館館長・九州大学名誉教授
奥 平 俊 六 大阪大学名誉教授
菊 屋 吉 生 山口大学名誉教授
(以上令和5年度)

後小路 雅 弘 北九州市立美術館館長・九州大学名誉教授
奥 平 俊 六 大阪大学名誉教授
菊 屋 吉 生 山口大学名誉教授
(以上令和6年度)

美術館職員構成

(令和5年4月)

館 長	北村 敏克
学芸参与	斎藤 郁夫
副館長	河野 通孝
学芸専門監	荏開津通彦
主 査	田中 清美
会計年度任用職員	松永 政彦

学芸課

課 長	萬屋 健司
主 任	岡本 麻美
主 任	矢追 愛弓

普及課

課 長	福田 善子
-----	-------

(令和6年4月)

館 長	北村 敏克
	河野 通孝
副館長	荏開津通彦
学芸専門監	後藤 修
主 査	田中 清美
(兼務)	久保 幸代
会計年度任用職員	松永 政彦

学芸課

課 長	萬屋 健司
主 任	岡本 麻美
主 任	矢追 愛弓
主 事	長井里緒奈
会計年度任用職員	斎藤 郁夫

普及課

課 長	福田 善子
-----	-------

職員の動静

令和5年4月

副館長 河野 通孝、萩美術館・浦上記念館を兼務
周南健康福祉センター 保健福祉・総務室主任 田中 清美、美術館 主査に転入
学芸課主任 萬屋 健司、学芸課課長に昇任
普及課主査 福田 善子、普及課課長に昇任
学芸課専門学芸員 矢追 愛弓、主任に昇任

令和6年3月

学芸参与 斎藤 郁夫、退職
副館長 河野 通孝、退職

令和6年4月

萩美術館・浦上記念館 館長 河野 通孝、美術館を兼務（学芸統括）
学芸専門監 荏開津通彦、副館長に昇任
萩美術館・浦上記念館 学芸専門監 後藤 修、美術館 学芸専門監に転入
萩美術館・浦上記念館 副館長 久保 幸代、美術館を兼務
主事 長井里緒奈、任用
会計年度任用職員 斎藤 郁夫、任用

令和7年3月

館長 北村 敏克、退任

学芸専門監 後藤 修、萩美術館・浦上記念館 学芸専門監に転出

普及課長 福田 善子、萩美術館・浦上記念館 普及課長に転出

発 行 山口県立美術館
 山口市亀山町3-1
 tel 083-925-7788 (代表)
 fax 083-925-7790 (代表)
 083-925-7784 (学芸課・普及課)

発行日 令和7年12月23日

印 刷 株式会社山口県農協印刷
 tel 083-989-6100
